

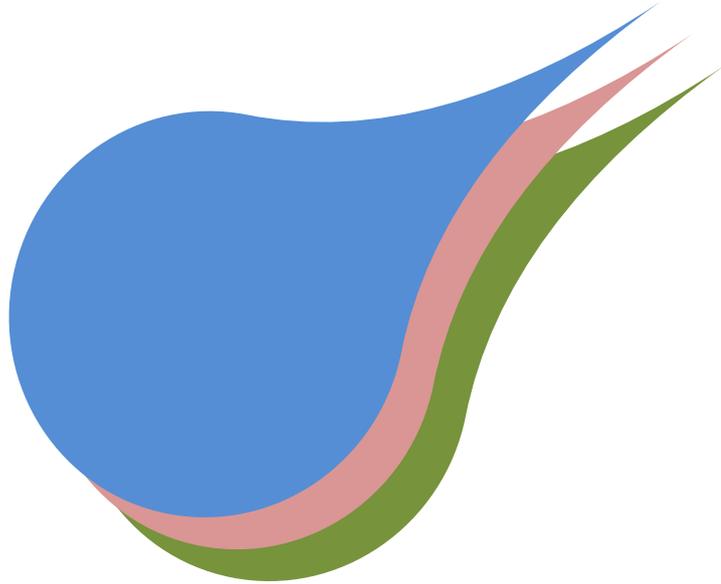
第3期

たかはしがわ

高梁川流域圏成長戦略ビジョン

〈連携中枢都市圏ビジョン〉

高梁川の流れとともに
未来に続く流域の成長と発展を目指して



令和7年3月

岡山県倉敷市

目 次

序章 高梁川流域圏における広域連携について	1
1. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町	2-6
1) 連携中枢都市圏の名称	2
2) 連携協約を締結する市町の名称	2
3) 連携協約の目的	2
4) 具体的取組の期間	2
5) 連携協約を締結する市町の概要	2
2. 高梁川流域圏の現状と将来像	7-35
1) 高梁川流域圏の現状	7
2) 高梁川流域圏の将来像	34
3) 高梁川流域圏の人口目標	35
3. 第3期ビジョンにおける施策体系等	36-42
1) 第3期ビジョンの方向性	36
2) 推進体制	38
3) 施策体系	39
4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等	43-86
1) 圏域全体の経済成長	43
2) 高次の都市機能の集積・強化	56
3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	59
参考資料	87

【別冊】令和5年度 高梁川流域圏観光動態調査レポート

高梁川流域圏における広域連携について

高梁川は岡山県と鳥取県境の新見市花見山（標高 1,188m）に源を発し、111 km の流れを経て、瀬戸内海に注いでおり、支流を含めた流域は広島県におよび 2,670 km² の流域面積を誇っている。

高梁川流域は、7 世紀後半に吉備国を三分して設けられた備前国、備中国、備後国のうち備中国領域とほぼ圏域を同じくし、鉄産地など古代から開発が進んだ先進地帯であり、古墳群を有することから、有力豪族の拠点であったとされている。高梁川の流れと共に生き、豊かな恵みを共有するこの流域圏は、13 世紀以上を経ても地域間の強いつながりが引き継がれている。

こうしたことから、流域の自治体（現在の新見市・高梁市・総社市・早島町・倉敷市・矢掛町・井原市・浅口市・里庄町・笠岡市）等は、昭和 29 年 3 月に「高梁川流域連盟」を設立し、産業や文化・教育など流域全般の文化向上に寄与する取り組みを不断に進め、平成 26 年 3 月に創立 60 周年を迎えた。平成 25 年 10 月には、流域 7 市 3 町の首長・議長が一堂に会する 60 周年記念サミットを開催し、今後の流域活性化のため、連携をより強固なものとし、まちづくりにかかる課題解決に共同で取り組むことを宣言した。

高梁川の上流から下流に位置している 7 市 3 町は、気候や風土が異なり、主要産品についても北部の農産物から南部の製造品や海産物まで多種多様となっている。

こうした様々な地域特性のある市町が連携することで、圏域の特色を最大限に活かすとともに、農業・商工団体などの各産業分野や大学等高等教育機関、地域金融機関との連携や圏域内で最大の人口規模であり、工業・商業・観光など地域経済をけん引する倉敷市の持つ各資源を活用するなど、地域の総合力をもって、人口減少・少子高齢化社会への対応を図り、圏域全体の経済成長を目指すものである。

（H25.10.21 高梁川流域連盟創設 60 周年記念流域サミット宣言抜粋）

高梁川は、中国山地を源とし、瀬戸内海に注ぐ流れの中で、太古の昔から大地を潤し、人々がそこに集い、郷土の歴史と文化を生み、産業を育ててきた、流域に暮らす私たちにとっての、母なる川であります。

流域の風景や街並みが大きく変化する中であっても、私たちは、日々の豊かな暮らしや営みが、絶えることのない高梁川の流れ、そして、流域全体のつながりの中にあることを忘れることはありません。

さらに、今日的課題となっている人口減少や高齢社会の進展、大規模な災害に対する備え、地域の活性化などへの対応をするためにも、私たちは、そのつながりをより一層強める必要があると考えます。

1. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町

1. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町

1) 連携中枢都市圏の名称

高梁川流域連携中枢都市圏

2) 連携協約を締結する市町の名称

新見市・高梁市・総社市・早島町・倉敷市・矢掛町・井原市・浅口市・里庄町・笠岡市

3) 連携協約の目的

人口減少・少子高齢社会にあっても、住民が安心して快適な暮らしを営むことができる活力ある経済・生活圏の形成に協力して取り組むため、圏域全体の経済成長、高次の都市機能の集積・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスの向上に関する事務を処理するための基本的な方針及び役割分担を定めるもの。

4) 具体的取組の期間

令和7年度から令和11年度までの5年間とする。ただし、毎年度所要の変更を行うものとする。

5) 連携協約を締結する市町の概要

	新見市		市の木	ピオーネ
			市の花	アテツマンサク
			市の生物	千屋牛

面積 (k㎡)		人口・世帯		
		国調 (H27.10.1)	人口 (人)	世帯数
総面積 (R5.10.1)	793.29	国調 (H27.10.1)	30,658	11,648
耕地面積 (R5.7.15)	29.40	国調 (R2.10.1)	28,079	11,324
林野面積 (R2.2.1)	690.43	住基 (R7.1.1)	25,948	12,540

代表的な地域資源

満奇洞、井倉洞、絹掛の滝、山田方谷記念館、千屋温泉、神郷温泉、鯉が窪湿原
 千屋牛、チョウザメ・キャビア、鮎、トマト、しいたけ、ピオーネ、もも、リンドウ
 ボタン鍋、鱧の姿寿し、そば、ワイン
 石灰石



1. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町

	高梁市		市の木	あかまつ
			市の花	さくら
			市の鳥	ヤマセミ

面積 (km ²)	
総面積 (R5.10.1)	546.99
耕地面積 (R5.7.15)	27.80
林野面積 (R2.2.1)	427.97

人口・世帯		
	人口 (人)	世帯数
国調 (H27.10.1)	32,075	13,481
国調 (R2.10.1)	29,072	12,886
住基 (R7.1.1)	26,027	13,144

代表的な地域資源

備中松山城、頼久寺庭園、弥高山、夫婦岩
 吹屋ふるさと村、山田方谷記念館
 ぶどう、トマト、備中牛、鮎料理、ゆべし、高梁紅茶
 備中神楽面



	総社市		市の木	もみじ
			市の花	れんげ
			市の鳥	タンチョウ

面積 (km ²)	
総面積 (R5.10.1)	211.90
耕地面積 (R5.7.15)	23.50
林野面積 (R2.2.1)	133.28

人口・世帯		
	人口 (人)	世帯数
国調 (H27.10.1)	66,855	24,863
国調 (R2.10.1)	69,030	27,110
住基 (R7.1.1)	69,625	30,018

代表的な地域資源

備中国分寺、鬼ノ城、名勝豪渓、作山古墳、こうもり塚古墳
 桃、ぶどう、ナス、セロリ、イチゴ、赤米
 小学校カレー、消防署カレー



	早島町		町の木	かいづかいぶき
			町の花	さつき

面積 (km ²)	
総面積 (R5.10.1)	7.62
耕地面積 (R5.7.15)	1.42
林野面積 (R2.2.1)	0.92

人口・世帯		
	人口 (人)	世帯数
国調 (H27.10.1)	12,154	4,349
国調 (R2.10.1)	12,368	4,522
住基 (R7.1.1)	12,748	5,297

代表的な地域資源

早島公園、ふれあいの森公園、鶴崎神社
 いかしの舎、戸川家記念館、花ごぎ手織り伝承館
 マスカット、紫苑
 花ごぎ、畳表、い製品



1. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町

	倉敷市		市の木	くすのき
			市の花	ふじ
			市の鳥	カワセミ

面積 (k㎡)		人口・世帯		
		国調 (H27.10.1)	人口 (人)	世帯数
総面積 (R5.10.1)	356.07	国調 (H27.10.1)	477,118	189,847
耕地面積 (R5.7.15)	35.90	国調 (R2.10.1)	474,592	199,082
林野面積 (R2.2.1)	99.22	住基 (R7.1.1)	473,670	221,451

代表的な地域資源

倉敷美観地区、鷺羽山、王子が岳、円通寺
 白桃、マスカット、下津井たこ、連島ごぼう、タケノコ、スイートピー
 倉敷はりこ、倉敷ガラス、玉島だるま
 学生服、ジーンズ、帆布、豊縁、真田紐



	矢掛町		市の木	あかまつ
			市の花	さくら
			市の鳥	うぐいす

面積 (k㎡)		人口・世帯		
		国調 (H27.10.1)	人口 (人)	世帯数
総面積 (R5.10.1)	90.62	国調 (H27.10.1)	14,201	4,955
耕地面積 (R5.7.15)	10.90	国調 (R2.10.1)	13,414	5,000
林野面積 (R2.2.1)	58.10	住基 (R7.1.1)	13,101	5,514

代表的な地域資源

旧矢掛本陣石井家、旧矢掛脇本陣高草家、吉備真備公園
 いちご、ぶどう、梨、リーキネギ、アスパラガス、イタリア野菜
 柚べし、手延べそうめん、ハッカ、干し柿
 備中神楽面



	井原市		市の木	くろまつ
			市の花	さくら
			市の鳥	メジロ

面積 (k㎡)		人口・世帯		
		国調 (H27.10.1)	人口 (人)	世帯数
総面積 (R5.10.1)	243.54	国調 (H27.10.1)	41,390	14,914
耕地面積 (R5.7.15)	21.90	国調 (R2.10.1)	38,384	14,732
林野面積 (R2.2.1)	159.16	住基 (R7.1.1)	36,670	16,601

代表的な地域資源

平櫛田中美術館、美星天文台、井原堤、中世夢が原、嫁入らず観音院
 経ヶ丸グリーンパーク、天神峡
 ぶどう、明治ごんぼう、美星満天豚、
 井原デニム



1. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町

	浅口市		市の木	桜
			市の魚	かき
			市の星	シリウス

面積 (k㎡)	
総面積 (R5.10.1)	66.46
耕地面積 (R5.7.15)	8.33
林野面積 (R2.2.1)	29.46

人口・世帯	人口 (人)	世帯数
国調 (H27.10.1)	34,235	12,463
国調 (R2.10.1)	32,772	12,615
住基 (R7.1.1)	32,525	14,449

代表的な地域資源

通照山、国立天文台、京都大学岡山天文台、岡山天文博物館
 かもがた町家公園、寄島園地、アッケシソウ自生地
 カキ、ガザミ、桃、梨、日本酒
 金光饅頭、手延べ麺、植木



	里庄町		市の木	つばき

面積 (k㎡)	
総面積 (R5.10.1)	12.23
耕地面積 (R5.7.15)	1.52
林野面積 (R2.2.1)	3.85

人口・世帯	人口 (人)	世帯数
国調 (H27.10.1)	10,929	4,027
国調 (R2.10.1)	10,950	4,138
住基 (R7.1.1)	10,880	4,662

代表的な地域資源

仁科芳雄博士生家、仁科会館、歴史民俗資料館、つばきの丘運動公園
 桃、里庄まこもたけ、坊ちゃんかぼちゃ
 大原焼



	笠岡市		市の木	いちよう
			市の花	きく
			市の魚	しゃこ

面積 (k㎡)	
総面積 (R5.10.1)	136.07
耕地面積 (R5.7.15)	17.09
林野面積 (R2.2.1)	51.64

人口・世帯	人口 (人)	世帯数
国調 (H27.10.1)	50,568	19,189
国調 (R2.10.1)	46,088	18,466
住基 (R7.1.1)	44,017	21,849

代表的な地域資源

古城山公園、カプトガニ博物館、竹喬美術館、道の駅「笠岡ベイファーム」
 バラ、いちじく、いちご、ひじき、のり、鶏卵
 笠岡ラーメン、桜鯛の浜焼、かぶとがにまんじゅう
 石材、北木石、吉備焼



1. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町

●各自治体の地域指定の状況

	山振	特農	過疎	特土	離島	豪雪	辺地	電源
新見市	●	●	●			●	●	●
高梁市	●	●	●				●	●
総社市	●	●		●			●	
早島町								
倉敷市				●	●			
矢掛町	●	●	●	●			●	
井原市	●	●	●	●			●	
浅口市		●	●	●				
里庄町				●				
笠岡市		●		●	●		●	

※R6.4.1 現在

山振・・・山村地域振興

山村地域とは、国が定める山村振興法により指定されている地域で、森林等の面積の占める割合（林野率）が多い地域でかつ人口密度が低い地域

特農・・・特定農山村地域振興

特定農山村地域とは、地理的条件が悪く、農業生産条件が不利な地域であり、かつ、土地利用の状況、農林業従事者数等からみて農林業が重要な事業である地域として、政令で定める区域

過疎・・・過疎地域振興

過疎地域とは、人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域

特土・・・特殊土壌地帯振興

特殊土壌地帯とは、しばしば台風の来襲を受け、雨量が極めて多く、かつシラス等特殊な火山噴出物等の特殊土壌に覆われているために、災害が発生しやすく農業生産力が低い地帯

離島・・・離島振興

豪雪・・・豪雪地帯振興

豪雪地帯とは、国が規定する地域について、積雪の度その他の事情を勘案して政令で定める基準に従い、かつ、国土審議会の意見を聴いて指定する地帯

辺地・・・辺地地域振興

辺地地域とは、交通条件や自然的・経済的・文化的諸条件に恵まれず、他の地域に比べて住民の生活文化水準が低い山間地、離島その他のへんびな地域で、住民の数その他について政令で定める要件に該当している地域

電源・・・発電用施設周辺地域振興

発電用施設周辺地域とは、建設準備中・工事中・運転中の発電所などの周辺地域

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

1) 高梁川流域圏の現状



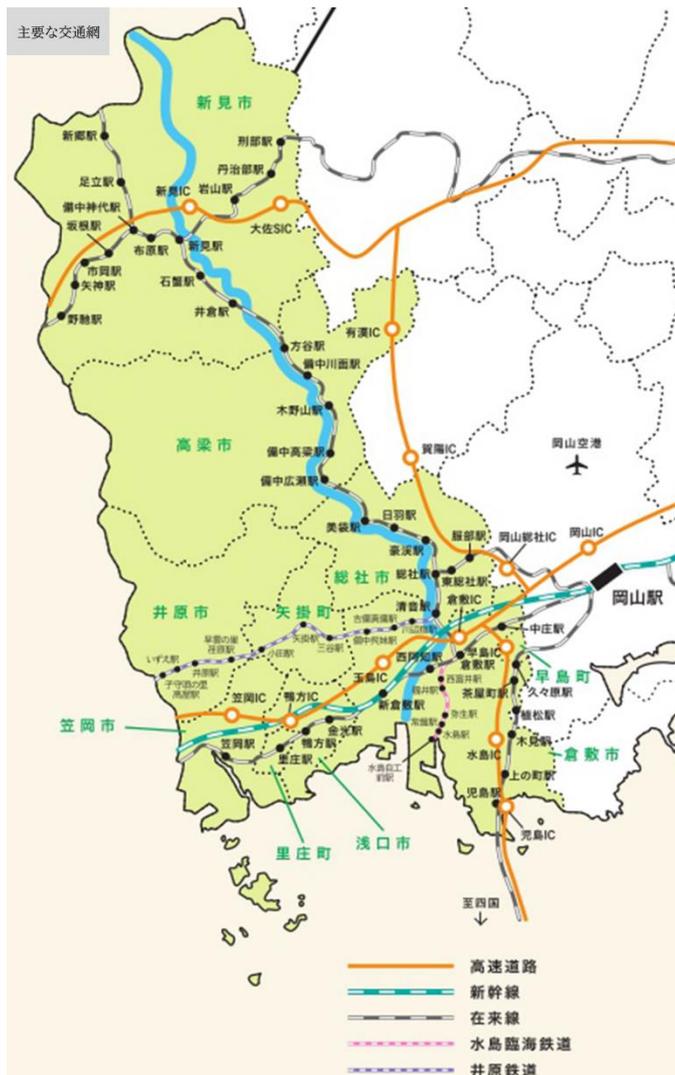
【岡山県】

人口：1,829,545 人
面積：7,114.33 km²

【高梁川流域圏（7市3町）】

人口：732,543 人
面積：2,464.52 km²

（令和6年12月1日現在
岡山県毎月流動人口調査）
（令和2年国勢調査面積）



●主要な交通網

【高速道路】

- 中国自動車道
圏域北部を東西に横断
- 岡山自動車道
圏域を南北に横断
- 山陽自動車道
圏域南部を東西に横断
- 瀬戸中央自動車道
岡山県と香川県を結ぶ

【鉄道】

- JR山陽新幹線
- JR山陽本線、伯備線、瀬戸大橋線
- 井原鉄道
- 水島臨海鉄道

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

●連携中枢都市（倉敷市）への通勤通学者割合

(%)

新見市	高梁市	総社市	早島町	矢掛町	井原市	浅口市	里庄町	笠岡市
0.8	3.1	22.7	34.9	16.8	3.6	26.2	14.0	6.3

※令和2年国勢調査より（原数値による）

●人口推移（見込み）

※推計人口（令和7年以降）は社会保障・人口問題研究所発表資料(令和5年12月公表)より

〈推計人口〉

(人) (%)

市町名	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	増減率
新見市	28,079	25,336	22,850	20,571	18,488	16,536	14,693	▲47.7
高梁市	29,072	24,755	22,377	20,142	17,937	15,861	14,031	▲51.7
総社市	69,030	68,632	67,729	66,550	65,056	63,334	61,585	▲10.8
早島町	12,368	12,274	12,095	11,876	11,644	11,399	11,133	▲10.0
倉敷市	474,592	468,858	459,581	448,711	436,212	423,029	409,836	▲13.6
矢掛町	13,414	12,595	11,804	11,043	10,304	9,589	8,919	▲33.5
井原市	38,384	35,757	33,205	30,710	28,246	25,871	23,584	▲38.6
浅口市	32,772	31,040	29,199	27,305	25,404	23,623	21,953	▲33.0
里庄町	10,950	10,745	10,442	10,132	9,803	9,462	9,121	▲16.7
笠岡市	46,088	42,405	38,729	35,203	31,762	28,447	25,357	▲45.0
合計	754,749	732,397	708,011	682,243	654,856	627,151	600,212	▲20.5
割合(%)		▲3.0	▲6.2	▲9.6	▲13.2	▲16.9	▲20.5	

(千人) (%)

岡山県	1,888	1,832	1,774	1,713	1,646	1,578	1,510	▲20.0
割合(%)		▲3.0	▲6.0	▲9.3	▲12.8	▲16.4	▲20.0	

(千人) (%)

全国	126,146	123,262	120,116	116,639	112,837	108,801	104,686	▲17.0
割合(%)		▲2.3	▲4.8	▲7.5	▲10.6	▲13.7	▲17.0	

※令和2年の人口は、当該年度の国勢調査（不詳補完値※1）による（以下同じ）

※1 総務省統計局が国勢調査の集計に当たり、主な項目の集計結果（原数値）に含まれる

「不詳」をあん分等によって補完したもの

※推計値は、出生中位・死亡中位仮定によるもの（以下同じ）

※令和7年以降の「割合(%)」は令和2年対比（以下同じ）

※「増減率」は、令和32年対令和2年比（以下同じ）

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

〈年少推計人口（0歳～14歳）〉

(人) (%)

市町名	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	増減率
新見市	2,681	2,159	1,728	1,469	1,335	1,186	1,013	▲62.2
高梁市	2,550	1,969	1,536	1,249	1,113	986	858	▲66.4
総社市	9,605	9,057	8,487	8,074	7,925	7,684	7,299	▲24.0
早島町	2,027	1,945	1,834	1,771	1,777	1,760	1,708	▲15.7
倉敷市	62,150	56,803	52,320	50,120	49,262	47,712	45,100	▲27.4
矢掛町	1,426	1,304	1,170	1,061	1,015	962	885	▲37.9
井原市	3,881	3,216	2,725	2,354	2,171	1,943	1,692	▲56.4
浅口市	3,594	3,153	2,830	2,567	2,401	2,220	2,027	▲43.6
里庄町	1,525	1,436	1,332	1,262	1,230	1,197	1,144	▲25.0
笠岡市	4,566	3,791	3,071	2,647	2,335	2,039	1,733	▲62.0
合計	94,005	84,833	77,033	72,574	70,564	67,689	63,459	▲32.5
割合(%)		▲9.8	▲18.1	▲22.8	▲24.9	▲28.0	▲32.5	
岡山県		▲9.5	▲17.9	▲23.0	▲25.2	▲28.1	▲32.5	
全国		▲9.3	▲17.5	▲22.2	▲24.0	▲26.6	▲30.8	

〈生産年齢推計人口（15歳～64歳）〉

(人) (%)

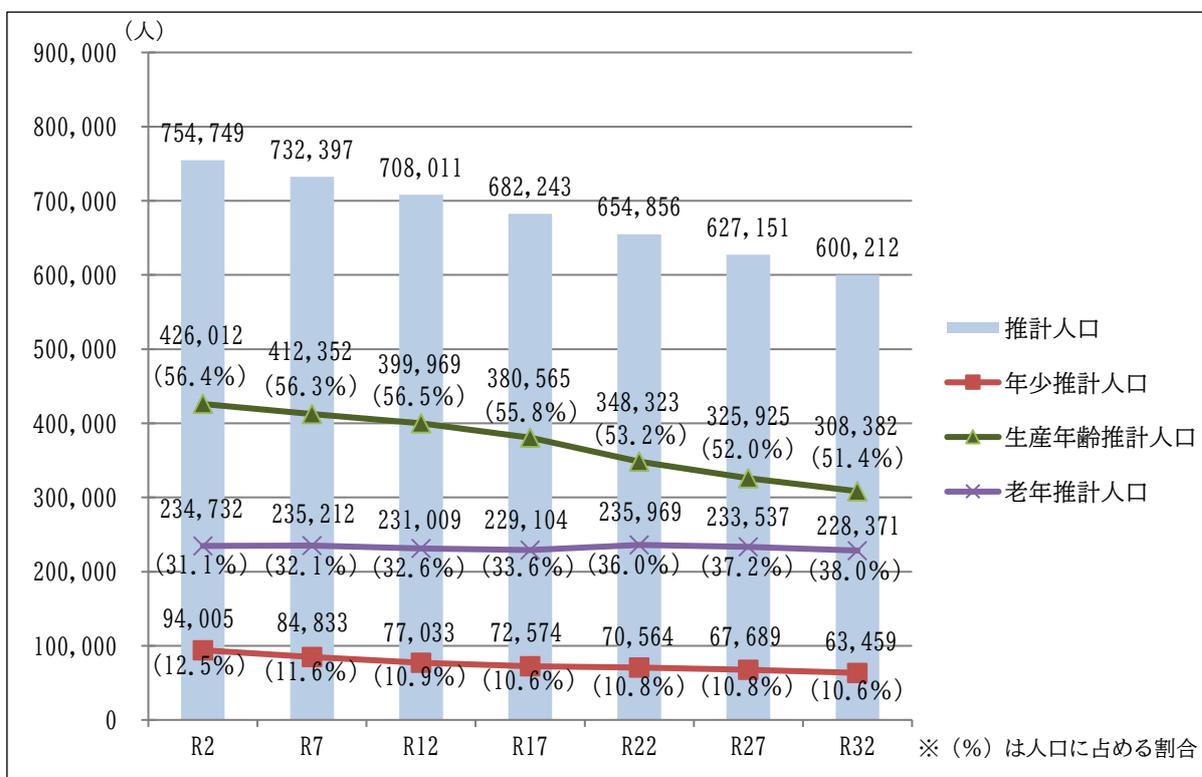
市町名	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	増減率
新見市	15,473	13,764	12,092	10,865	9,814	8,484	7,385	▲53.1
高梁市	16,706	14,599	11,567	10,568	9,562	8,149	6,879	▲59.5
総社市	39,014	39,895	39,514	39,261	38,492	36,190	34,396	▲17.4
早島町	6,904	6,901	6,926	7,001	6,859	6,430	6,133	▲14.6
倉敷市	282,873	277,052	274,080	269,154	258,520	239,027	226,343	▲21.8
矢掛町	7,421	6,739	6,241	5,918	5,521	4,930	4,479	▲38.6
井原市	22,473	20,114	18,570	17,162	15,505	13,508	11,934	▲46.6
浅口市	18,366	17,109	16,164	15,195	14,006	12,359	11,189	▲40.4
里庄町	6,154	5,971	5,825	5,733	5,538	5,147	4,921	▲21.2
笠岡市	27,439	23,868	21,373	19,112	16,748	14,099	12,266	▲55.4
合計	442,823	426,012	412,352	399,969	380,565	348,323	325,925	▲27.6
割合(%)		▲3.2	▲6.1	▲10.7	▲18.2	▲23.5	▲27.6	
岡山県		▲3.4	▲6.3	▲10.7	▲18.1	▲23.5	▲27.7	
全国		▲2.6	▲5.8	▲10.5	▲17.3	▲22.3	▲26.2	

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

〈老年推計人口（65歳以上）〉

市町名	(人)							(%)
	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	増減率
新見市	11,634	11,085	10,257	9,288	8,669	7,965	7,222	▲37.9
高梁市	11,923	11,219	10,273	9,331	8,675	7,996	7,267	▲39.1
総社市	19,530	20,061	19,981	19,984	20,941	21,254	21,334	9.2
早島町	3,440	3,403	3,260	3,246	3,437	3,506	3,531	2.6
倉敷市	135,390	137,975	138,107	140,071	147,923	148,974	147,963	9.3
矢掛町	5,249	5,050	4,716	4,461	4,359	4,148	3,899	▲25.7
井原市	14,389	13,971	13,318	12,851	12,567	11,994	11,156	▲22.5
浅口市	12,069	11,723	11,174	10,732	10,644	10,214	9,737	▲19.3
里庄町	3,454	3,484	3,377	3,332	3,426	3,344	3,274	▲5.2
笠岡市	17,654	17,241	16,546	15,808	15,328	14,142	12,988	▲26.4
合計	234,732	235,212	231,009	229,104	235,969	233,537	228,371	▲2.7
割合(%)		0.2	▲1.6	▲2.4	0.5	▲0.5	▲2.7	
岡山県		0.4	▲0.7	▲1.1	2.1	1.6	▲0.4	
全国		1.4	2.6	4.7	9.0	9.5	7.9	

〈圏域全体の人口推移〉



2. 高梁川流域圏の現状と将来像

〈推計人口（年齢区分割合）〉

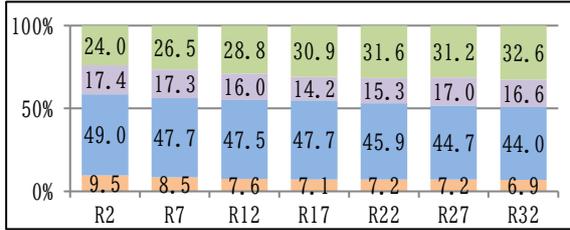
〔圏域全体〕

※単位：％

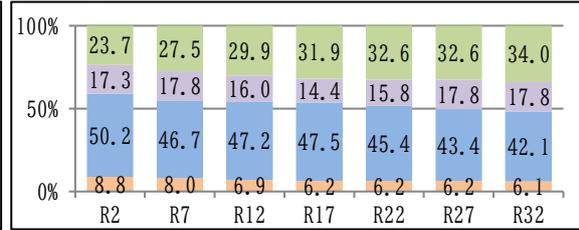


※国立社会保障・人口問題研究所発表資料より

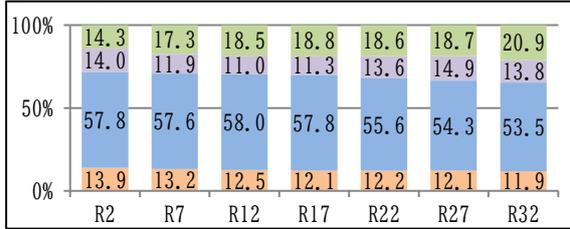
【新見市】



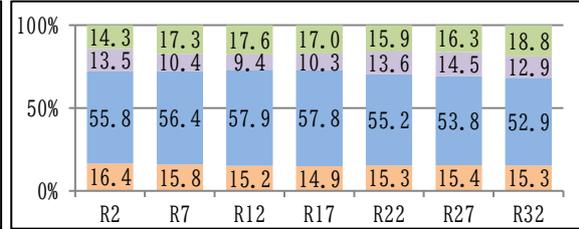
【高梁市】



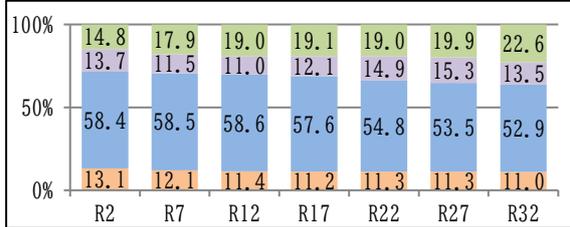
【総社市】



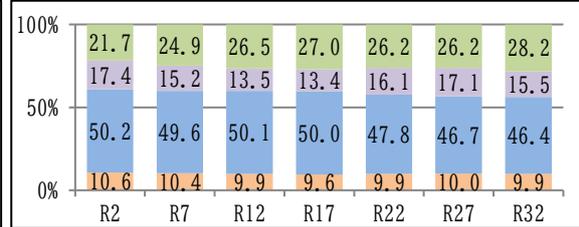
【早島町】



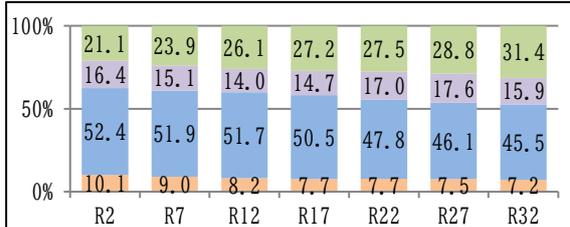
【倉敷市】



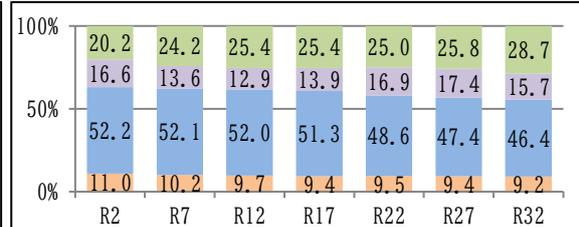
【矢掛町】



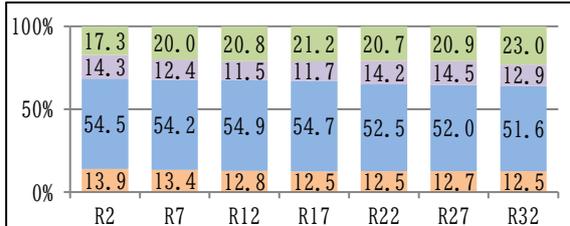
【井原市】



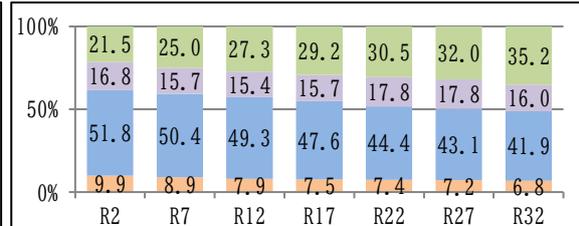
【浅口市】



【里庄町】



【笠岡市】



圏域全体の年齢区分割合は、少子高齢化（老年人口 31.1%↗38.1%、年少人口 12.5%↘10.6%）の進行と生産年齢人口（56.4%↘51.4%）の減少が見込まれている。

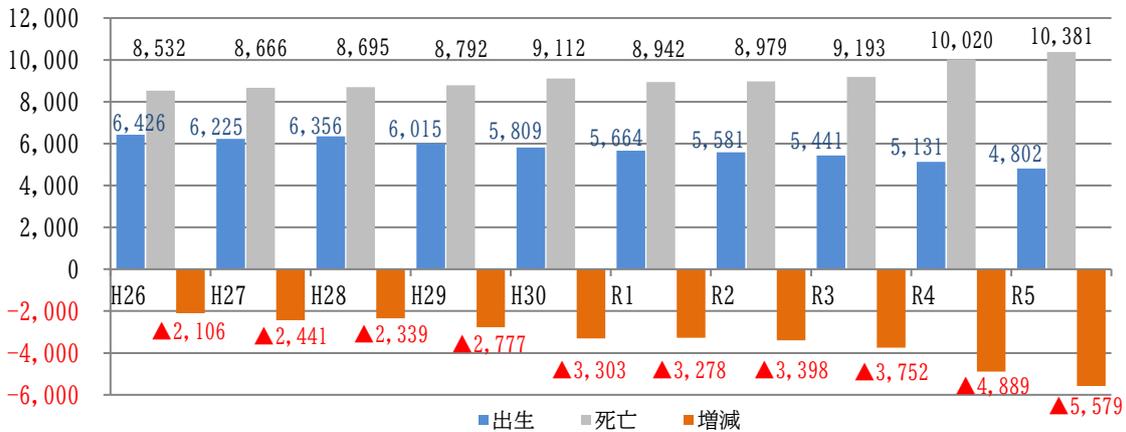
2. 高梁川流域圏の現状と将来像

●人口動態の状況

〈自然動態の状況〉

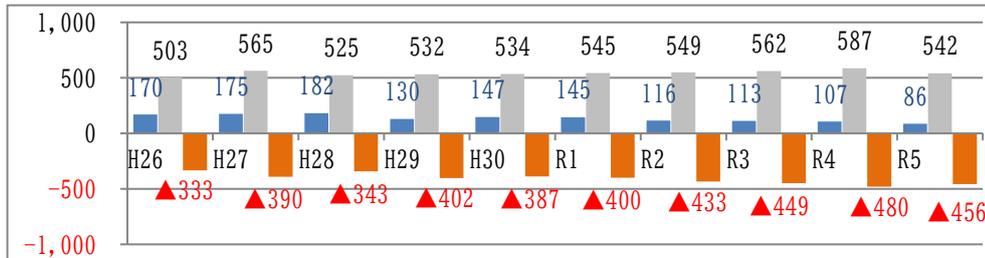
〔圏域全体〕

※単位：人

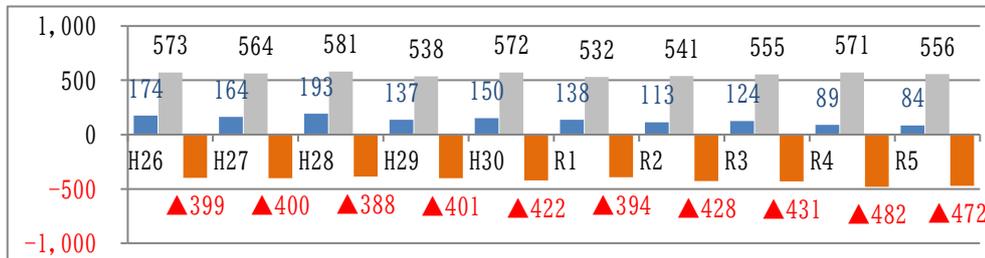


※岡山県毎月流動人口調査（市町村別・毎年1～12月計）より
 ※自然動態「増減」は、「出生数」－「死亡数」

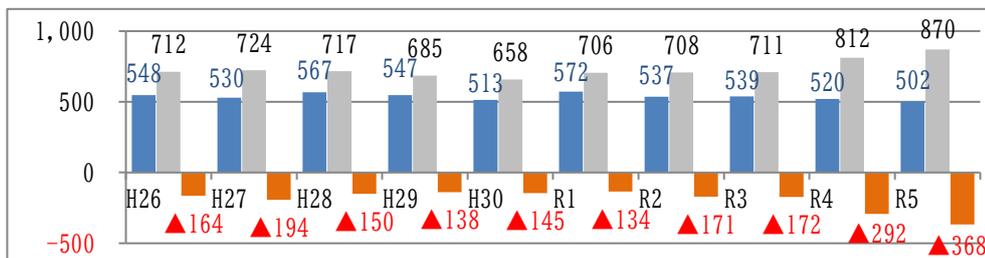
【新見市】



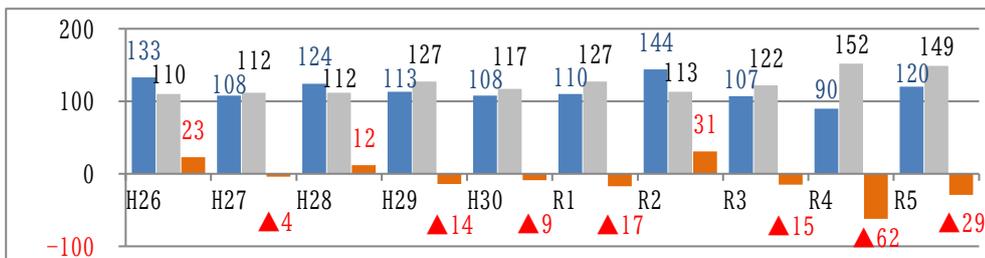
【高梁市】



【総社市】

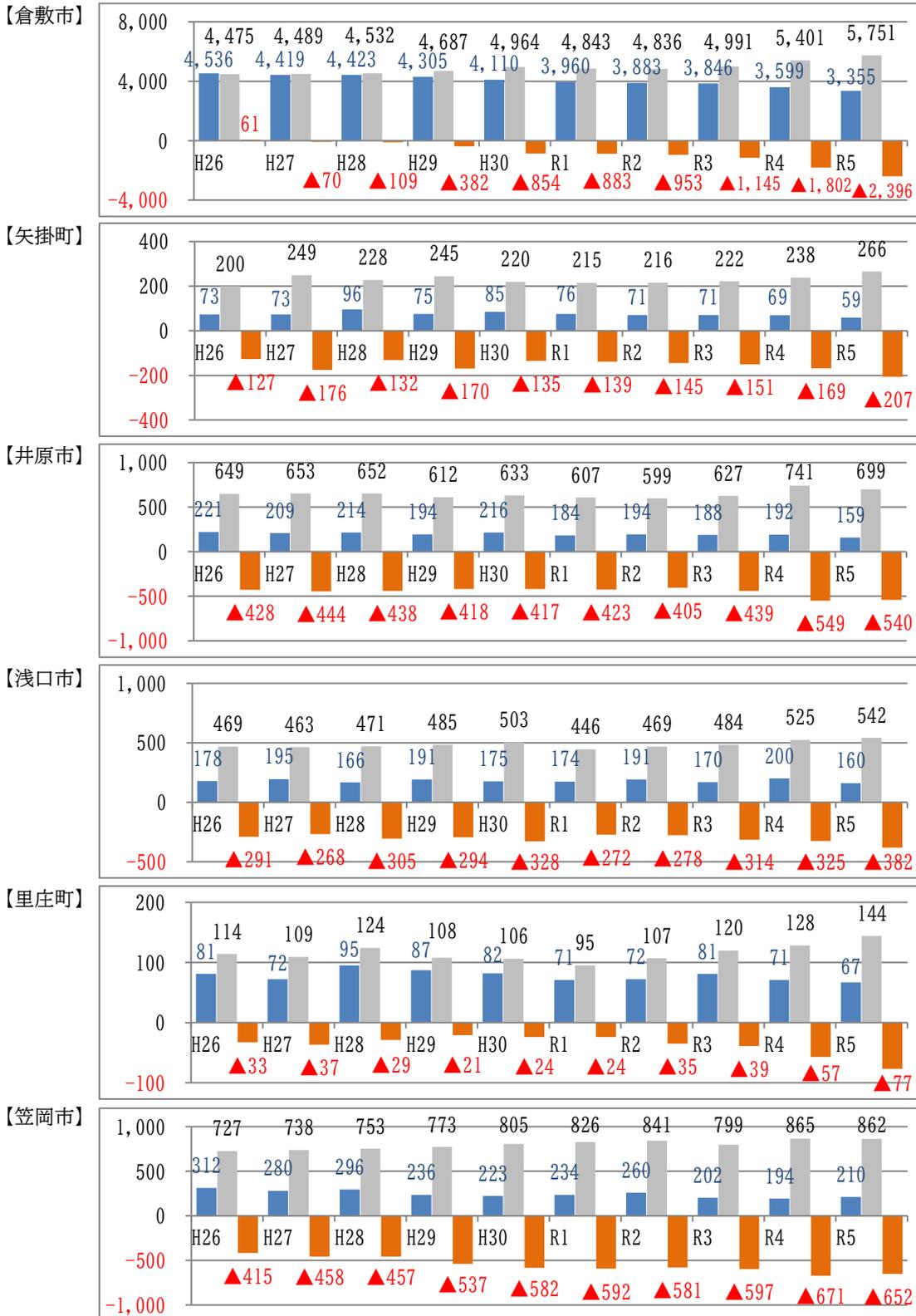


【早島町】



2. 高梁川流域圏の現状と将来像

※単位：人

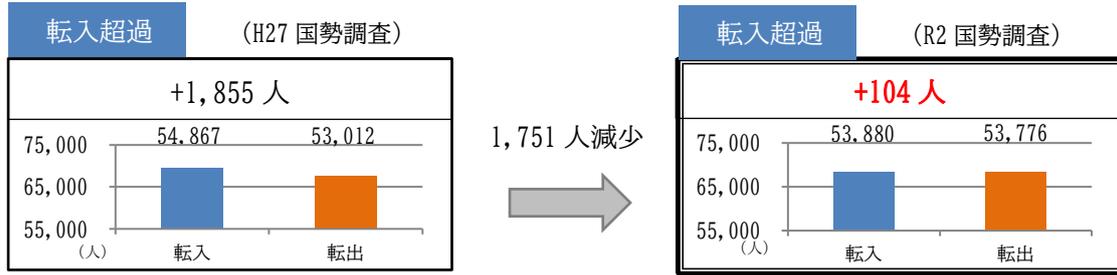


平成 29 年から全市町が減少に転じて以降、令和 2 年に早島町が増加に転じたが、再び全市町で減少となっている。圏域全体では、連携中枢都市圏事業を開始した平成 27 年の▲2,441 人から令和 5 年の▲5,579 人に減少幅は拡大している。

<参考> 岡山県の自然動態：平成 27 年 ▲5,920 人→令和 5 年 ▲13,725 人

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

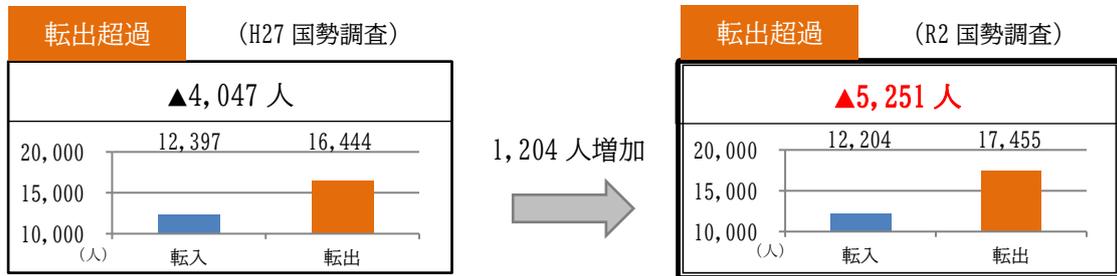
〈社会動態の状況〉 ※不詳補完値による
〔圏域全体〕



※R2(H27)と H27(H22)の調査結果比較による 5年間の他自治体への移動数(圏域内移動数は除く)

※社会動態「増減」は、「転入者数」－「転出者数」

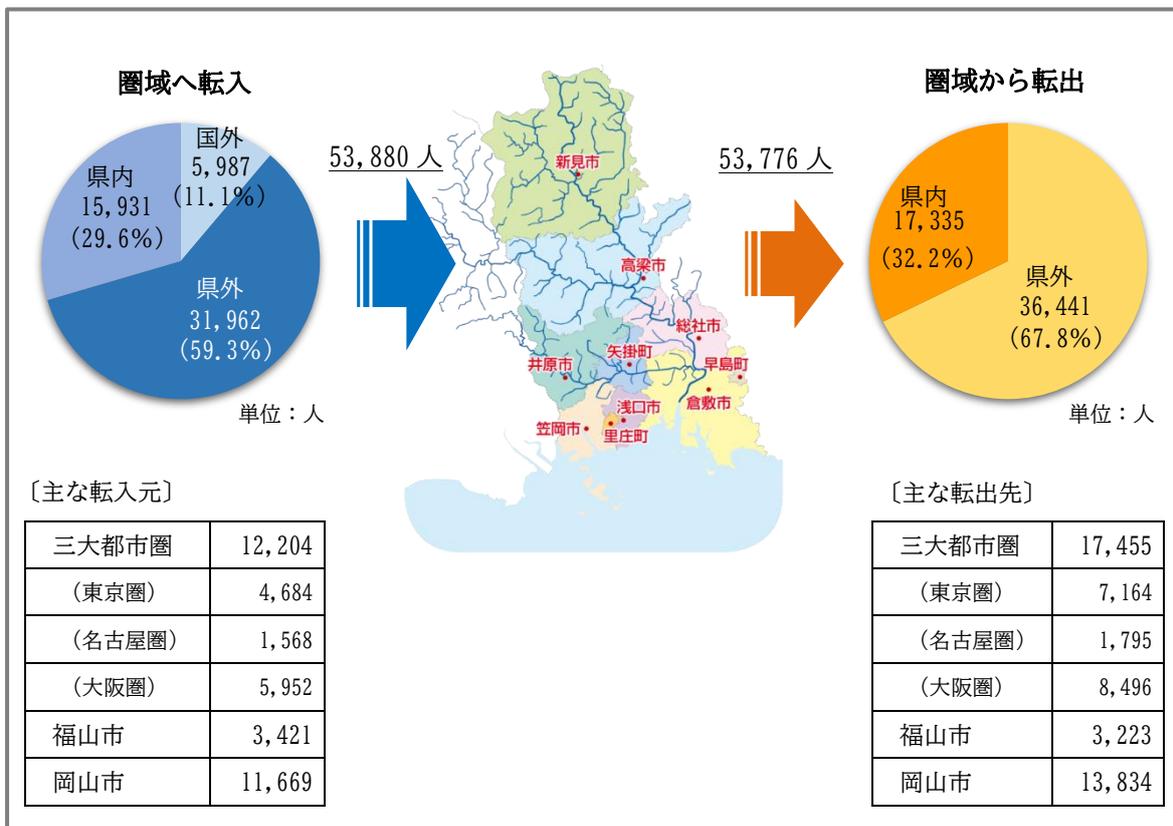
〔対三大都市圏〕



※三大都市圏 〔東京圏〕東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県

〔名古屋圏〕愛知県・岐阜県・三重県

〔大阪圏〕大阪府・京都府・兵庫県



2. 高梁川流域圏の現状と将来像

〔転入・転出（市町別内訳）〕

【高梁川流域圏内の状況】

(人)

	転入元 ※上段は R2、下段は H27 国勢調査の数値、()は H27 からの増減										転入 合計 ①
	新見市	高梁市	総社市	早島町	倉敷市	矢掛町	井原市	浅口市	里庄町	笠岡市	
新見市		95	56	3	190	3	8	7	5	17	384
		80 (+15)	56 (-)	4 (▲1)	162 (+28)	2 (+1)	17 (▲9)	9 (▲2)	2 (+3)	12 (+5)	344 (+40)
高梁市	172		159	2	230	11	40	6	3	13	636
	178 (▲6)		189 (▲30)	10 (▲8)	273 (▲43)	12 (▲1)	61 (▲21)	11 (▲5)	8 (▲5)	21 (▲8)	763 (▲127)
総社市	191	480		37	2,105	71	99	39	5	69	3,096
	171 (+20)	439 (+41)		28 (+9)	1,664 (+441)	48 (+23)	84 (+15)	47 (▲8)	5 (-)	38 (+31)	2,524 (+572)
早島町	7	16	19		561	4	4	9	1	6	627
	2 (+5)	15 (+1)	28 (▲9)		522 (+39)	5 (▲1)	8 (▲4)	7 (+2)	4 (▲3)	5 (+1)	596 (+31)
倉敷市	338	516	1,681	427		334	439	891	158	596	5,380
	383 (▲45)	506 (+10)	1,518 (+163)	568 (▲41)		314 (+20)	423 (+16)	1,052 (▲161)	178 (▲20)	648 (▲52)	5,590 (▲210)
矢掛町	1	4	24	3	301		93	20	4	47	497
	2 (▲1)	11 (▲7)	40 (▲16)	2 (+1)	263 (+38)		143 (▲50)	31 (▲11)	14 (▲10)	62 (▲15)	568 (▲71)
井原市	14	36	37	2	214	125		47	18	200	693
	6 (+8)	52 (▲16)	35 (+2)	2 (-)	259 (▲45)	108 (+17)		49 (▲2)	26 (▲8)	224 (▲24)	761 (▲68)
浅口市	6	13	28	2	800	17	68		137	334	1,405
	6 (-)	16 (▲3)	34 (▲6)	15 (▲13)	773 (+27)	25 (▲8)	103 (▲35)		171 (▲34)	283 (+51)	1,426 (▲21)
里庄町	2	2	3	1	186	11	23	187		316	731
	3 (▲1)	2 (-)	5 (▲2)	5 (▲4)	159 (+27)	11 (-)	31 (▲8)	179 (+8)		386 (▲70)	781 (▲50)
笠岡市	7	8	41	3	371	69	194	231	147		1,071
	11 (▲4)	18 (▲10)	41 (-)	7 (▲4)	400 (▲29)	82 (▲13)	279 (▲85)	254 (▲23)	186 (▲39)		1,278 (▲207)
転出 合計 ②	738	1,170	2,048	480	4,958	645	968	1,437	478	1,598	
	762 (▲24)	1,139 (+31)	1,946 (+102)	641 (▲161)	4,475 (+483)	607 (▲38)	1,149 (▲181)	1,639 (▲202)	594 (▲116)	1,679 (▲81)	
社会 動態 (圏域内) ①-②	▲354	▲534	1,048	147	422	▲148	▲275	▲32	253	▲527	
	▲418 (+64)	▲376 (▲158)	578 (+470)	▲45 (+192)	1,115 (▲693)	▲39 (▲109)	▲388 (+113)	▲213 (+181)	187 (+66)	▲401 (▲126)	

※不詳補完値による。

- ・圏域内の社会動態（転入－転出）では、総社市・早島町・倉敷市・里庄町が転入超過となっている。
- ・前回（H27 調査）に比し、新見市・総社市・早島町・井原市・浅口市・里庄町の社会動態が改善している。

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

【県内・県外の状況】

(人)

	転 入 元 ※上段は R2、下段は H27 国勢調査の数値、()は H27 からの増減									転入 合計 ④
	県内計	圏域内	岡山市	県外計	東京圏	名古屋圏	大阪圏	福山市	国 外	
新見市	827	384	279	977	98	34	233	32	183	1,987
	837 (▲10)	344 (+40)	333 (▲54)	1,016 (▲39)	107 (▲9)	34 (-)	250 (▲17)	40 (▲8)	158 (+25)	2,011 (▲24)
高梁市	1,288	636	346	1,331	118	47	258	97	758	3,377
	1,446 (▲158)	763 (▲127)	392 (▲46)	1,769 (▲438)	175 (▲57)	33 (+14)	358 (▲100)	79 (+18)	442 (+316)	3,657 (▲280)
総社市	5,312	3,096	1,644	2,489	333	193	660	124	996	8,797
	4,649 (+663)	2,524 (+572)	1,568 (+76)	2,509 (▲20)	372 (▲39)	153 (+40)	582 (+78)	114 (+10)	365 (+631)	7,523 (+1,274)
早島町	1,266	627	561	289	50	13	48	19	51	1,606
	1,192 (+74)	596 (+31)	491 (+70)	311 (▲22)	36 (+14)	26 (▲13)	66 (▲18)	17 (+2)	15 (+36)	1,518 (+88)
倉敷市	16,244	5,380	8,003	22,689	3,632	1,148	4,158	1,452	2,591	41,524
	17,542 (▲1,298)	5,590 (▲210)	8,648 (▲645)	23,750 (▲1,061)	3,506 (+126)	1,073 (+75)	4,275 (▲117)	1,415 (+37)	1,927 (+664)	43,219 (▲1,695)
矢掛町	617	497	106	303	45	19	77	60	270	1,190
	702 (▲85)	568 (▲71)	110 (▲4)	284 (+19)	25 (+20)	11 (+8)	82 (▲5)	55 (+5)	140 (+130)	1,126 (+64)
井原市	946	693	181	1,245	132	38	179	549	455	2,646
	1,037 (▲91)	761 (▲68)	195 (▲14)	1,415 (▲170)	131 (+1)	41 (▲3)	215 (▲36)	648 (▲99)	358 (+97)	2,810 (▲164)
浅口市	1,712	1,405	216	797	97	30	119	214	159	2,668
	1,700 (+12)	1,426 (▲21)	198 (+18)	882 (▲85)	140 (▲43)	50 (▲20)	142 (▲23)	202 (+12)	63 (+96)	2,645 (+23)
里庄町	866	731	114	302	22	5	39	152	135	1,303
	876 (▲10)	781 (▲50)	70 (+44)	325 (▲23)	33 (▲11)	7 (▲2)	46 (▲7)	133 (+19)	104 (+31)	1,305 (▲2)
笠岡市	1,373	1,071	219	1,540	157	41	181	722	389	3,302
	1,686 (▲313)	1,278 (▲207)	296 (▲77)	1,822 (▲282)	145 (+12)	40 (+1)	243 (▲62)	915 (▲193)	176 (+213)	3,684 (▲382)
圏域 合計 ③	30,451	14,520	11,669	31,962	4,684	1,568	5,952	3,421	5,987	68,400
	31,667 (▲1,216)	14,631 (▲111)	12,301 (▲632)	34,083 (▲2,121)	4,670 (+14)	1,468 (+100)	6,259 (▲307)	3,618 (▲197)	3,748 (+2,239)	69,498 (▲1,098)

※不詳補完値による。

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

(人)

	転出先 ※上段はR2、下段はH27 国勢調査の数値、()はH27からの増減								転出 合計 ⑥	社会 動態 (市町別) ④-⑥
	県内計	圏域内	岡山市	県外計	東京圏	名古屋圏	大阪圏	福山市		
新見市	1,619	738	606	1,103	139	31	318	54	2,722	▲735
	1,675 (▲56)	762 (▲24)	611 (▲5)	1,206 (▲103)	126 (+13)	52 (▲21)	332 (▲14)	48 (+6)	2,881 (▲159)	▲870 (+135)
高梁市	2,160	1,170	688	1,275	189	58	312	70	3,435	▲58
	2,174 (▲14)	1,139 (+31)	766 (▲78)	1,212 (+63)	160 (+29)	55 (+3)	303 (+9)	63 (+7)	3,386 (+49)	271 (▲329)
総社市	3,831	2,048	1,440	2,723	600	170	739	106	6,554	2,243
	3,710 (+121)	1,946 (+102)	1,390 (+50)	2,565 (+158)	544 (+56)	192 (▲22)	662 (+77)	51 (+55)	6,275 (+279)	1,248 (+995)
早島町	981	480	454	389	70	26	86	10	1,370	236
	1,150 (▲169)	641 (▲161)	438 (+16)	410 (▲21)	62 (+8)	22 (+4)	103 (▲17)	23 (▲13)	1,560 (▲190)	▲42 (+278)
倉敷市	16,172	4,958	9,049	24,956	5,367	1,325	5,872	1,177	41,128	396
	15,459 (+713)	4,475 (+483)	8,605 (+444)	23,968 (+988)	4,643 (+724)	1,769 (▲444)	5,308 (+564)	1,061 (+116)	39,427 (+1,701)	3,792 (▲3,396)
矢掛町	844	645	162	413	87	22	89	63	1,257	▲67
	876 (▲32)	607 (+38)	214 (▲52)	425 (▲12)	58 (+29)	14 (+8)	84 (+5)	72 (▲9)	1,301 (▲44)	▲175 (+108)
井原市	1,470	968	407	1,762	181	48	305	641	3,232	▲586
	1,670 (▲200)	1,149 (▲181)	426 (▲19)	1,842 (▲80)	175 (+6)	45 (+3)	304 (+1)	721 (▲80)	3,512 (▲280)	▲702 (+116)
浅口市	1,844	1,437	328	1,119	216	42	280	161	2,963	▲295
	2,124 (▲280)	1,639 (▲202)	385 (▲57)	1,199 (▲80)	160 (+56)	87 (▲45)	237 (+43)	203 (▲42)	3,323 (▲360)	▲678 (+383)
里庄町	631	478	128	383	53	10	96	60	1,014	289
	733 (▲102)	594 (▲116)	104 (+24)	402 (▲19)	55 (▲2)	17 (▲7)	87 (+9)	93 (▲33)	1,135 (▲121)	170 (+119)
笠岡市	2,303	1,598	572	2,318	262	63	399	881	4,621	▲1,319
	2,328 (▲25)	1,679 (▲81)	525 (+47)	2,515 (▲197)	240 (+22)	99 (▲36)	449 (▲50)	892 (▲11)	4,843 (▲222)	▲1,159 (▲160)
圏域 合計 ⑤	31,855	14,520	13,834	36,441	7,164	1,795	8,496	3,223	68,296	104
	31,899 (▲44)	14,631 (▲111)	13,464 (+370)	35,744 (+697)	6,223 (+941)	2,352 (▲557)	7,869 (+627)	3,227 (▲4)	67,643 (+653)	1,855 (▲1,751)
社会 動態 (対象地域別) ③-⑤	▲1,404	—	▲2,165	▲4,479	▲2,480	▲227	▲2,544	198		
	▲232 (▲1,172)	—	▲1,163 (▲1,002)	▲1,661 (▲2,818)	▲1,553 (▲927)	▲884 (+657)	▲1,610 (▲934)	391 (▲193)		

※不詳補完値による。

- ・圏域全体では、104人の転入超過（H27比較1,751人減少）。
- ・三大都市圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）への転出者数は17,455人（圏域外転出者の32.5%）。
- ・三大都市圏との社会動態は、5,251人の転出超過（東京圏2,480人、名古屋圏227人、大阪圏2,544人）。前回に比し、名古屋圏では657人の改善（転出減少）となった。
- ・市町別では、新見市、総社市、早島町、矢掛町、井原市、浅口市、里庄町は、前回に比し社会動態が改善している。

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

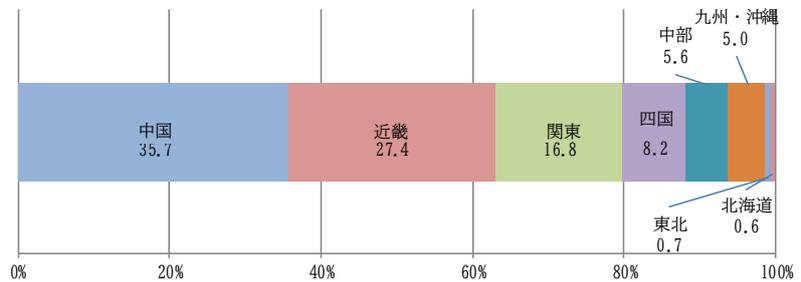
●観光動態の状況

携帯アプリGPSデータを活用した圏域来訪者の特徴分析結果

【データ利用期間】 2022年7月1日～2023年6月30日 <前回2019年1月1日～2019年12月31日>
【動態観測対象数】 34,481人 ※国内140種類以上のスマホアプリ利用者(全国約2,500万アクティブユーザー)及び国内外に展開しているアプリ利用者(日本利用約39万アクティブユーザー) ※圏域内に60分以上滞在した人(ただし、圏域内居住者、圏域内通勤者、15連泊以上の者等を除く)
【調査名】 「令和5年度 高梁川流域圏観光動態調査レポート」 ※本調査は特定のスマホアプリ利用者の位置情報(データ取得頻度は15分単位)を活用。前回調査は特定のキャリア利用者の位置情報(データ取得頻度は60分単位)を活用。より調査分析精度を高めた手法を採用し、かつ人流データ取得方法が異なるため、前回分析値は参考値として掲載する。

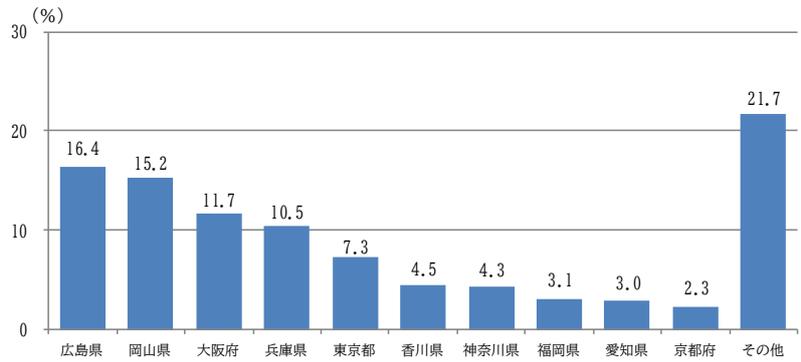
①地域分類別

順位	地域分類	来訪者数	構成比
1	中国	12,307	35.7
2	近畿	9,448	27.4
3	関東	5,793	16.8
4	四国	2,822	8.2
5	中部	1,945	5.6
6	九州・沖縄	1,711	5.0
7	東北	250	0.7
8	北海道	205	0.6
合計		34,481	100.0



②都道府県別

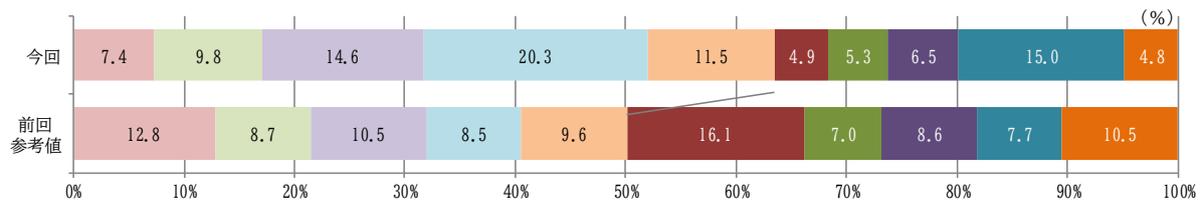
順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	広島県	5,638	16.4
2	岡山県	5,251	15.2
3	大阪府	4,029	11.7
4	兵庫県	3,620	10.5
5	東京都	2,516	7.3
6	香川県	1,553	4.5
7	神奈川県	1,489	4.3
8	福岡県	1,077	3.1
9	愛知県	1,039	3.0
10	京都府	787	2.3
-	その他	7,482	21.7
合計		34,481	100.0



- ・中国地方が全体の36%を占めており、次いで近畿となっているが、3番目に関東（特に東京都・神奈川県）と比較的遠距離からの来訪が四国を上回っている。
- ・都道府県別では、岡山県は2位であり、隣接する広島県からの来訪が最多であった。

③性別・年齢層別

	男性						女性					
	合計	10～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	10～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
来訪者数	21,896	2,535	3,367	5,028	7,014	10,966	12,585	1,676	1,841	2,235	5,187	1,646
構成比	63.5	7.4	9.8	14.6	20.3	11.5	36.5	4.9	5.3	6.5	15.0	4.8

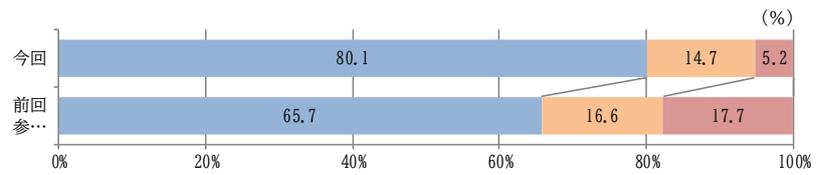


- ・性別では、男性の構成比が女性の1.7倍となっている。
- ・年齢層別では、50～59歳の割合が最も高く、全体の35.3%を占める。次いで40～49歳が21.1%となり、40～59歳で全体の過半数(56.4%)を占めている。
- ・性別かつ年齢層別では、最多は男性50～59歳(20.3%)、最小は女性60歳以上(4.8%)となっている。

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

④泊数別

泊数	来訪者数	構成比
日帰り	27,605	80.1
1泊	5,080	14.7
2泊以上	1,796	5.2
合計	34,481	100.0



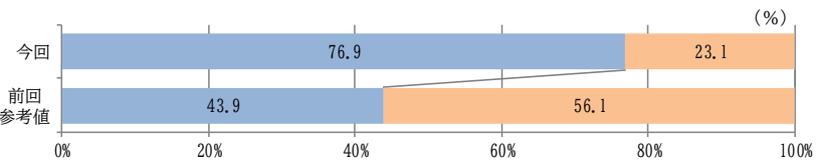
⑤泊数者（性別・年齢層別）

宿泊者性別	男性						女性					
	合計	10~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計	10~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
宿泊者数	4,432	531	648	948	1,404	901	2,444	359	387	413	916	369
構成比	64.5	7.7	9.4	13.8	20.4	13.1	35.5	5.2	5.6	6.0	13.3	5.4

⑥宿泊場所別

宿泊場所	人泊数※	構成比
圏域内宿泊	8,047	76.9
圏域外宿泊	2,419	23.1
合計	10,466	100.0

※人泊数＝宿泊人数×宿泊数



- ・泊数別では、来訪者の約2割が圏域内で宿泊している。
- ・性別かつ年齢層別では、最多は男性50～59歳（20.4%）、最小は女性10～29歳以上（5.2%）となっている。
- ・宿泊場所別では、圏域内宿泊割合が76.9%と高い割合を占める。

⑦2箇所周遊者（性別・年齢層別）

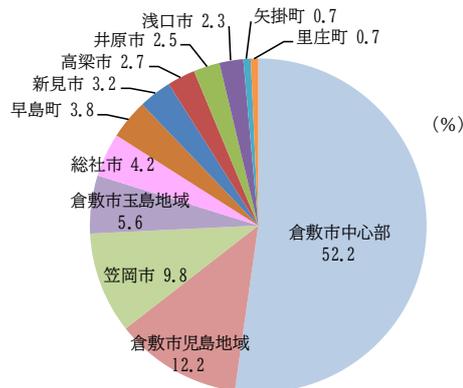
	男性					女性				
	合計	10~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上	合計	10~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上
来訪者数	2,061	258	356	457	990	1,010	159	160	199	492
構成比	67.1	8.4	11.6	14.9	32.2	32.9	5.2	5.2	6.5	16.0



- ・性別では、男性の構成比が女性の2倍となっている。
- ・年齢層別では、50歳以上で全体の48%を占めている。

⑧市町別

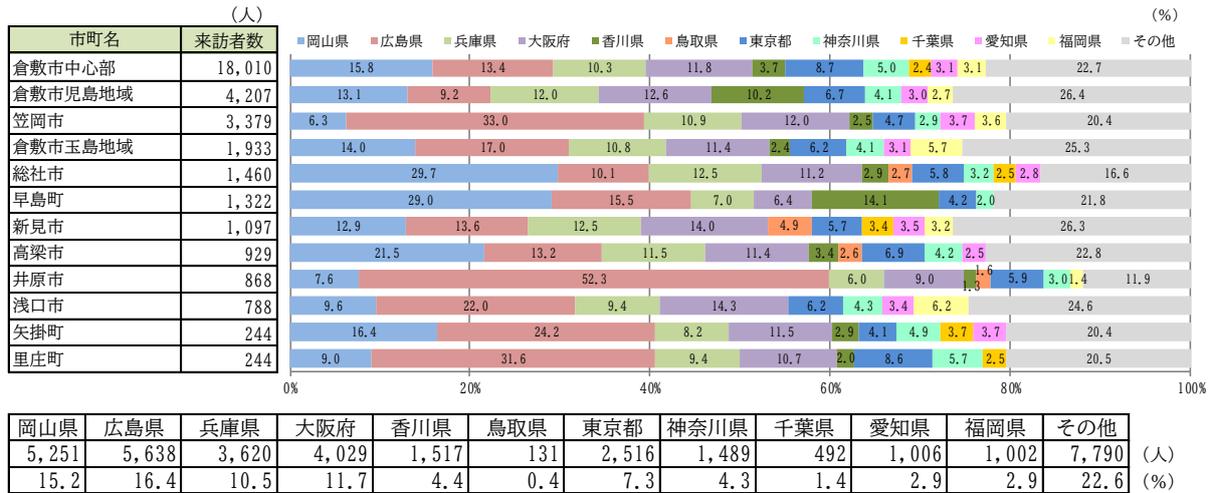
市町名	来訪者数	構成比
倉敷市中心部	18,010	52.2
倉敷市児島地域	4,207	12.2
笠岡市	3,379	9.8
倉敷市玉島地域	1,933	5.6
総社市	1,460	4.2
早島町	1,322	3.8
新見市	1,097	3.2
高梁市	929	2.7
井原市	868	2.5
浅口市	788	2.3
矢掛町	244	0.7
里庄町	244	0.7



- ・市町別では、約半数が倉敷市中心部を訪れ、次いで、倉敷市児島地域、笠岡市の順となっている。

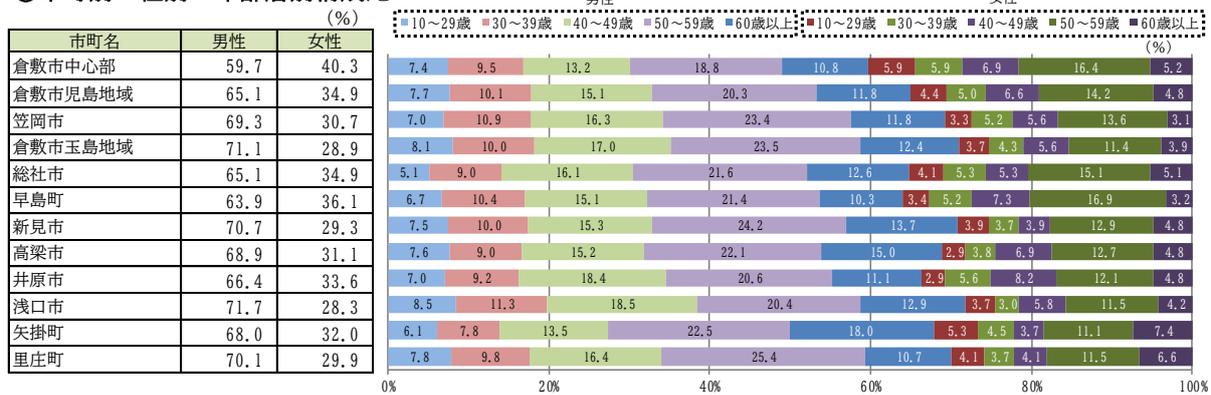
2. 高梁川流域圏の現状と将来像

⑨市町別 発地構成比（発地都道府県別）



- ・圏域への来訪者発地都道府県は広島県が最も多く、岡山県、大阪府、兵庫県の順が多い。
- ・東京都、神奈川県、千葉県の3都県からの合計来訪者数は4,497人と、大阪府の4,029人を上回る。

⑩市町別 性別・年齢層別構成比



- ・性別構成比では、全ての市町で男性が高くなっている。男女ポイント差は浅口市の43.4ポイントが最大となっている。
- ・年齢層別構成比では、全ての市町で50~59歳が最も高く、10~29歳が最も低くなっている。

⑪市町別 滞在時間（昼間：9時00分～20時59分の間）

順位	市町名	来訪者数(人)	昼間 平均滞在時間(時間:分)		
			全体	日帰り	宿泊
1	笠岡市	3,379	4:48	4:38	5:09
2	倉敷市玉島地域	1,933	4:44	4:09	5:20
3	早島町	1,322	4:42	4:18	5:31
4	浅口市	788	4:39	4:27	4:46
5	井原市	868	4:21	3:01	5:43
6	倉敷市児島地域	4,207	4:15	4:03	4:27
7	倉敷市中心部	18,010	4:12	3:18	5:12
8	高梁市	929	4:08	2:55	5:21
9	里庄町	244	4:02	2:51	4:46
10	総社市	1,460	3:57	2:57	4:49
11	新見市	1,097	3:56	3:27	4:34
12	矢掛町	244	3:02	2:37	3:14
圏域全体		34,481	4:14	3:33	4:54

- ・来訪者が圏域内に滞在する時間の平均は4時間14分で、前回（3時間35分）から 39分増加している。
- ・宿泊者の平均滞在時間（4時間54分）は、日帰り者の平均滞在時間（3時間33分）の1.38倍である。
- ・全体の滞在時間は笠岡市・倉敷市玉島地域の順で長く、日帰りでは笠岡市・浅口市、宿泊では井原市・早島町の順でそれぞれ滞在時間が長い。

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

⑫市町別 平均周遊箇所数

順位	市町名	(人)		(箇所)	
		来訪者数	1箇所のみ来訪者率	平均周遊箇所数	
1	里庄町	244	73.0	1.26	
2	矢掛町	244	70.9	1.23	
3	倉敷市玉島地域	1,933	80.3	1.17	
4	倉敷市児島地域	4,207	83.0	1.16	
5	総社市	1,460	83.1	1.15	
6	浅口市	788	82.5	1.14	
7	早島町	1,322	86.3	1.13	
8	井原市	868	88.1	1.11	
9	高梁市	929	85.7	1.10	
10	倉敷市中心部	18,010	91.4	1.08	
11	笠岡市	3,379	91.3	1.07	
12	新見市	1,097	90.5	1.06	
圏域全体				1.10	

- ・来訪者の平均周遊箇所数は1.10箇所、前回（1.07箇所）から増加した。
- ・里庄町、矢掛町、倉敷市玉島地域の来訪者は他エリアへの周遊傾向が強く、倉敷市中心部、笠岡市、新見市への来訪者は周遊傾向が弱い。

⑬周遊ルートランキング (TOP10)

順位	発エリア	着エリア	件数
1	倉敷市児島地域	倉敷市中心部	534
2	倉敷市中心部	倉敷市児島地域	498
3	倉敷市中心部	倉敷市玉島地域	223
4	倉敷市玉島地域	倉敷市中心部	194
5	倉敷市中心部	総社市	154
6	総社市	倉敷市中心部	125
7	倉敷市中心部	笠岡市	114
8	早島町	倉敷市中心部	109
9	倉敷市中心部	早島町	107
10	笠岡市	倉敷市中心部	93

- ・倉敷市内の発着が上位となり、TOP10の発着全てに倉敷市中心部が含まれていることから、倉敷市中心部が圏域内周遊のハブとなっている。

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

●圏域の地域資源 ～多様な地域資源（地場産業・農林水産品・観光資源）が集積

地場産業

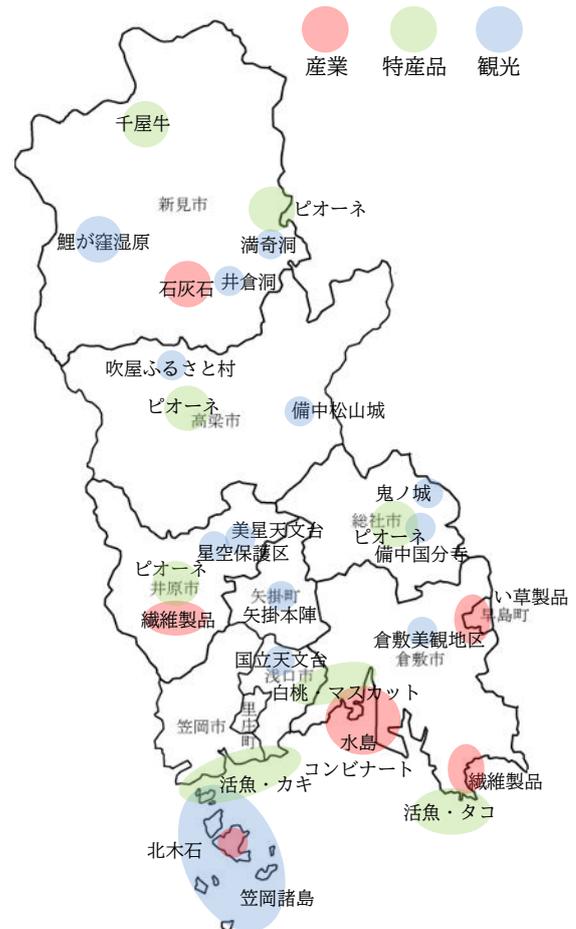
石油精製、鉄鋼、自動車など岡山県の製造品出荷額の約 50%を占める国内有数の臨海工業地帯「水島コンビナート」（倉敷市）をはじめ、全国的なシェアを誇る「学生服」（倉敷市）や「井原デニム」（井原市）、「ジーンズ」（倉敷市・井原市）などの繊維製品を製造する産業集積地を形成しているほか、「い草製品」（早島町・倉敷市）などの伝統的なものづくりも盛んである。また、国内有数の品質を誇る「石灰石」（新見市）や銘石「北木石」（笠岡市）など、多様な鉱石の産出地である。

農林水産品

「白桃」「マスカット・オブ・アレキサンドリア」「ピオーネ」（新見市・高梁市・総社市・倉敷市・井原市）などの果物や、「千屋牛」（新見市）、「連島ごぼう」（倉敷市）、「明治ごぼう」（井原市）、「笠岡ラーメン」（笠岡市）などの地域ブランド、「活魚」「タコ」「カキ」（倉敷市・笠岡市・浅口市）など、多様な特産品を有する。

観光資源

国内外から年間約 310 万人の観光客が訪れる「倉敷美観地区」（倉敷市）をはじめ、「高梁市吹屋地区」「矢掛町矢掛宿」の 3つの国指定重要伝統的建造物群保存地区を有するほか、新見市、高梁市、倉敷市、矢掛町には、古民家や町家など、昔ながらの景観を残す「町並み保存地区」がある。また、伝統的酒造りや白石踊（笠岡市）は「ユネスコ無形文化遺産」に、高梁市、総社市、倉敷市、笠岡市は文化庁から「日本遺産」に、井原市美星町はダークスカイ・インターナショナルから「星空保護区[®]」にそれぞれ認定されている。他にも「備中国分寺・国分尼寺跡」「作山古墳」「鬼ノ城」（総社市）、「備中松山城」「吹屋ふるさと村」（高梁市）、「井倉洞」「満奇洞」「鯉が窪湿原」（新見市）、「笠岡諸島」「笠岡湾干拓地」（笠岡市）、「旧山陽道宿場町・矢掛本陣」（矢掛町）、「美星天文台」（井原市）、「国立天文台ハワイ観測所岡山分室」（浅口市）など、地域の自然・歴史・文化に裏打ちされた特色ある観光資源が各地に点在している。



●圏域の交通網と産業基盤 ～利便性の高い交通網を活かした企業立地と広範な商圏

- ・圏域内には、製造・物流に必要不可欠な公共交通網として、J R山陽本線、J R伯備線、(株)井原鉄道のほか、山陽自動車道、岡山自動車道、中国自動車道、瀬戸中央自動車道の各高速道路が整備され、各自治体間を結んでいる。さらに、これら交通網は、岡山県内はもとより中国地方、四国地方の結節点となり、九州・関西地方ともつながっていることから、岡山県総合流通センター（早島町）や岡山総社 I C 付近に物流企業が集積するなど広域物流拠点が整備されている。
- ・また、玉島ハーバーアイランド（倉敷市）、新見工業団地（新見市）、成羽工業団地（高梁市）、テクノパーク総社（総社市）、笠岡港工業用地（笠岡市）、浅口工業団地（浅口市）などの工業団地が整備され、企業集積を図るとともに、圏域経済の基盤を支えている。
- ・このほか、J R倉敷駅周辺には、県外に至る商圏を有する2つの大型商業施設が立地するほか、年間約310万人の観光客が訪れる倉敷美観地区を有している（倉敷市）。



●統計指標

(所、人、百万円)

市町名	農 業		工 業			商 業		
	農家数	産出額	事業所数	従業者数	出荷額	事業所数	従業者数	販売額
新見市	2,816	14,900	64	1,967	80,458	297	1,568	33,081
高梁市	2,559	8,970	51	3,792	119,540	351	1,884	37,199
総社市	2,226	2,890	136	8,856	235,294	444	3,519	82,855
早島町	136	190	20	559	13,122	97	1,584	224,838
倉敷市	5,209	11,520	707	37,486	3,473,613	3,597	31,309	1,020,655
矢掛町	1,119	2,210	42	2,277	45,138	146	782	10,253
井原市	1,922	8,510	125	5,390	150,961	335	1,936	38,100
浅口市	1,281	940	65	2,583	65,982	235	1,697	35,870
里庄町	284	190	32	3,013	94,756	72	539	14,084
笠岡市	1,329	8,700	107	5,199	163,559	372	2,317	69,452
合計	18,881	59,020	1,349	71,122	4,442,423	5,946	47,135	1,566,387

※農業「農家数」：R2.2.1 現在（農林業センサス）、「産出額」：R2（生産農業所得統計）

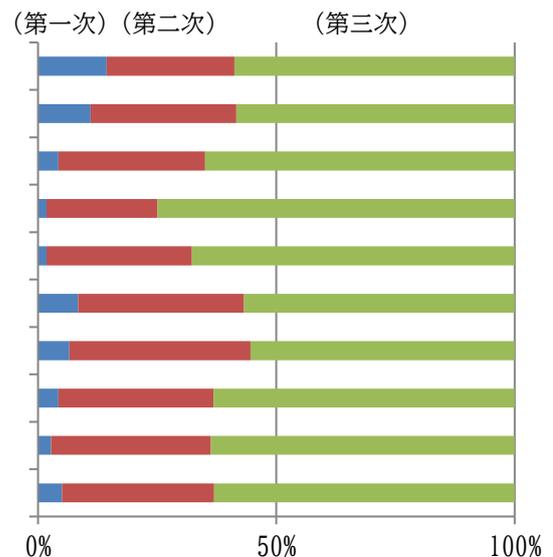
工業「事業所数」「従業者数」「出荷額」：R3.6.1 現在（経済センサス-活動調査）

商業「事業所数」「従業者数」「販売額」：R3.6.1 現在（経済センサス-活動調査）

(%)

市町名	就業人口比率		
	第一次産業	第二次産業	第三次産業
新見市	14.4	26.8	58.8
高梁市	11.0	30.6	58.4
総社市	4.3	30.8	65.0
早島町	1.8	23.3	74.9
倉敷市	1.8	30.5	67.7
矢掛町	8.4	34.8	56.8
井原市	6.6	38.0	55.4
浅口市	4.3	32.5	63.2
里庄町	2.7	33.6	63.7
笠岡市	5.0	32.0	63.1

※R2.10.1 現在（不詳補完値による）



2. 高梁川流域圏の現状と将来像

主要観光地観光客数

(千人)

市町名	観光地名	観光客数				令和5年の 対前年比
		R2	R3	R4	R5	
新見市	新見・井倉峡	148	157	259	275	106.2%
高梁市	高梁・備中松山城	109	66	105	109	103.8%
	成羽・吹屋	50	18	49	97	198.0%
総社市	吉備路・備中国分寺	370	345	473	512	108.2%
	総社・宝福寺	129	149	218	308	141.3%
倉敷市	倉敷美観地区	1,544	1,465	2,319	3,089	133.2%
	児島・鷲羽山	653	417	750	1,066	142.1%
	水島	75	88	132	218	165.2%
	庄周辺	38	58	97	141	145.4%
矢掛町	矢掛・矢掛本陣	276	524	555	581	104.7%
井原市	井原・田中苑	183	156	171	267	156.1%
笠岡市	笠岡・笠岡諸島	976	906	1,026	1,026	100.0%
合計		4,551	4,349	6,154	7,592	125.0%

※岡山県観光客動態調査（R6.9公表）より

※新型コロナウイルス感染症収束後は各地で回復傾向。

市町名	教 育						医 療			
	幼稚 園数	認定こ ども園数	小学 校数	中学 校数	高等学 校数	高等教育 機関数	病院数	診療所 数	三次 救急	二次 救急
新見市	-	8	15	5	2	1	4	29	-	4
高梁市	10	3	14	6	5	1	4	32	-	3
総社市	16	2	15	4	2	1	3	46	-	3
早島町	1	-	1	1	-	-	1	10	-	1
倉敷市	53	19	62	28	20	10	36	346	2	21
矢掛町	-	1	7	1	1	-	2	8	-	1
井原市	13	-	13	5	3	-	3	28	-	4
浅口市	3	5	8	4	3	-	2	17	-	1
里庄町	2	-	2	1	-	-	1	5	-	-
笠岡市	9	9	16	11	4	-	5	41	-	4
合計	107	47	153	66	40	13	61	562	2	42

※「園・校数」は、R5.5.1現在の公立及び私立（学校基本調査）。「高等教育機関数」は、R6.4.1現在の大学・短大等。

※「病院数」「診療所数」は、R4.10.1現在（医療施設調査）。「三次救急」「二次救急」は、R5.8現在。「二次救急」は、病院群輪番制・協力病院当番制・その他救急告示病院等の医療機関。

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

市町名	福 祉					
	保育所		養護老人ホーム		特別養護老人ホーム	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
新見市	4	340	1	50	5	370
高梁市	5	325	1	60	10	456
総社市	13	1,210	1	50	8	399
早島町	3	400	-	-	1	80
倉敷市	71	7,770	2	180	41	2,123
矢掛町	3	230	-	-	2	70
井原市	9	775	1	49	7	389
浅口市	4	365	-	-	2	160
里庄町	2	320	-	-	-	-
笠岡市	9	480	1	60	6	409
合計	123	12,215	7	449	82	4,456

※R5. 4. 1 現在

圏域内自治体連携の状況（圏域内で複数自治体が連携しているものを記載）

分野	事務組合名	構成団体名
農林業	八ヶ郷合同用水組合	倉敷市、早島町
	高梁川東西用水組合	倉敷市、早島町
	湛井十二箇郷組合	倉敷市、総社市 ほか
教育	岡山県笠岡市・矢掛町中学校組合	笠岡市、矢掛町
水道	備南水道企業団	倉敷市、早島町
	岡山県西南水道企業団	笠岡市、浅口市、里庄町
	岡山県広域水道企業団	倉敷市、井原市、総社市、高梁市 ほか
ごみ処理	岡山県西部環境整備施設組合	笠岡市、浅口市、里庄町
	倉敷西部清掃施設組合	倉敷市、浅口市
	岡山県井原地区清掃施設組合	井原市、矢掛町
	総社広域環境施設組合	倉敷市、総社市
し尿処理	備南衛生施設組合	倉敷市、早島町 ほか
	岡山県西部衛生施設組合	笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町
防災	笠岡地区消防組合	笠岡市、浅口市、里庄町
	井原地区消防組合	井原市、矢掛町
その他	岡山県市町村税整理組合	笠岡市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町 ほか
	備南競艇事業組合	総社市、浅口市、早島町 ほか

【(R6. 4. 1 現在) 岡山県市町村ハンドブック (令和6年度版)】

2. 高梁川流域圏の現状と将来像

●Well-being（地域幸福度）指標

地域における幸福度や生活満足度を計るアンケートデータ（主観指標）と、生活環境、地域の人間関係、自分らしい生き方の3つの因子群からなるオープンデータ（客観指標）から構成される地域幸福度指標。地域住民の幸福を主眼に置き、圏域での生活の豊かさを経済的観点からだけでなく、個々の心身の健康や地域コミュニティとの関係性など、各市町の特徴を総合的な観点で捉えることで、地域の個性を磨く機会の創出や、より効果的な広域連携を推進することが可能となる。

（1）Well-being の概要

- ・WHO 憲章における健康の定義（1946 年）
Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.（健康とは、肉体的、精神的、そして社会的に満たされた状態にあること。単に病気や虚弱の状態を意味するものではない。）
- ・SDGs 宣言文（2015 年国連総会）の目指す社会の方向性では、「身体的・精神的・社会的にウェルビーイングな社会」が盛り込まれている。
- ・日本政府の令和 5 年骨太方針（経済財政運営と改革の基本方針 2023「加速する新しい資本主義－未来への投資の拡大と構造的賃上げの実現－」）に「成長と分配の好循環の実現状況を各種指標から検証する」とあり、成長指標として Well-being 指標が明記されている。
- ・Sustainable Well-being Goals (SWGs) は、ポスト SDGs として 2030 年以降の国際的な共通目標として提唱され始めている。
- ・各地域のまちづくりにおいては、様々な事業が行われており、地域幸福度指標を「共通指標」として活用することで、市民や事業者など様々な関係者が、同じ目標に向けて協力することが可能となる。

（2）3つの因子群と24のカテゴリー名称

カテゴリー名称		
生活環境（16）		地域の人間関係（2）
医療・福祉	公共空間	地域とのつながり
買物・飲食	都市景観	多様性と寛容性
住宅環境	自然景観	自分らしい生き方（6）
移動・交通	自然の恵み	自己効力感
遊び・娯楽	環境共生	健康状態
子育て	自然災害	文化・芸術
初等・中等教育	事故・犯罪	教育機会の豊かさ
地域行政		雇用・所得
デジタル生活		事業創造

出典) デジタル庁 地域幸福度指標活動ガイドブック

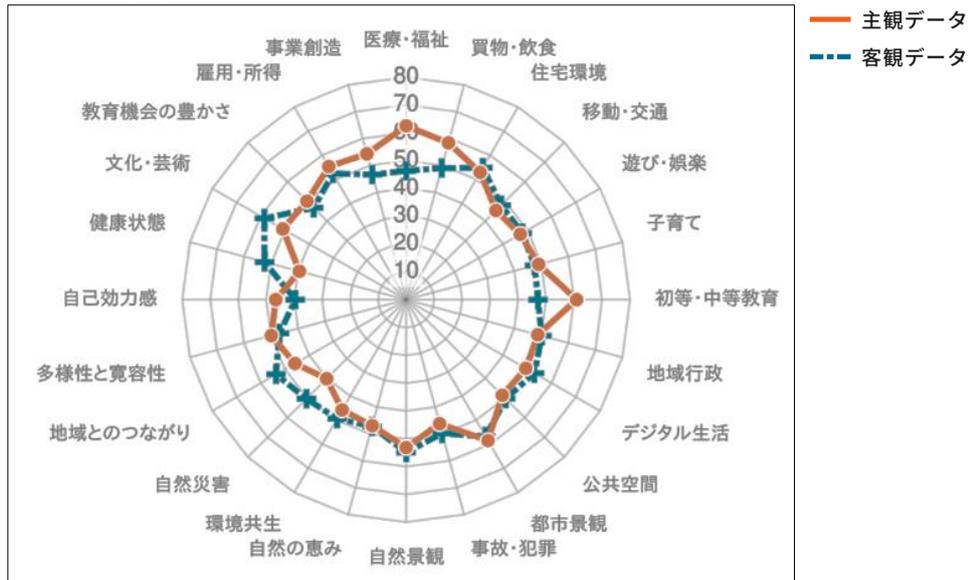
※24のカテゴリー名称に紐づく評価指標の定義は巻末参照

(3)各市町のレーダーチャートと傾向

※デジタル庁 2024 年度版 Well-Being 全国調査の主観・客観指標をインプットデータとし、生成 AI (Gemini 1.5Pro) が傾向を要約し出力した内容を一部加工したもの
 ※レーダーチャート出典元：デジタル庁「地域幸福度 Well-Being 指標」2024 年度版ダッシュボード (<https://well-being.digital.go.jp>)
 ※2024 年度調査対象自治体の 684 団体については主観データあり

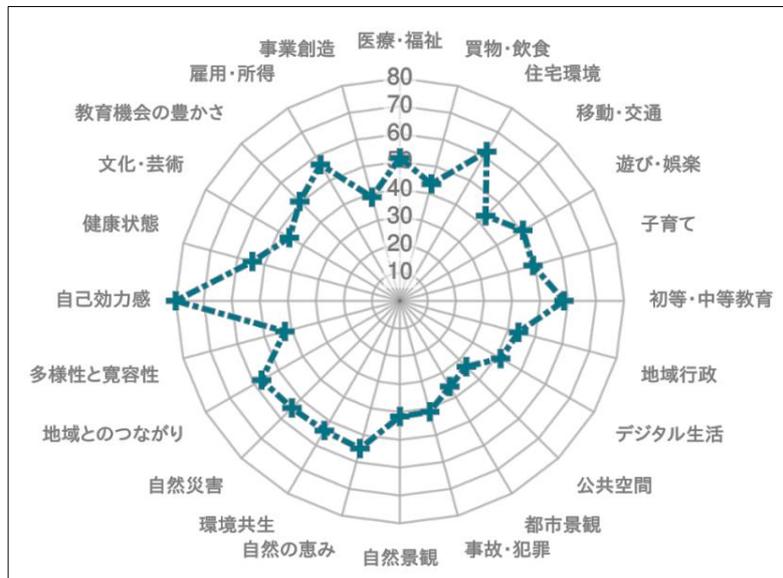
連携中枢都市：倉敷市

- ・都市景観、自然景観、文化・芸術、住宅環境、医療機関の充実といった分野で高い値を示しており、これらの分野が市の強みであると考えられます。
- ・一方で、人口あたり国保医療費、特定健診受診率、駅・バス停留所徒歩圏人口カバー率などは低い傾向にあります。



新見市 (客観データのみ)

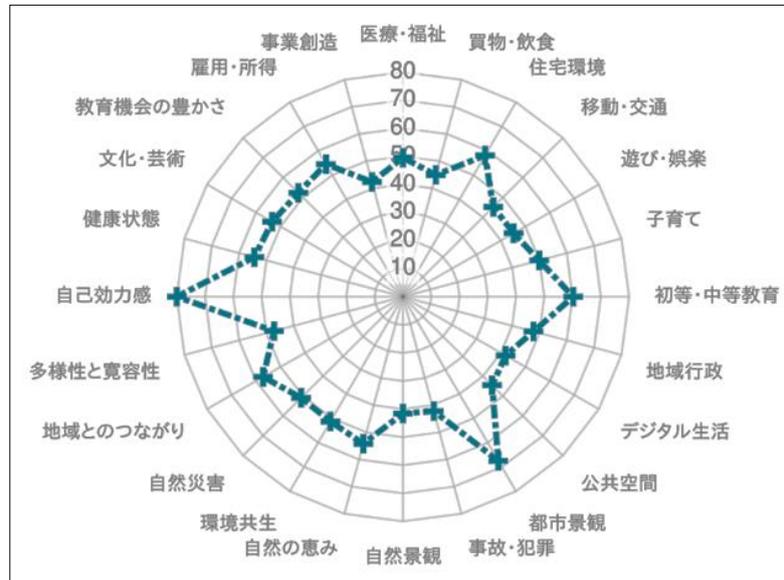
- ・医療・福祉、教育、自然環境、社会資本、経済活動、文化・芸術、防災、地域コミュニティにおいて良好な傾向を示しており、住民の生活の質が高い水準にあると考えられます。
- ・一方で、デジタル化、交通、雇用、事業創造、人口減少、高齢化といった課題も見られます。特に、デジタル政策指数、事業創造は低い傾向にあります。



2. 高梁川流域圏の現状と将来像

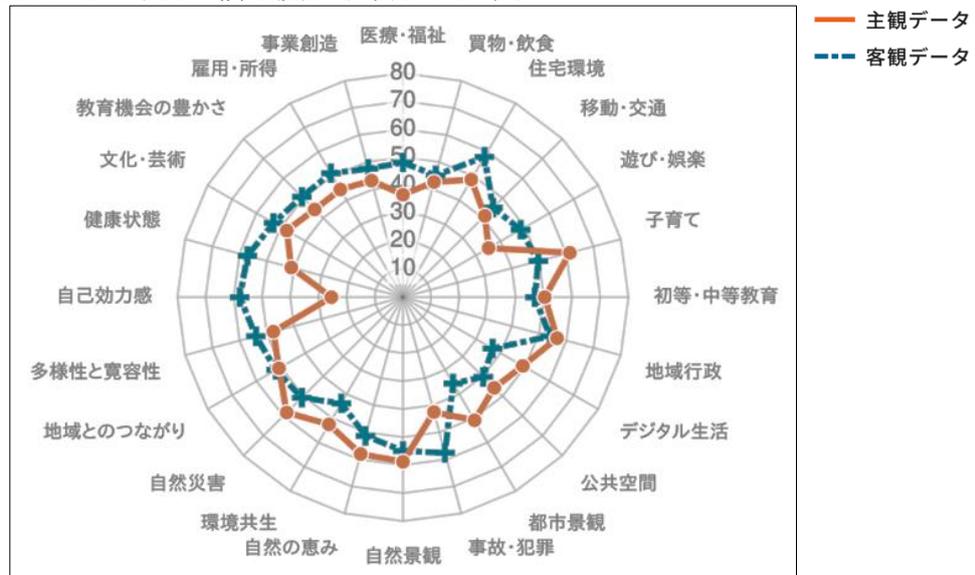
高梁市（客観データのみ）

- ・都市景観、緑地へのアクセス度、居住期間が20年以上の人口割合、人口あたり再生可能エネルギー発電容量、人口あたり生涯学習講座数において高い値を示しています。
- ・全体的に、生活の質に関する指標は高い一方で、デジタル政策指数、ゴミのリサイクル率、人口あたりCO2排出量等の分野は低い傾向にあります。



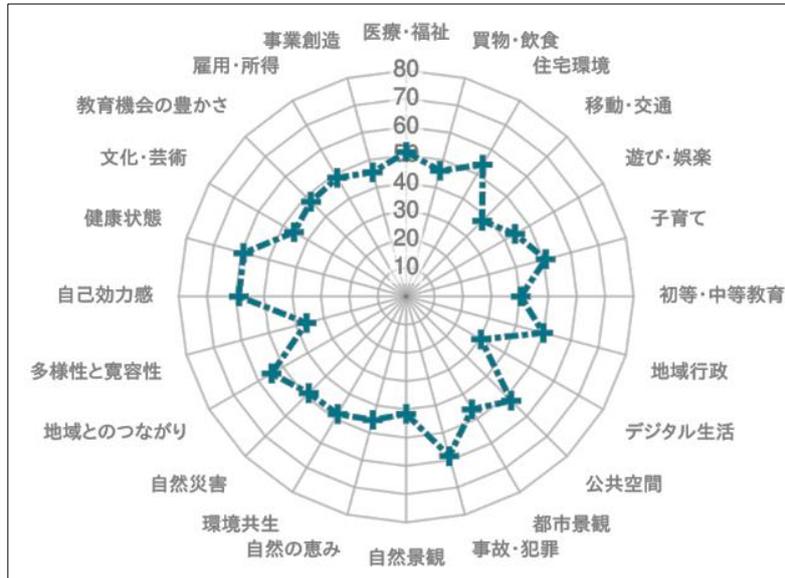
総社市

- ・自然環境や住宅環境に関する評価は高く、デジタル化や一部の経済指標は低い傾向にあります。
- ・子育て支援や行政への信頼は主観データで高く評価されており、客観データだけでは捉えきれない市民の満足度が示唆されます。



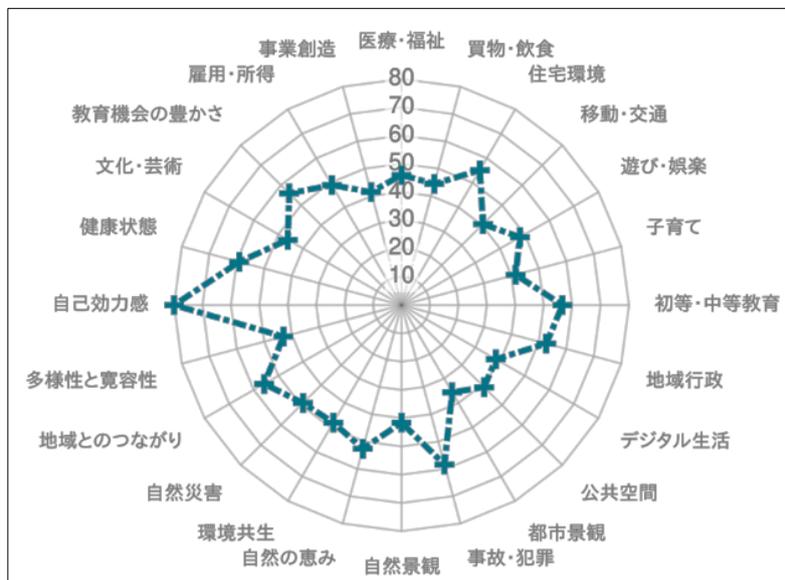
早島町（客観データのみ）

- ・医療・福祉、住宅環境、地域とのつながり、健康状態といった分野で高い値を示しており、住民の生活の質が高いことが示唆されます。
- ・一方で、移動・交通、デジタル生活、多様性と寛容性等は低い傾向にあります。



矢掛町（客観データのみ）

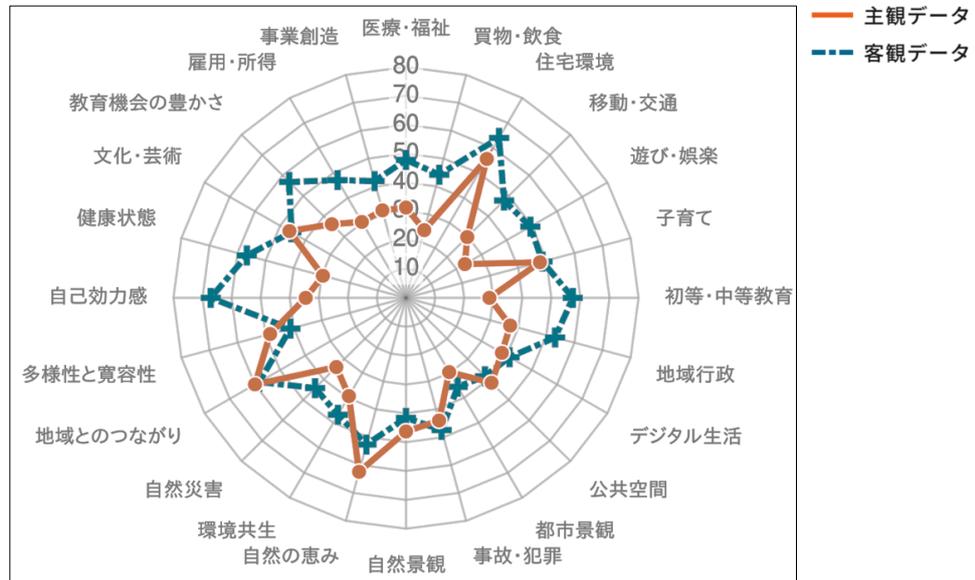
- ・健康状態、初等・中等教育といった分野で値が高く、デジタル生活、都市景観、移動・交通といった分野で低い傾向にあります。
- ・多くの指標で50前後となっており、一部の突出した数値を除き、平均的な自治体であると考えられます。



2. 高梁川流域圏の現状と将来像

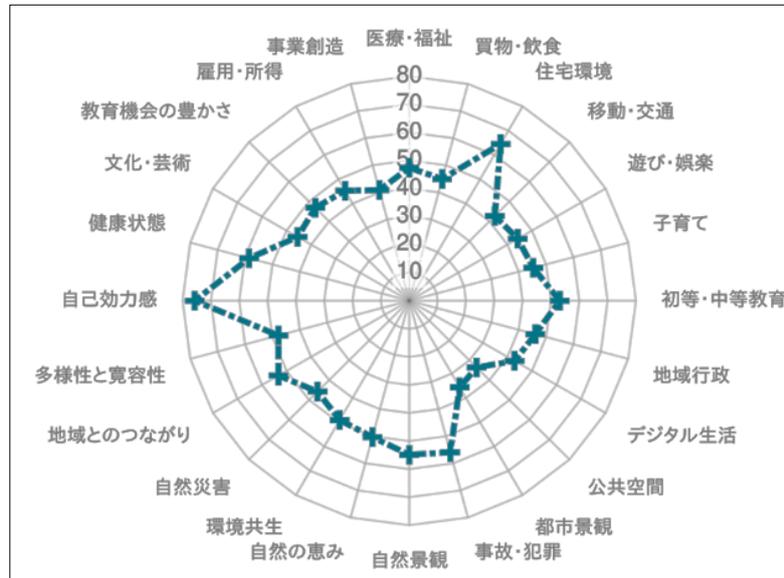
井原市

- ・ 自然の恵みや住宅環境、地域とのつながりといった項目で値が高く、自然環境の良さや地域コミュニティの強さを持つ地域であることを示唆しています。
- ・ 一方で、都市景観、デジタル化、医療・福祉、雇用・所得といった分野では、低い傾向となっています。



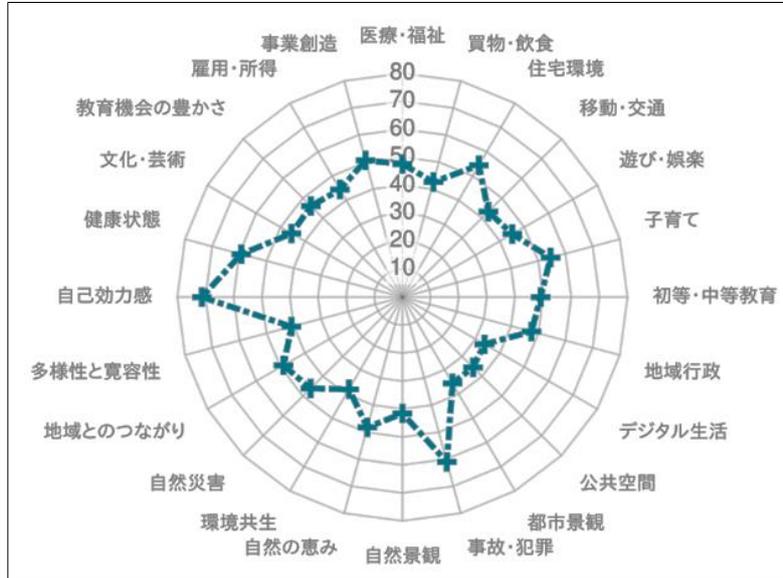
浅口市 (客観データのみ)

- ・ 健康状態、居住期間の長さ、選挙投票率、自然景観、住宅環境といった項目で高い値を示しています。
- ・ 全体的に見て、生活の質に関する項目は高い一方で、公共空間、都市景観、医療施設徒歩圏人口カバー率、創業比率等の項目では低い傾向となっています。



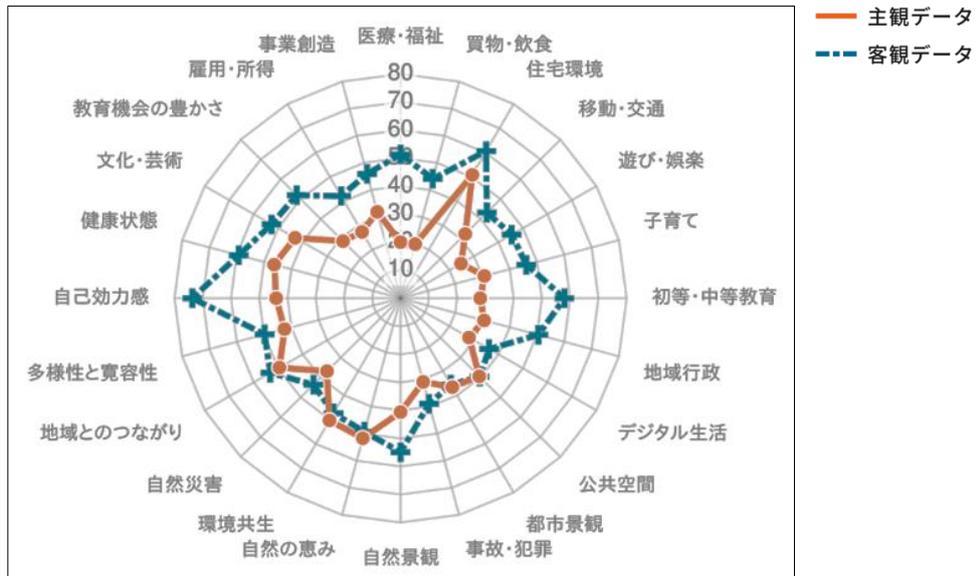
里庄町（客観データのみ）

- ・健康状態、居住期間が20年以上の人口割合といった項目で値が高く、地域住民の健康状態や地域社会の安定性が比較的高いことが示唆されます。
- ・デジタル生活、公共空間、都市景観といった項目では値が低い傾向にあります。50付近の項目が多く、平均的な自治体であると考えられます。



笠岡市

- ・個人の意識や健康に関する指標、また、住宅環境や自然景観といった生活環境に関する指標において高い値を示しています。これは、住民の生活の質の高さや、自然環境に恵まれた地域であることを示唆しています。
- ・一方で、デジタル生活や公共空間、都市景観、医療・福祉、買物・飲食といった、生活利便性や都市機能に関する指標は低い傾向にあります。



2. 高梁川流域圏の現状と将来像

2) 高梁川流域圏の将来像

高梁川流域圏は、将来人口の推計において、全国平均・岡山県平均より人口減少が進むことが見込まれており、人口減少速度を緩やかにしていくこと、また、圏域全体の持続可能性を高めることが、喫緊の課題のひとつとなっている。

※2020年から2050年までの人口推移（増減率）は全国平均▲17.0%、岡山県平均▲20.0%、高梁川流域圏▲20.5%（国立社会保障・人口問題研究所調べ）

	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	増減率 (%)
高梁川 流域	754,749	732,397	708,011	682,243	654,856	627,151	600,212	▲20.5
令和2年 対比(%)		▲3.0	▲6.2	▲9.6	▲13.2	▲16.9	▲20.5	

(千人)

岡山県	1,888	1,832	1,774	1,713	1,646	1,578	1,510	▲20.0
令和2年 対比(%)		▲3.0	▲6.0	▲9.3	▲12.8	▲16.4	▲20.0	

(千人)

全国	126,146	123,262	120,116	116,639	112,837	108,801	104,686	▲17.0
令和2年 対比(%)		▲2.3	▲4.8	▲7.5	▲10.6	▲13.7	▲17.0	

このような状況を踏まえ、高梁川流域連盟で培ってきたこれまでのつながりを活かし、圏域全体の発展に向けて、以下の視点で取組を進める必要がある。

- ・圏域内での自然動態の減少抑制を目指し、若年世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための切れ目のない施策を推進する。
- ・社会動態の増加を目指し、圏域内から三大都市圏への人口流出を抑制するとともに、三大都市圏から圏域内に人・資源を呼び込む施策を推進する。

このため、連携中枢都市の倉敷市は、①圏域全体の経済成長のけん引、②高次の都市機能の集積・強化、③圏域全体の生活関連機能サービスの向上に積極的に取り組んでいく。また、連携市町においても、圏域全体の総合力を発揮するため、それぞれの個性と魅力を磨き高めていくとともに、圏域内での連携・役割分担に取り組むこととする。

高梁川流域の7市3町は、太古の昔から大地を潤し、緑豊かな自然を育み、郷土の歴史と文化を生み、産業を育てた“母なる川”の流れと共に豊かな暮らしの営みがあることを忘れることなく、これまで長年にわたり流域の文化向上に寄与する取組を行ってきた。

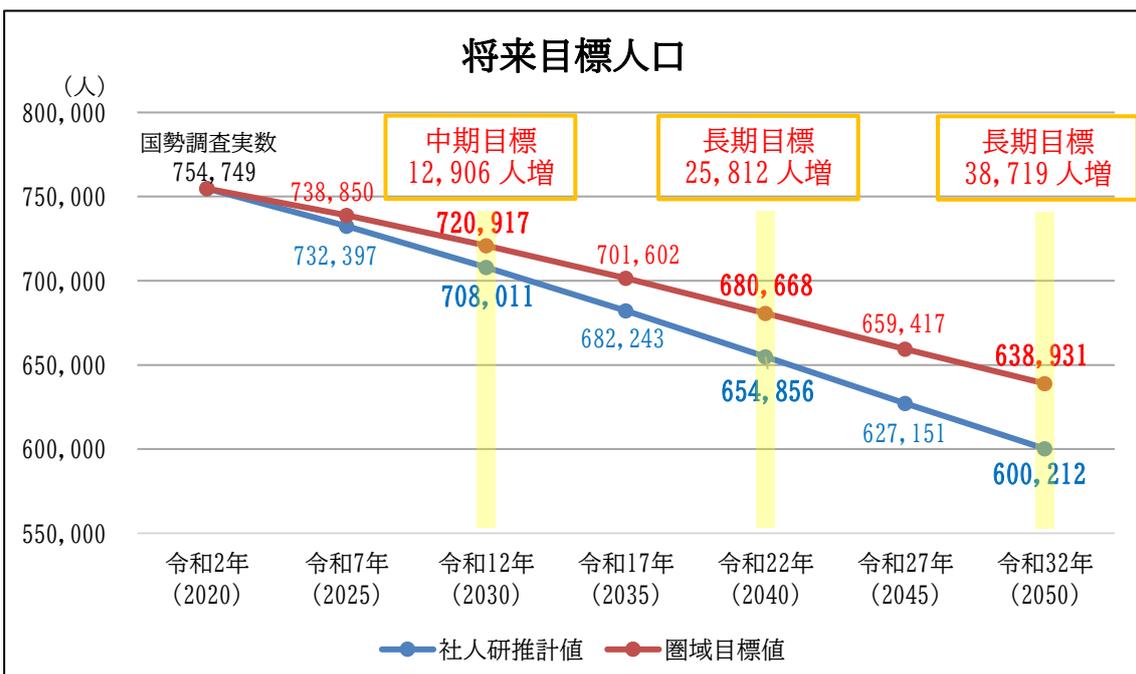
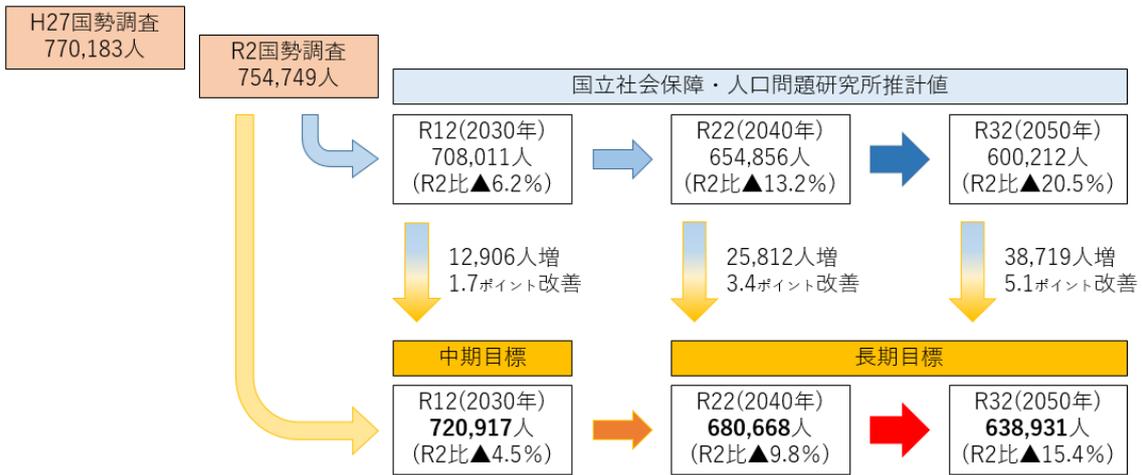
人口減少・人口流出に歯止めをかけ、生活の利便性低下や地域経済が縮小することのないよう、第4章に記載する具体的な取組を進めることで、高梁川流域圏を活力ある経済・生活圏として形成していくことを目指す。

3) 高梁川流域圏の人口目標

国立社会保障・人口問題研究所の令和2年(2020年)の国勢調査の結果を基にした人口推計では、日本の将来人口が2056年に1億人を下回り、2100年には6,300万人に半減するとされている。2024年1月の人口戦略会議※では、このまま急激な人口減少が続けば、地方における経済・社会の維持が困難になるため、2100年に8,000万人の人口規模を維持し、成長力のある社会を構築すべきと提言している(人口ビジョン2100)。

連携中枢都市圏での取組による将来目標人口として、2100年8,000万人を高梁川流域圏人口に置き換え、令和7年度から令和11年度までの5年間の取組における中期目標を令和12年(2030年)、及び長期目標を令和22年(2040年)、令和32年(2050年)に設定する。

※「人口戦略会議」は、本格的な人口減少時代の到来に際して、未来として選択し得る望ましい社会(未来選択社会)の実現のために、今後どのような政策に取り組むべきなのかを議論するため、2023年7月に発足した民間有志の会議。同会議は議論の結果を中間報告『人口ビジョン2100』としてまとめ、2024年1月9日に政府に対して提言。(引用：日本統計協会「統計」2024年5月号)



3. 第3期ビジョンにおける施策体系等

3. 第3期ビジョンにおける施策体系等

1) 第3期ビジョンの方向性

これまでの高梁川流域圏成長戦略ビジョンの実績・成果、また、圏域内外の社会情勢の変化等を踏まえ、次のとおりとする。

第3期【令和7年度～令和11年度】

テーマ：Well-beingの向上と持続可能な圏域形成の推進

○圏域におけるWell-beingの向上

圏域で生活する全ての人にとって、心身及び経済・環境・社会の三側面で満たされた状態、かつ、持続可能で包摂性のある圏域を目指すため、「圏域全体の経済成長」「高次の都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の各分野における事業を多面的に分析し実施する。

○強固かつ恒久的な7市3町の連携

昭和29年に始まる連携と圏域の一体感をより強固なものとするべく、圏域固有の社会情勢の変化を踏まえた取組を実施する。

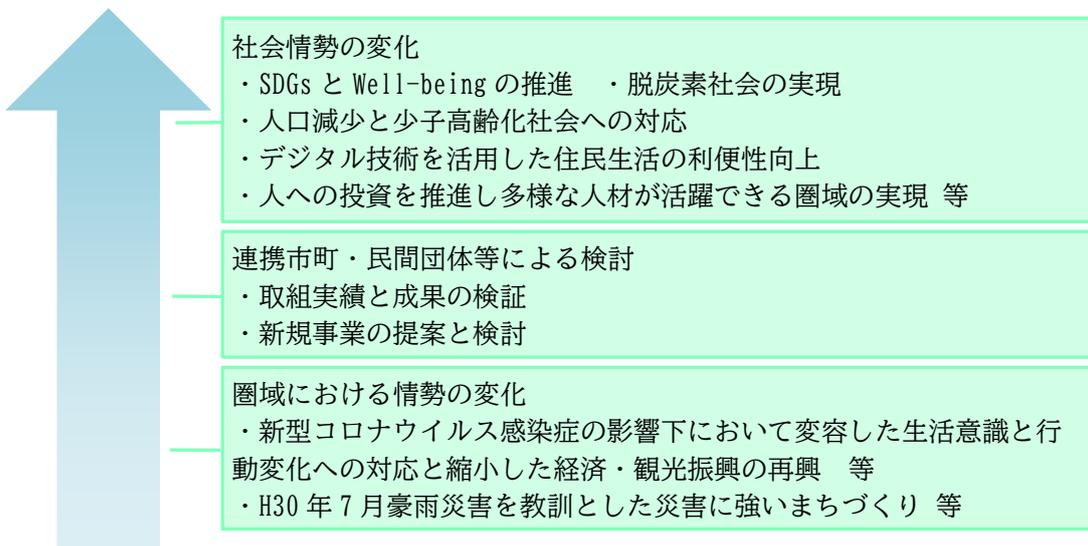
○デジタル技術を活用した住民生活の利便性向上

進展する少子高齢化社会においても、圏域における行政サービスや住民生活の利便性向上を図るため、デジタル実装を通じて圏域が抱える課題を解決する。

○多様な人材の育成と活躍の推進

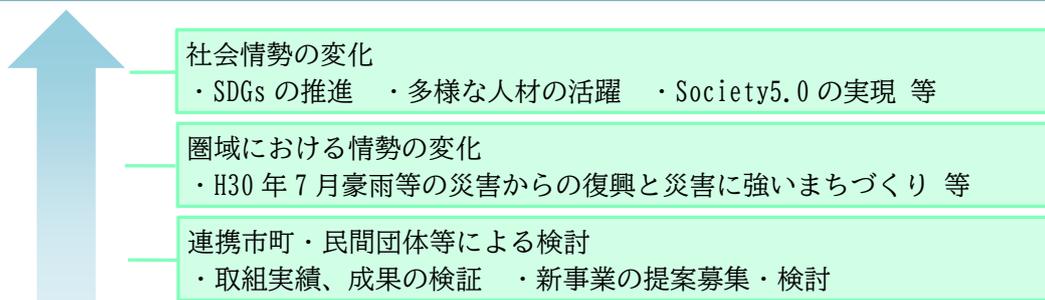
持続可能な圏域の実現には、人的資本への投資が重要であるため、雇用・労働分野の諸課題についてG7の閣僚間で議論され、令和5年4月に採択された「G7倉敷労働雇用大臣宣言」の考え方を圏域内で横展開し、各分野で人材の育成と活躍に向けた取組を実施する。

第3期【令和7年度～令和11年度】
テーマ：Well-beingの向上と持続可能な圏域形成の推進



第2期【令和2年度～令和6年度】
テーマ：連携の更なる推進と圏域の多様な人材の育成・活躍の推進

- 連携の更なる推進
 第1期の成果や圏域内外の社会情勢変化等を踏まえ、取組のスクラップ&ビルドを実施。
- 多様な人材の育成・活躍の推進
 圏域の未来に続く成長に向けて、各分野で圏域の人材育成・活躍に向けた取組を実施。
- SDGsの観点を明記
 各取組にSDGsの目標を記載し、持続可能で多様性と包摂性のある圏域の実現を目指す。



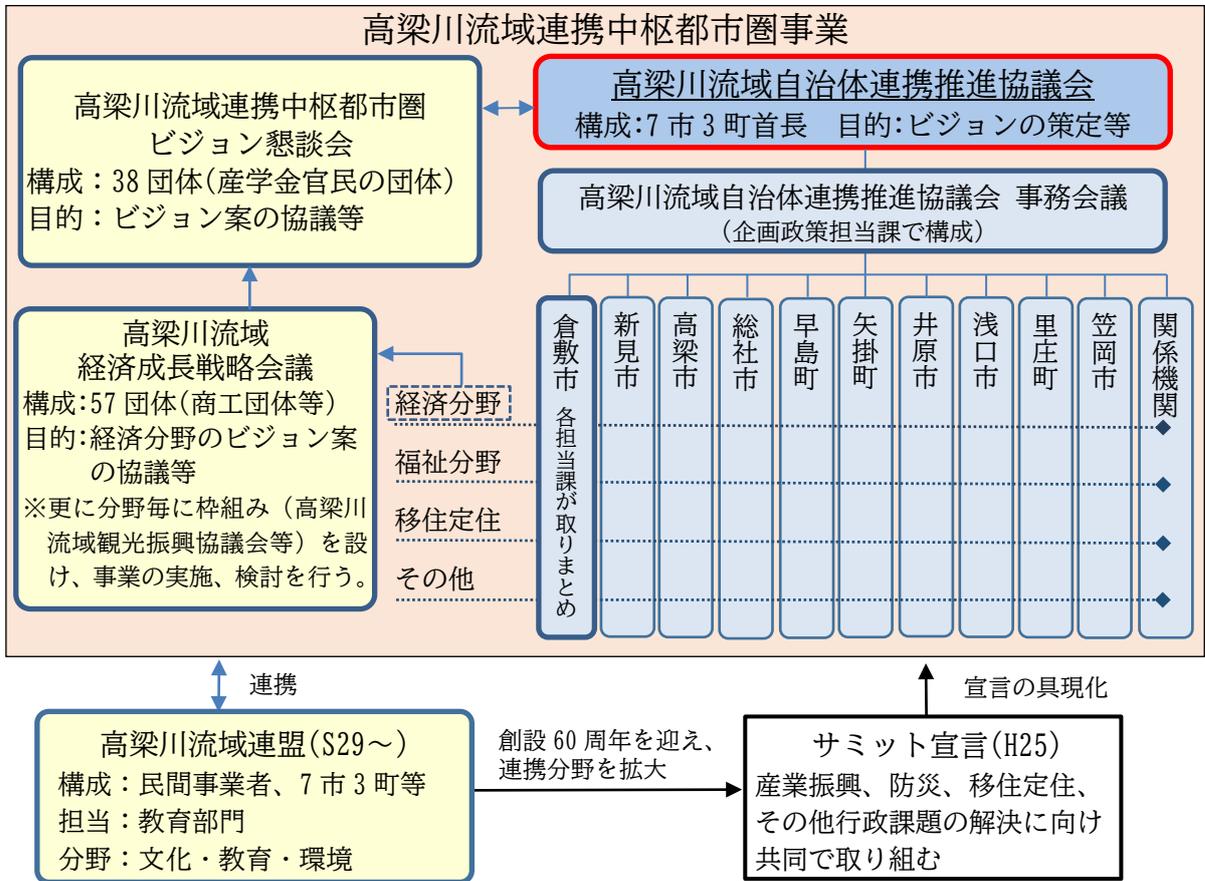
第1期【平成27年度～令和元年度】
テーマ：連携の枠組み構築と具体的取組の立ち上げ・推進

- 圏域の動態調査・分析の実施
 産業構造や観光動態などを調査・分析し、ヒト・モノ・カネの動きの掌握に努める。
- 連携体制の構築
 高梁川流域経済成長戦略会議や各分野における会議体を設置し、連携体制の構築を図る。
- 具体的取組（連携事業）の検討・実施
 初年度は48事業を実施。毎年度事業の見直しを図り、令和元年度は67事業を実施。

3. 第3期ビジョンにおける施策体系等

2) 推進体制

引き続き、以下の推進体制で実施する。



3) 施策体系

圏域全体の経済成長 (P43~P55)	基本目標	工業 製造品出荷額等、商業 年間商品販売額、 就業人口、主要観光地観光客数、観光客の平均滞在時間			
<p style="text-align: center;">取組の方向性</p>	<p>ア 圏域の経済成長に向けた体制整備</p> <p>圏域の産学金官民が一体となった「高梁川流域経済成長戦略会議」等を運営し、経済成長に向けた調査・研究、施策の立案等を行う。</p>	<p style="text-align: center;">具体的取組・K P I</p>			
	<p>イ 起業促進等によるイノベーションの実現</p> <p>幅広い世代・分野による起業・事業承継の促進や地場産業の産地連携促進、オープンデータの整備等により、イノベーションの実現と新たなビジネスの創出を図る。</p>	<p>1 高梁川流域経済成長戦略推進事業</p> <table border="1" data-bbox="970 586 1417 703"> <tr> <td>K P I</td> <td>工業 製造品出荷額等、 商業 年間商品販売額、 就業人口</td> </tr> </table> <p>1 創業支援広域連携事業 2 事業者間連携・事業承継支援事業 3 繊維産業「産地連携」推進事業 4 高梁川流域ふるさと協力隊推進事業 5 「ドローン物流・空飛ぶクルマ」実現推進事業 6 データで紡ぐ高梁川流域連携事業</p> <table border="1" data-bbox="970 936 1417 1048"> <tr> <td>K P I</td> <td>創業件数、産地連携創業者支援 事業での創業・就業者数、 オープンデータセット数</td> </tr> </table>	K P I	工業 製造品出荷額等、 商業 年間商品販売額、 就業人口	K P I
K P I	工業 製造品出荷額等、 商業 年間商品販売額、 就業人口				
K P I	創業件数、産地連携創業者支援 事業での創業・就業者数、 オープンデータセット数				
<p>ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大</p> <p>圏域内の多様な地域資源の商品開発や販路開拓のほか、地域の歴史・文化の伝承、町家・古民家の保全・活用等に向けた取組を実施し、地域ブランド力の強化と地域経済の活性化を図る。</p>	<p>1 町家・古民家で紡ぐ地域の魅力創出事業 2 高梁川流域地域資源活用推進事業 3 高梁川流域アルチザン(職人)支援事業 4 ぼっけうめえ農林水産品事業 5 鳥獣害防止対策流域連携事業</p> <table border="1" data-bbox="970 1258 1417 1415"> <tr> <td>K P I</td> <td>販路拡大支援による商談数、 倉敷三斎市・備中玉島みなど 朝市出店数、ぶどう・ももの 関東圏市場での販売額</td> </tr> </table>	K P I	販路拡大支援による商談数、 倉敷三斎市・備中玉島みなど 朝市出店数、ぶどう・ももの 関東圏市場での販売額		
K P I	販路拡大支援による商談数、 倉敷三斎市・備中玉島みなど 朝市出店数、ぶどう・ももの 関東圏市場での販売額				
<p>エ 戦略的な広域観光の推進</p> <p>圏域の観光情報の発信をはじめ、新たな魅力拠点の創出や観光資源を活用した商品開発、周遊型旅行商品の造成促進等により、観光客の増加と滞在期間の延伸を図る。また、外国人観光客の受入環境整備や海外メディアの招請等によりインバウンド誘客を図る。</p>	<p>1 高梁川流域観光誘客事業 2 高梁川流域地域間観光連携事業 3 高梁川流域誘客環境整備事業</p> <table border="1" data-bbox="970 1572 1417 1684"> <tr> <td>K P I</td> <td>主要観光地観光客数、観光客の 平均滞在時間・周遊箇所数、 周遊型商品での送客数</td> </tr> </table>	K P I	主要観光地観光客数、観光客の 平均滞在時間・周遊箇所数、 周遊型商品での送客数		
K P I	主要観光地観光客数、観光客の 平均滞在時間・周遊箇所数、 周遊型商品での送客数				
<p>オ 圏域での就職の促進・労働力の確保</p> <p>圏域内外の新卒者・就職希望者の域内就職促進や職場定着支援を実施するほか、高校生等の若い世代へのキャリア教育支援や多様な働き方の啓発等により、圏域での就職促進と労働力の確保を図る。</p>	<p>1 高梁川流域就職面接会等開催事業 2 未来人材育成事業 3 男女共同参画推進事業</p> <table border="1" data-bbox="970 1854 1417 1966"> <tr> <td>K P I</td> <td>就職面接会等の参加求職者数、 未来人材育成事業に参加した 学生満足度</td> </tr> </table>	K P I	就職面接会等の参加求職者数、 未来人材育成事業に参加した 学生満足度		
K P I	就職面接会等の参加求職者数、 未来人材育成事業に参加した 学生満足度				

3. 第3期ビジョンにおける施策体系等

高次の都市機能の集積・強化 (P56～P58)	基本目標	J R 倉敷駅利用者数		
取組の方向性	具体的取組・K P I			
<p>ア 圏域における救急医療体制の向上 圏域全体を意識した救急医療体制の整備により圏域住民への医療サービスの向上を図る。</p>	<p>1 救急医療体制等整備事業</p> <table border="1" data-bbox="970 495 1417 568"> <tr> <td>K P I</td> <td>救急救命士数</td> </tr> </table>		K P I	救急救命士数
K P I	救急救命士数			
<p>イ 高度な中心拠点の整備と公共交通網の構築 圏域内外へのアクセス向上や都市防災の観点を持って、高度な中心拠点の整備及び公共交通網の形成に向けた取組を行う。</p>	<p>1 倉敷駅付近連続立体交差関連事業 2 都市計画基本調査事業 3 地域拠点間等を結ぶ移動支援事業</p> <table border="1" data-bbox="970 680 1417 754"> <tr> <td>K P I</td> <td>J R 倉敷駅利用者数</td> </tr> </table>		K P I	J R 倉敷駅利用者数
K P I	J R 倉敷駅利用者数			
<p>ウ 圏域の将来を担う人材育成 圏域内の企業等のニーズに応じた人材育成を実施し、圏域課題解決に取り組む人材を育成する。</p>	<p>1 高梁川流域課題解決人材創出事業</p> <table border="1" data-bbox="970 815 1417 911"> <tr> <td>K P I</td> <td>課題解決人材創出事業で育成した人数</td> </tr> </table>		K P I	課題解決人材創出事業で育成した人数
K P I	課題解決人材創出事業で育成した人数			
<p>エ その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策</p>	<p>※取組が具体化したものについて掲載する</p>			

圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (P59～P86)	基本目標	出生者数、社会動態(対全国)、社会動態(対三大都市圏)、井原鉄道利用者数		
取組の方向性	具体的取組・K P I			
<p>ア 生活機能の強化に係る政策分野</p> <p>a 医療・介護における広域連携推進 医療・介護の広域連携を推進し、地域医療や介護サービスの充実を図る。</p>	<p>1 医療介護広域連携推進事業 2 地域医療普及啓発事業 3 介護保険指導監査事務連携事業</p> <table border="1" data-bbox="970 1384 1417 1458"> <tr> <td>K P I</td> <td>医療と介護の連携ができていると感じている人の割合</td> </tr> </table>		K P I	医療と介護の連携ができていると感じている人の割合
K P I	医療と介護の連携ができていると感じている人の割合			
<p>b 圏域全体の福祉サービスの向上 子育て環境の充実や障がい者・社会生活が困難な方への自立支援等により、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指す。</p>	<p>1 障がい児保護者支援事業 2 障がい者フォーラム開催事業 3 子育ての資源・魅力・交流事業 4 保育士・保育所支援センター運営事業 5 健康づくり促進事業 6 高梁川流域学び直し支援事業 7 高梁川流域配偶者暴力相談支援事業 8 外国人相談窓口運営事業 9 流域内移動支援事業</p> <table border="1" data-bbox="970 1789 1417 1973"> <tr> <td>K P I</td> <td>障がい児保護者支援事業での講座参加者数、保育士離職対策研修会参加者数、まなびば ippo を利用して目標達成した人数</td> </tr> </table>		K P I	障がい児保護者支援事業での講座参加者数、保育士離職対策研修会参加者数、まなびば ippo を利用して目標達成した人数
K P I	障がい児保護者支援事業での講座参加者数、保育士離職対策研修会参加者数、まなびば ippo を利用して目標達成した人数			

取組の方向性	具体的取組・K P I		
<p>ア 生活機能の強化に係る政策分野</p> <p>c 教育・文化・スポーツの充実・振興 学校教育・社会教育環境の充実やスポーツ活動機会の拡大、文化財保護の取組等により、圏域住民の文化的で健康的な暮らしの向上を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 高梁川流域連盟事業 2 高梁川流域パスポート事業 3 公立図書館相互返却事業 4 学校教育連携促進事業 5 大学連携推進事業 6 出前自然史博物館事業 7 流域ミュージアム力活用連携事業 8 学校給食アレルギー対応啓発事業 9 高梁川流域健康スポーツ推進事業 10 備中町並みネットワーク事業 <table border="1" data-bbox="983 689 1430 801"> <tr> <td>K P I</td> <td>図書館相互利用での利用者数、大学連携講座受講者満足度、健康づくり及び大学講座等参加者数</td> </tr> </table>	K P I	図書館相互利用での利用者数、大学連携講座受講者満足度、健康づくり及び大学講座等参加者数
K P I	図書館相互利用での利用者数、大学連携講座受講者満足度、健康づくり及び大学講座等参加者数		
<p>d 効率的・効果的な土地利用 空き家等の利活用など、適切な不動産管理を推進し、都市空間の再形成と地域活性化を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地理情報システムデータ更新連携事業 2 相続人不存在等不動産の利活用推進事業 3 高梁川流域空き家対策事業 4 用地事務連携事業 <table border="1" data-bbox="983 958 1430 1043"> <tr> <td>K P I</td> <td>空家相談会への参加組数</td> </tr> </table>	K P I	空家相談会への参加組数
K P I	空家相談会への参加組数		
<p>e 官民連携等による地域振興 住民や地元企業、団体等の連携を推進し、地域課題の解決と地域活性化を図る。また、圏域が有する日本遺産を活用した地域振興を推進する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 高梁川流域地域づくり連携推進事業 2 高梁川流域協働のまちづくり推進事業 3 井原線沿線活性化事業 4 日本遺産を活用した地域振興事業 5 S D G s 普及・連携推進事業 <table border="1" data-bbox="983 1227 1430 1312"> <tr> <td>K P I</td> <td>協働事業を実施した団体数</td> </tr> </table>	K P I	協働事業を実施した団体数
K P I	協働事業を実施した団体数		
<p>f 自然災害等に強いまちづくりと環境保全の推進 自然災害等から住民の生命と財産を守るため、連携体制の構築等により地域防災力の強化を図る。また、持続可能な社会の実現のため、環境保全の研究調査や環境保護の啓発活動を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災力強化事業 2 備中地区消防相互支援事業 3 生物多様性エコツアーの相互実施と生き物調査事業 4 倉敷市環境学習センターでの環境学習事業 5 高梁川流域瀬戸内海ブルー・オーシャン事業 6 高梁川流域カーボンニュートラル研究事業 7 プラスチック資源循環促進事業 <table border="1" data-bbox="983 1568 1430 1653"> <tr> <td>K P I</td> <td>防災講演会の参加者数、環境学習センター利用校数</td> </tr> </table>	K P I	防災講演会の参加者数、環境学習センター利用校数
K P I	防災講演会の参加者数、環境学習センター利用校数		
<p>イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野</p> <p>a 広域的な交通アクセスの向上 安定的な地域公共交通の維持と利用促進を図る。また、圏域全体において必要かつ重要な幹線道路について、関係機関と連携し整備促進を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 幹線道路の整備促進事業 2 広域バス路線等維持確保連携事業 <table border="1" data-bbox="983 1803 1430 1865"> <tr> <td>K P I</td> <td>井笠バス利用者数</td> </tr> </table>	K P I	井笠バス利用者数
K P I	井笠バス利用者数		
<p>b デジタルインフラ整備 デジタル技術を活用した取組を推進することにより、圏域住民の利便性向上と圏域自治体の業務効率化を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 高梁川流域自治体DX推進事業 <table border="1" data-bbox="983 1951 1430 2036"> <tr> <td>K P I</td> <td>デジタル人材育成にかかる研修受講者数</td> </tr> </table>	K P I	デジタル人材育成にかかる研修受講者数
K P I	デジタル人材育成にかかる研修受講者数		

3. 第3期ビジョンにおける施策体系等

取組の方向性	具体的取組・KPI		
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野			
c 地域の生産者や消費者等の連携による地産池消	※取組が具体化したものについて掲載する		
d 圏域への移住定住推進 地域特性を活かした移住定住事業や大都市圏での移住相談等を実施し、三大都市圏等からの移住・関係人口の増加と圏域内での定住・定着を図る。	1 移住交流推進事業 2 高梁川流域婚活支援事業 <table border="1" data-bbox="970 544 1417 629"> <tr> <td>KPI</td> <td>お試し住宅利用による移住者数、婚活支援事業参加人数</td> </tr> </table>	KPI	お試し住宅利用による移住者数、婚活支援事業参加人数
KPI	お試し住宅利用による移住者数、婚活支援事業参加人数		
e 広報活動やシステム構築等での連携推進 各市町の施策・イベント等を相互に広報し、圏域の結びつきや情報発信の強化を図る。	1 広報紙面交流事業 <table border="1" data-bbox="970 741 1417 826"> <tr> <td>KPI</td> <td>広報紙面交流で掲載した記事数</td> </tr> </table>	KPI	広報紙面交流で掲載した記事数
KPI	広報紙面交流で掲載した記事数		
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野			
a 職員研修等によるマネジメント能力の向上 職員研修や職員採用等において連携することにより、圏域自治体のマネジメント能力の向上を図る。	1 職員合同研修実施事業 2 職員採用活動連携事業 3 圏域内職員の人事交流事業 <table border="1" data-bbox="970 994 1417 1079"> <tr> <td>KPI</td> <td>職員合同研修参加者数</td> </tr> </table>	KPI	職員合同研修参加者数
KPI	職員合同研修参加者数		

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

1) 圏域全体の経済成長

● 基本目標

指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
工業 製造品出荷額等※1	4,442,423 百万円 (R2)	—	基準値より増加
商業 年間商品販売額※1	1,566,387 百万円 (R2)	—	基準値より増加
就業人口※2	340,916 人 (R2)	—	基準値を維持
主要観光地観光客数※3	7,689 千人 (R5)	—	9,517 千人
観光客の平均滞在時間	4.23 時間 (R4.7-R5.6)	—	4.35 時間

※現状値はビジョン改定時に更新。

※1 経済センサス-活動調査。「工業 製造品出荷額等」及び「商業 年間商品販売額」の（ ）内は実績年。

※2 国勢調査

※3 岡山県観光動態調査

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

● 具体的取組・KPI

ア 圏域の経済成長に向けた体制整備

連携協約の内容			
圏域の経済成長に向け、産学金官民が一体となった「高梁川流域経済成長戦略会議」を設立し、成長戦略の協議等を行う。			
重要業績評価指標（KPI）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
工業 製造品出荷額等 ※基本目標再掲	4,442,423 百万円 (R2)	—	基準値より増加
商業 年間商品販売額 ※基本目標再掲	1,566,387 百万円 (R2)	—	基準値より増加
就業人口 ※基本目標再掲	340,916 人 (R2)	—	基準値を維持

事業名	高梁川流域経済成長戦略推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	産学金官民で構成する「高梁川流域経済成長戦略会議」を運営し、圏域の経済成長に向けた戦略、事業について協議する。				全市町	 
成果	産学金官民による協議や経済成長戦略に基づき、圏域における経済施策を立案し、今後の圏域全体の経済成長につなげる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7 17,844	R8 17,844	R9 17,844	R10 17,844	R11 17,844	計 89,220
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

イ 起業促進等によるイノベーションの実現

連携協約の内容			
圏域の特性を活かした様々な分野での起業促進やイノベーションの実現のほか、異分野異業種交流に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（KPI）		※現状値は、毎年改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
創業件数（産業競争力強化法に基づく創業支援事業による支援を受けて創業した件数） 【R7～R11の5か年累計】	343件 (R2-R5における平均創業件数)	—	1,785件
デニム・ジーンズ産地連携創業者支援事業を通じて創業もしくは就業した人数 【R7～R11の5か年累計】	2人 (R4年度)	—	10人
オープンデータ新規データセット数 【R7～R11の5か年累計】 ※データセット：オープンデータの種別/カテゴリ、CCBYライセンスによるオープンデータ化のセット数	3件 (R5年度)	—	20件

事業名	創業支援広域連携事業			関係市町名	SDGs	
事業概要	くらしき創業サポートセンター事業で行うセミナー、講演会等の対象及び、倉敷市くらしきベンチャーオフィスの支援対象を圏域の創業予定者、創業者に広げて実施する。			全市町	 	
成果	圏域内での創業を促進するとともに、創業後の事業継続や拡大を図る。					
関係市町の役割分担				倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。		
事業費（千円）	R7	R8	R9	R10	R11	計
	11,314	8,841	8,841	8,841	8,841	46,678
国県補助事業等の名称・補助率等				該当なし		
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方				原則として、倉敷市が負担する。		

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	事業者間連携・事業承継支援事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の産業が持つ特性や強みを活かした企業連携やオープンイノベーションを促進する。また、圏域内の次世代経営者、事業承継、第二創業に取り組む事業者及び後継者を支援する。				全市町	 
成果	圏域内の事業者間連携によるイノベーション、地域経済循環効果が期待できる。事業承継、第二創業の促進により、経済活動の担い手を確保する。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって運営し、異業種の事業者間連携の取組については、連携市町は商工団体や金融機関とともに、企業発掘、情報提供、連携相談、マッチングの窓口機能を担う。その他の取組については、必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	7,100	10,300	10,300	10,300	10,300	48,300
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	繊維産業「産地連携」推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の特徴的産業である繊維産業の国内外での認知度向上に向け、プロモーションイベントや商談会等を実施する。また、ジーンズ・デニム製造技術を習得する研修を実施するほか、小学生を対象にした出前講座や服飾を学ぶ学生を対象としたオープンファクトリー事業など、繊維産業の将来を担う人材の育成と確保の取組を行う。 【圏域間連携：備後圏域】				新見市、高梁市 総社市、倉敷市 井原市、浅口市 笠岡市	  
成果	産地連携を促進し、将来を担う人材育成を行うことで、繊維産業の活性化が期待できる。また、連携による事業の実施により、効果的な情報発信等が可能となる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	17,893	17,893	17,893	17,893	17,893	89,465
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	高梁川流域ふるさと協力隊推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	「地域おこし協力隊」を受け入れ、民間活力を活用し、圏域の地域資源を活かした事業を実施する。				新見市、高梁市 早島町、倉敷市 矢掛町、井原市 浅口市、里庄町 笠岡市	 
成果	圏域外からの意欲ある人材の定着と、地域資源の発掘・発信、地域経済の活性化を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて関係市町の協力を得る。						
事業費 (千円)	R7 6,500	R8 6,200	R9 5,200	R10 5,200	R11 5,200	計 28,300
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	「ドローン物流・空飛ぶクルマ」実現推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	ドローンや空飛ぶクルマ等の新技術により、新産業創出と社会的課題の解決を目指す関係機関と流域自治体が連携し、ドローンを活用した離島への物流や目視外飛行の人材育成等に向けた取組を実施する。				新見市、高梁市 早島町、倉敷市 矢掛町、井原市 浅口市、笠岡市	  
成果	ドローン等の新技術の活用により、圏域内の離島等での利便性向上を図り、持続可能な地域をつくる。また、新産業創出や産業クラスターの形成、先進技術の習得人材の育成により、地場産業の競争力強化に繋げる。					
関係市町の役割分担						
地域おこし協力隊に係る事務については倉敷市が中心となって実施し、その他については必要に応じて関係市町の協力を得る。						
事業費 (千円)	R7 6,499	R8 5,200	R9 5,200	R10 5,200	R11 5,200	計 27,299
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	データで紡ぐ高梁川流域連携事業				関係市町名	SDGs
事業概要	<p>圏域の自治体・民間企業等が保有している行政・経済・地理等の各分野の公共的データを一元的に集約し、社会全体にとって利用価値の高いデータ公開に取り組む。</p> <p>【圏域間連携：岡山連携中枢都市圏】</p>				全市町	 
成果	データ活用による、地域課題の解決および行政の高度化・効率化を図る。					
関係市町の役割分担						
各自治体ごとのデータ整備についてはそれぞれの自治体が判断し、倉敷市が取りまとめを行う。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	7,715	7,715	7,715	7,715	7,715	38,575
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

連携協約の内容			
圏域内の地場製品の生産拡大につながる販路開拓や地域の原材料を活用した新商品開発への支援のほか、町家・古民家の保存・再生・活用等、圏域経済活性化に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（KPI）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
高梁川流域圏域内の地域資源 PR、販売促進、販路拡大支援における商談数	33 件 (R5 年度)	—	基準値より増加
高梁川流域倉敷三斎市・備中玉島みなと朝市の出店数	1,183 店 (R5 年度)	—	基準値より増加
圏域産ぶどうの関東圏市場での販売額	533 百万円 (R5 年度)	—	基準値より増加
圏域産ももの関東圏市場での販売額	47 百万円 (R5 年度)	—	基準値より増加

事業名	町家・古民家で紡ぐ地域の魅力創出事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域に数多く残る地域の歴史・文化を伝承する町家・古民家について、地域の次代を担う方々にその魅力や建築技法、防災等の情報を共有するワークショップやシンポジウム、情報発信等に取り組むことで、圏域の町家・古民家の保全・伝承・活用を促す。				新見市、高梁市 早島町、倉敷市 矢掛町、井原市 浅口市、笠岡市	  
成果	圏内の町家・古民家の保全・伝承・活用を進め、地域の個性から生まれる魅力を磨くことで、シビックプライドの醸成や、移住・定住、観光誘客等に繋げる。					
関係市町の役割分担	圏内の町家・古民家の保全・伝承・活用に係る情報を共有し合い、圏内の関係者が連携して事業を実施する。					
事業費 (千円)	R7 6,482	R8 6,482	R9 6,482	R10 6,482	R11 6,482	計 32,410
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	倉敷市が主催・共催するものは倉敷市が負担する。その他については、原則として、主催する市町が負担する。					

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	高梁川流域地域資源活用推進事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の地域資源について、販路開拓・販路拡大等の支援など、圏域内の地域資源を磨き、発信し、拡大する事業の実施を通じて、圏域の地域資源の活用を推進し、「高梁川流域市町」の県内外での知名度の向上と、圏域経済の循環・活性化を図る。					全市町	
成果	圏域地域資源の活用を促進し、地域経済の循環・活性化を図る。						
関係市町の役割分担							
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	28,223	28,223	28,223	28,223	28,223	141,115	
国県補助事業等の名称・補助率等							
該当なし							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として、実施主体となる市町が負担するが、必要に応じて関係市町と協議し決定する。							

事業名	高梁川流域アルチザン（職人）支援事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域内の民芸・クラフト等のアルチザン（職人）が連携・共同、又は合同で、倉敷市内の公共施設やギャラリー等において、自身の作品を展示・販売する際の経費の一部を支援し、マーケティングや販路開拓を後押しする。					全市町	
成果	圏域内の民芸等を扱う職人の事業の安定・拡大を図るとともに、圏域内の民芸・クラフト等のコンテンツの強化を図る。						
関係市町の役割分担							
倉敷市が補助金交付に係る業務を実施し、関係市町は事業者への周知等を行う。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
国県補助事業等の名称・補助率等							
該当なし							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として、倉敷市が負担する。							

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	ぼっけーうめえ農林水産品事業				関係市町名	SDGs
事業概要	<p>高梁川の恵みにより、四季を通じて、豊かで高品質な農林水産物が出荷できる強みを最大限に活用し、各市町のトレンドに沿った農産品のブランド化を図ることで、圏域の農林水産業の更なる振興を目指す。</p> <p>【圏域間連携：岡山連携中枢都市圏】</p>				全市町	 
成果	PR・販促活動の実施による流域圏農産品等の認知度の向上と生産者所得の向上を図る。また、6次化、農商工連携に向けた取組の活性化を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	3,344	3,344	3,344	3,344	3,344	16,720
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						

事業名	鳥獣害防止対策流域連携事業				関係市町名	SDGs
事業概要	<p>有害鳥獣から農作物を守るため、圏域で連携し、農作物等鳥獣害防止に向けた取組を検討、実施する。</p> <p>【圏域間連携：岡山連携中枢都市圏】</p>				全市町	 
成果	圏域全体の傾向を把握でき、狩猟者の減少による捕獲圧の低下を食い止める。また、問題の解消に努めることで鳥獣被害の軽減につながる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	136	136	136	136	136	680
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

エ 戦略的な広域観光の推進

連携協約の内容			
観光資源の魅力向上や広域観光周遊ルートの形成、情報発信力の強化のほか、外国人観光客の受入体制の整備等、圏域全体への誘客拡大に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（K P I）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
主要観光地観光客数 ※基本目標再掲	7,689 千人 (R5)	—	9,517 千人
観光客の平均滞在時間 ※基本目標再掲	4.23 時間 (R4.7-R5.6)	—	4.35 時間
観光客の平均周遊箇所数	1.10 箇所 (R4.7-R5.6)	—	1.13 箇所
高梁川流域周遊型旅行商品造成支援事業等 による送客数 【R7～R11の5か年累計】	2,309 人 (R2-R5 年度)	—	3,000 人

事業名	高梁川流域観光誘客事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域各自治体や観光協会等で構成する「高梁川流域観光振興協議会」の運営等を通じて、圏域の観光情報発信や、圏域の地域資源を活用した商品開発、インバウンドの推進などを行い、圏域全体の観光振興を図る。				全市町	
成果	インバウンド市場を含めた情報発信を行うことで圏域への観光客数・滞在時間の増加を図る。					
関係市町の役割分担	倉敷市を中心とした実行委員会で協議して実施するほか、一部の事業は倉敷市が中心となり、必要に応じて各市町と協議により実施する。					
事業費 (千円)	R7 8,578	R8 8,578	R9 8,578	R10 8,578	R11 8,578	計 42,890
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	「高梁川流域観光振興協議会」については、岡山県観光連盟の負担割合に応じて各市町が負担する。					

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	高梁川流域地域間観光連携事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の観光地、自然、食、ゆかりの人物などに焦点を当て、テーマ別に観光振興施策を実施、圏域外に発信することで、観光誘客を促進する。				全市町	 
成果	各市町に共通する観光素材を圏域として連携し、規模を活かして事業展開・情報発信することで、観光客の増大と、圏域内の周遊促進を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市を中心とした実行委員会で協議して実施するほか、一部の事業は倉敷市が中心となり、必要に応じて各市町と協議により実施する。天文王国おかやま事業については、井原市を中心とした協議会により実施する。						
事業費 (千円)	R7 7,800	R8 7,800	R9 7,800	R10 7,800	R11 7,800	計 39,000
国県補助事業等の名称・補助率等						
おかやまハレいろキャンペーン受入対策事業助成金						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
天文王国おかやま事業は、協議会に参加する市町が負担金を拠出する。それ以外の事業は、原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	高梁川流域誘客環境整備事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域へ観光誘客するための基盤整備を行うことで、観光客の利便性と観光満足度の向上を図る。				新見市、総社市 早島町、倉敷市 矢掛町、井原市 浅口市、里庄町 笠岡市	
成果	圏域として連携し、観光地のWi-Fi通信環境整備を行うことで、観光客の利便性の向上と、訪れた観光客の満足度の向上を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市は基幹部分に係る業務を実施し、関係市町は各市町に係る業務を実施する。						
事業費 (千円)	R7 10,103	R8 10,103	R9 10,103	R10 10,103	R11 10,103	計 50,515
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
Wi-Fi事業は、共通基盤である認証サーバは倉敷市が整備、各市町の整備費等は各市町が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

オ 圏域での就職の促進・労働力の確保

連携協約の内容			
圏域内での就業機会の拡大等、圏域全体の経済成長を目的とした取組を行う。			
重要業績評価指標 (K P I)	※現状値は、毎年の改訂時に更新します		
指標 (圏域の数値)	基準値	現状値	目標値 (R11)
就職面接会等の参加求職者数 【R7~R11の5か年累計】	180人 (R5年度)	—	1,000人
未来人材育成事業に参加した学生の満足度 (%)	—	—	100%

事業名	高梁川流域就職面接会等開催事業			関係市町名	SDGs	
事業概要	<p>域内企業と就職希望者の円滑なマッチングに向けた合同企業説明会や、企業の採用担当者や学校の就職支援担当者による情報交換会を開催し、学生の域内就職を促進する。また、従業員のワークエンゲージメント向上に資するセミナーを開催し職場定着を図る。</p>			全市町		
成果	<p>広域での求人と求職のマッチングが可能となり、域内労働力の確保と域内就業率の向上に寄与する。また、セミナーの開催により既存労働者の職場定着を図る。</p>					
関係市町の役割分担				倉敷市が中心となって実施し、関係市町はPR活動等の側面支援を担う。		
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	11,075	11,075	11,075	11,075	11,075	55,375
国県補助事業等の名称・補助率等				該当なし		
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方				原則として、倉敷市が負担する。		

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	未来人材育成事業				関係市町名	SDGs	
事業概要	<p>中学校・高校に、職業観の育成やマナー等を教えるため、専門家である社会保険労務士等を、企業紹介や作業体験によ企業への理解を深めるため、地域企業を派遣する。また、高校・大学が高梁川流域圏内の企業、商工会議所等と連携して行う地元就職を見据えた地域課題解決活動等に対して支援する。</p>				全市町		
成果	<p>中学校から大学まで一貫通して働くことへの理解を深めることで、職業観の育成と地元企業への理解深化を図ることで、地元就職に繋げる。</p>						
関係市町の役割分担							
倉敷市が中心となって実施し、関係市町はPR活動等の側面支援を担う。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	11,251	11,251	11,251	11,251	11,251	56,255	
国県補助事業等の名称・補助率等							
該当なし							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として、倉敷市が負担する。							

事業名	男女共同参画推進事業				関係市町名	SDGs	
事業概要	<p>すべての人がその能力を十分に発揮できるよう、キャリア選択をはじめ多様な働き方の選択につながる啓発等を行う。</p>				全市町		
成果	<p>誰もが自らの意思で職業を選択し、また、個性と能力を発揮することで、生きがいを持って働くことができる環境づくりに繋げる。</p>						
関係市町の役割分担							
倉敷市が中心となって実施し、関係市町は住民等への周知等を行う。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	2,884	2,884	2,884	2,884	2,884	14,420	
国県補助事業等の名称・補助率等							
地域女性活躍推進交付金（国 1/2）							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として、倉敷市が負担する。その他、必要に応じて関係市町と協議し決定する。							

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

2) 高次の都市機能の集積・強化

● 基本目標

指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
J R倉敷駅利用者数 （人/日）	17,625 人/日 （R5 年度）	—	基準値より増加

※現状値はビジョン改定時に更新。

● 具体的取組・K P I

ア 圏域における救急医療体制の向上

連携協約の内容			
救急医療体制の整備等、高度な医療サービス提供に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（K P I）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
救急救命士数	271 人 （R5 年度）	—	321 人

事業名	救急医療体制等整備事業				関係市町名	SDGs
事業概要	病院前救護体制等の整備について、圏域医療機関と共同で検討するとともに、圏域救急隊の連携強化や消防職員の知識向上のため、講習会等を実施する。				全市町	 
成果	医療機関を交えた検討会を実施することで、救護体制等を整備するとともに、大規模災害等での圏域消防本部の連携強化や消防救急隊の資質向上が期待できる。					
関係市町の役割分担						
協議により決定する。						
事業費 （千円）	R7 109	R8 109	R9 109	R10 109	R11 109	計 545
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
関係市町と協議し決定する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

イ 高度な中心拠点の整備と公共交通網の構築

連携協約の内容			
圏域内外から通勤・通学・通院・観光等で訪れる人々の利便性の向上のため、高度な中心拠点の整備及び公共交通網の構築に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（K P I）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
J R 倉敷駅利用者数（人/日） ※基本目標再掲	17,625 人/日 （R5 年度）	—	基準値より増加

事業名	倉敷駅付近連続立体交差関連事業			関係市町名	SDG s	
事業概要	交通拠点や商業・業務核の形成、都市防災の観点などから、高次の都市機能の集積強化を担う、連続立体交差事業に関連した調査検討などを行う。			倉敷市	  	
成果	圏域における拠点性のほか、観光・通勤・通院等の利便性、都市防災機能の向上に寄与する。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が実施する。						
事業費（千円）	R7	R8	R9	R10	R11	計
	18,355	25,500	28,500	58,500	132,500	263,355
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
倉敷市が負担する。						

事業名	都市計画基本調査事業			関係市町名	SDG s	
事業概要	人口減少・少子高齢化などの課題や災害リスク等を踏まえた持続可能な都市経営を可能とするコンパクトシティ実現に向け、都市機能（医療・福祉施設、商業施設等）の誘導区域などを定めた立地適正化計画を推進する。			倉敷市		
成果	圏域における拠点性のほか、観光・通勤・病院等の利便性、都市防災機能の向上に寄与する。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が実施する。						
事業費（千円）	R7	R8	R9	R10	R11	計
	9,394	42,734	10,659	10,734	7,049	80,570
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
倉敷市が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	地域拠点間等を結ぶ移動支援事業					関係市町名	SDGs
事業概要	早島町内からの公共交通機関でのアクセスが十分でないJR倉敷駅・中庄駅及び当該地域周辺の病院等日常生活に必要不可欠な施設間において、タクシーを対象とした移動支援事業を実施する。					早島町、倉敷市	
成果	地域拠点間等を結ぶことにより公共交通ネットワークの充実を図る。						
関係市町の役割分担							
早島町が中心となって実施する。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	22,710	22,710	22,710	22,710	22,710	113,550	
国県補助事業等の名称・補助率等							
該当なし							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として早島町が負担する。							

ウ 圏域の将来を担う人材育成

連携協約の内容			
高等教育・研究開発の環境整備等、将来を担う人材育成に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標 (KPI)		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標 (圏域の数値)	基準値	現状値	目標値 (R11)
高梁川流域課題解決人材創出事業で育成した人数 【R7~R11の5か年累計】	16人 (R5年度)	-	100人

事業名	高梁川流域課題解決人材創出事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の将来を担う人材育成・確保を目的に、圏域の歴史や文化、課題解決の手法などを学習する単位制の人材育成プログラムを実施する。					全市町	 
成果	受講者が圏域での地域づくりや事業を担う人材として定着すること、また、これまでの卒業生や講師のネットワークに加わることで、持続可能な社会の形成に寄与する。						
関係市町の役割分担							
倉敷市が中心となって実施し、関係市町は周知等の側面支援を担う。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	3,688	3,688	3,688	3,688	3,688	18,440	
国県補助事業等の名称・補助率等							
該当なし							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。							

エ その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策

連携協約の内容	
交流人口状況の調査・分析等、高次の都市機能の集積を目的とした取組を行う。 ※取組が具体化したものについて掲載する。	

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

● 基本目標

指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
出生者数	4,785人 (R5) ※1	—	基準値を維持
社会動態 (対全国)	104人 (R2) ※2	—	基準値より増加
社会動態 (対三大都市圏)	▲5,251人 (R2) ※2	—	±0人
井原鉄道利用者数 (人/日)	2,659人/日 (R5年度)	—	基準値より増加

※現状値はビジョン改定時に更新

※1 総務省：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

※2 は平成27年調査時の常住地からの移動状況（不詳補完値による）

● 具体的取組・KPI

ア 生活機能の強化に係る政策分野

a 医療・介護における広域連携推進

連携協約の内容			
健康寿命の延伸につながる地域医療の充実に向けた取組を行うとともに、医療介護の広域連携を踏まえ、高齢者等への介護サービスの充実に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（KPI）	※現状値は、毎年の改訂時に更新します		
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
日常療養の支援において、医療と介護の連携ができていると感じている人の割合	82.8% (R5年度)	—	85.5%

事業名	医療介護広域連携推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	地域包括ケアシステム構築のため、圏域にて研修会・講演会等を実施する。				全市町	 
成果	自治体間の連携や、医療機関と介護事業者等との良好な関係の構築により、利用者のサービス向上を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって、関係市町とともに医師会等の関係機関と連携し、事業を実施する。						
事業費 (千円)	R7 45	R8 45	R9 45	R10 45	R11 45	計 225
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担するが、必要に応じて、関係市町と協議し決定する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	地域医療普及啓発事業				関係市町名	SDGs
事業概要	対話型講演会など圏域内の医療機関と連携した取組を通じて、医療の機能分化に対する知識を深め、適切な地域医療環境の構築を図る。				新見市、高梁市 総社市、早島町 倉敷市、井原市 浅口市、里庄町 笠岡市	
成果	必要ときに必要な医療が提供できるよう、医療の機能分化に対する知識を高めることで、限られた医療資源の効果的・効率的な活用を図ることができる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7 400	R8 400	R9 400	R10 400	R11 400	計 2,000
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	介護保険指導監査事務連携事業				関係市町名	SDGs
事業概要	介護保険制度における指導監査業務について、圏域での情報共有や課題解決に向けた取組等を実施する。				新見市、高梁市 早島町、倉敷市 矢掛町、井原市 浅口市、里庄町 笠岡市	 
成果	自治体間における連携を強化することにより、圏域における介護保険事務の平準化や共通課題の効率的な解決を図るとともに、自治体職員の専門性・資質の向上と圏域全体における適正な介護保険サービスの提供に繋げる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により実施する。						
事業費 (千円)	R7 0	R8 0	R9 0	R10 0	R11 0	計 0
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、実施主体となる市町が負担する。流域市町合同で開催する会議等については、倉敷市が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

b 圏域全体の福祉サービスの向上

連携協約の内容			
障がい者への自立支援や子育て支援の充実等、福祉向上に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（KPI）	※現状値は、毎年の改訂時に更新します		
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
障がい児保護者支援事業「相談支援ファイル」実施者養成講座の参加者数【R7～R11の5か年累計】	43人 (R5年度)	—	175人
圏域全体を対象とした保育士の離職防止対策研修会の参加者数【R7～R11の5か年累計】	2,327人 (R2-R5年度)	—	2,500人
まなびばi p p oを利用して各自の目標を達成（進学・就職・資格取得等）した人数【R7～R11の5か年累計】	10人 (R5年度)	—	80人

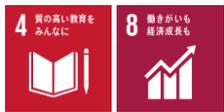
事業名	障がい児保護者支援事業		関係市町名	SDGs		
事業概要	子どもの発達に不安を感じている保護者や家族、その他支援者を対象に、出会いと学びの場を提供する。また、困難な子育てをする保護者を継続的に支援していくための『多様な支え手』を育成することにより、増加傾向にある障がい児の保護者の支援体制を強化する。		全市町	 		
成果	理解ある子育て環境の醸成・保護者の子育て不安が解消されることにより、充実した子育て生活を送ることができ、障がい児の健やかな成長につながる。					
関係市町の役割分担	倉敷市が中心となって実施し、関係市町は住民等への周知等や講座開催にあたっての協力（場所提供等）を行う。					
事業費（千円）	R7 3,600	R8 3,600	R9 3,600	R10 3,600	R11 3,600	計 18,000
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、倉敷市が負担する。					

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	障がい者フォーラム開催事業					関係市町名	SDGs
事業概要	障がいの有無に関係なく、お互いを尊重し合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりについて参加者一人ひとりが自分ができることを考えるきっかけとなる講演会等を実施する。					全市町	 
成果	著名な講師による講演会等の開催により大勢の参加が期待でき、一般住民等への障がい者に対する理解を促進する。						
関係市町の役割分担	倉敷市が中心となって実施し、関係市町は住民及び地域自立支援協議会と連携し関係者・団体・事業所等への周知等を行う。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	1,486	1,486	1,486	1,486	1,486	7,430	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	子育ての資源・魅力・交流事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域内の子育て中の家族が安心・安全に過ごせる公園や観光地、児童館等の子育て応援施設などの情報を集約し作成した「親子 de おでかけマップ」の電子ブックやWEBサイトを活用し、圏域内外の子育て中の家族に情報提供する。					全市町	
成果	圏域内の子育てに役立つ各種情報を周知することにより、子育て中の家族が圏域内へ安心して外出できるよう支援する。また、幼少の頃から、圏域内を行き来することで、圏域全体への郷土愛を醸成する。						
関係市町の役割分担	倉敷市が中心となって実施し、関係市町は当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	394	464	394	464	394	2,110	
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、倉敷市が負担する。ただし、今後、特定の一部市町から追加事業等の要望があれば、関係市町と協議し決定する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	保育士・保育所支援センター運営事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域内での保育士確保等を目的に保育士・保育所支援センターの設置・運営を行い、圏域の保育所等での就労希望者を対象とした研修や離職防止対策の交流事業等を実施する。				全市町	
成果	圏域内で保育士が不足していることを踏まえ、保育士の雇用情報の発信や体験実習会・離職防止研修会などを通じて、保育士の確保に努めることで、保育所等の安定した運営と保育サービスの向上を図る。					
関係市町の役割分担	センターを設置している倉敷市が中心となって事業実施し、関係市町は、所管の保育所や住民への周知等を行う。					
事業費 (千円)	R7 13,081	R8 13,081	R9 13,081	R10 13,081	R11 13,081	計 65,405
国県補助事業等の名称・補助率等	保育対策総合支援事業費補助金（国 1/2）					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、倉敷市が負担する。					

事業名	健康づくり促進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	健康づくり事業展開検討会議を開催し、圏域内の統括的な役割を担う保健師等が、健康課題を踏まえた健康づくり事業等の保健活動に関して情報交換を行う。				全市町	
成果	圏域市町の健康づくり事業等について情報交換を行うことで、自市町の保健活動展開の参考とし、より効果的・効率的に事業を実施することができる。					
関係市町の役割分担	倉敷市が中心となって実施し、検討会議では担当市町が司会・書記等の役割をもって参加する。					
事業費 (千円)	R7 14	R8 14	R9 14	R10 14	R11 14	計 70
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、倉敷市が負担する。					

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	高梁川流域学び直し支援事業					関係市町名	SDGs
事業概要	<p>若年無業者や高校不登校など、社会的自立が困難な若者に対し、社会や他者との関わり方について学ぶ場である「まなびば ippo」を運営し、学習支援や個別相談、居場所の提供などを行う。</p>					全市町	
成果							
<p>就職・進学など、将来につながる目標を持つことで、若者に生きがいや自信を与えることができる。また、高校不登校・中退者・中卒者に学習支援等を提供することで、高校復帰または高校編入学につなげる。</p>							
<p>関係市町の役割分担</p> <p>倉敷市が中心となって実施し、関係市町は住民への周知・相談会の会場確保等を行う。</p>							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	9,854	9,854	9,854	9,854	9,854	49,270	
<p>国県補助事業等の名称・補助率等</p> <p>該当なし</p>							
<p>関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方</p> <p>原則として、倉敷市が負担する。</p>							

事業名	高梁川流域配偶者暴力相談支援事業					関係市町名	SDGs
事業概要	<p>圏域内におけるDV被害者支援やDV防止についての啓発・広報を行うことを目的に、配偶者暴力相談支援センターを運営する。</p>					全市町	 
成果							
<p>DV被害者への対応については行政単位を超えた視点で取り組むことが必要であることから、関係市町が連携して啓発を行うことにより、これまで被害にあいながらも相談できなかったDV被害者への支援が可能となり、安心できる生活環境の整備につながる。</p>							
<p>関係市町の役割分担</p> <p>相談窓口、啓発の主担当は倉敷市、相談後生活支援などが必要な場合の対応、各住民への啓発は関係市町が行う。</p>							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	15,253	15,253	15,253	15,253	15,253	76,265	
<p>国県補助事業等の名称・補助率等</p> <p>該当なし</p>							
<p>関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方</p> <p>原則として、倉敷市が負担する。</p>							

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	外国人相談窓口運営事業				関係市町名	SDGs
事業概要	外国人住民の増加に伴い、多文化共生社会に向けた取組がより一層求められている。外国人住民が安心・安全に生活できるよう、外国人相談窓口を運営する。				全市町	 
成果	圏域内に相談窓口を設置することで、圏域の在住外国人の更なる生活の安定に効果が見込まれる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、関係市町は周知及び利用希望者の情報共有・対応調整等を行う。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	10,981	10,555	10,555	10,555	10,555	53,201
国県補助事業等の名称・補助率等						
外国人受入環境整備交付金（国：運営費 1/2）						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	流域内移動支援事業				関係市町名	SDGs
事業概要	公共交通機関でのアクセスが十分でない流域内の移動において、タクシーを対象とした移動支援事業に対して関係市町が情報共有やシステムのデジタル化等に共同で取り組むことで、費用対効果の向上を図る。				新見市、高梁市 早島町、倉敷市 矢掛町、里庄町 笠岡市	 
成果	一般利用者のみならず、障がい者・高齢者等の交通弱者に対し、通院等の日常生活に必要な移動手段を維持・確保することで、圏域全体の移動支援サービスの向上を図る。					
関係市町の役割分担						
笠岡市・矢掛町が中心となって実施する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	20,922	15,661	19,861	19,862	19,863	96,169
国県補助事業等の名称・補助率等						
新しい地方経済・生活環境創成交付金（国：1/2）						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
実施主体となる市町が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

c 教育・文化・スポーツの充実・振興

連携協約の内容			
学校教育・社会教育環境の整備、スポーツ活動機会の充実、文化財保護のほか、公共施設の相互利用に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（KPI）	※現状値は、毎年改訂時に更新します		
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
公立図書館広域相互利用による貸出利用者数	24,149人 (R5年度)	—	基準値より増加
大学連携講座受講者満足度（%）	—	—	100%
運動を通じた健康づくりウォーキング及び大学講座等の参加者数【R7～R11の5か年累計】	277人 (R5年度)	—	2,000人

事業名	高梁川流域連盟事業			関係市町名	SDGs		
事業概要	圏域に暮らす人々の連帯意識を育み、圏域全体の文化向上を目的として、文化・体育・環境の各分野の事業を実施する。			全市町	  		
成果						圏域として連携し、事業実施することで、圏域に暮らす人々の連帯意識を育み、圏域全体の文化向上を図る。	
関係市町の役割分担				倉敷市が中心となって、関係市町と連携し、事業を実施する。			
事業費（千円）	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	6,821	6,821	6,821	6,821	6,821	34,105	
国県補助事業等の名称・補助率等				該当なし			
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方				高梁川流域連盟に加入する7市3町で負担する。			

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	高梁川流域パスポート事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の小学生を対象として、圏域内の美術館や博物館など、社会教育施設等を紹介したパスポートを作成・配付するほか、入館料の免除やスタンプラリー等を実施する。				全市町	
成果	圏域の社会教育施設の利用促進により、小学生に学習機会を提供するとともに、各施設の利用促進、交流人口の増加を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市はパスポート作成に係る業務、啓発チラシ・スタンプラリー景品の作成を行い、関係市町で施設等の情報提供及びスタンプラリー等の利用促進事業を実施する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	1,154	1,154	1,154	1,154	1,154	5,770
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	公立図書館相互返却事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の公立図書館で、相互利用により借りた図書を、どの図書館でも返却できるよう貸出図書館への搬送システムを運用する。				全市町	
成果	圏域全ての公立図書館で図書の返却を可能とすることにより、住民の利便性向上と一層の利用促進につながる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市は委託契約などの業務を実施し、関係市町は、図書返却に係る実務全般を行う。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	1,661	1,661	1,661	1,661	1,661	8,305
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	学校教育連携促進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	各市町が実施する特色のある学校教育に関する取組の広域的な展開や、共通する課題の解決に向けた検討を行う。また、G7倉敷こどもサミット宣言の推進を目的に、これからの社会、未来を考える高梁川流域こどもサミットを3年に一度、開催する。				全市町	
成果	関係市町間での情報共有や課題解決が進み、圏域における学校教育の推進につながる。また、より良い社会を創るために、身のまわりから、グローバルな視点で行動する若い世代の育成を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	0	0	305	0	0	305
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。						

事業名	大学連携推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の各大学の特色や専門性を活かした生涯学習の場を創出するため、各大学と連携した講座を実施する。				全市町	
成果	受講者対象等を圏域に広げることで、大学の専門知識を地域に還元し、生涯学習の取組が進む。大学の専門性を活かし地域課題の解決が図られる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、関係市町は住民等への周知等を行う。その他必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	4,669	4,669	4,669	4,669	4,669	23,345
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	出前自然史博物館事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域で唯一、自然史（地学・植物・昆虫・動物）の専門家や標本がそろった「倉敷市立自然史博物館」において、これまでに蓄積された情報や資料を活用した展示や教育普及行事、移動可能な標本展示を流域各地で実施する。					全市町	  
成果	圏域の住民が、これまで以上に、昆虫や植物等の自然に身近に触れることができ、地域の自然や環境を学ぶ機会にもつながる。						
関係市町の役割分担							
倉敷市が中心となって実施する。各市町は、自然観察会の実施会場選定の協力、「まちかど博物館」貸出の運搬（設置者）、講師の派遣、資料の貸出、広報紙掲載等を担当する。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	975	1,600	1,600	1,600	1,600	7,375	
国県補助事業等の名称・補助率等							
該当なし							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。							

事業名	流域ミュージアム力活用連携事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の子どもたちを対象とした企画展示や圏域市町へ学芸員が出向いてのおでかけアートゲーム、ワークショップ、対話型鑑賞会などの機会を提供するほか、各施設の人的・物的資源の活用を推進する。なお、令和11年度は、倉敷市立美術館の改修工事に伴い、展覧会は開催しない。					全市町	
成果	子ども向けのイベントを通して、流域内の子どもたちの美術に対する興味・関心が深まり、知的探求心の向上と心豊かな人格形成が期待できる。また、限りある資源を相互活用することは流域内美術館全体としての総合力を高めることにつながる。						
関係市町の役割分担							
倉敷市が中心となって実施し、関係市町は周知及び利用希望者の調整等を行う。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	15,772	15,772	15,772	15,772	100	63,188	
国県補助事業等の名称・補助率等							
該当なし							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。							

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	学校給食アレルギー対応啓発事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域の各市町の栄養教諭が連携して食物アレルギーをもつ児童と保護者を募り、アレルギーフリーのバイキング料理イベントを開催する。				新見市、高梁市 総社市、倉敷市 矢掛町、井原市 浅口市、里庄町	
成果	<p>外食が難しい親子が何も気を使わずに食べることができるイベントを開催することで、子どもたちに食べる楽しさを味わう機会を提供でき、保護者同士の貴重な情報交換の場になる。取組を広報することでアレルギー対策の啓発にもつながる。</p>					
関係市町の役割分担	倉敷市が中心となってイベント等を企画運営し、各市町は実施会場選定の協力、住民への周知等を行う。					
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	204	204	204	204	204	1,020
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、倉敷市が負担する。					

事業名	高梁川流域健康スポーツ推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域内の大学と連携し、運動にスポーツ医科学を取り入れた大学講座やウォーキングイベントを実施するなど、圏域内の住民のスポーツ実施率向上に向けた取組を推進する。				全市町	
成果	<p>講義や実技にスポーツ医科学を取り入れた各種啓発活動を実施し、圏域内の地域住民が自らの健康づくりに関心を持ち、日常的にスポーツを実施することで、健康増進・健康寿命の延伸が図られる。</p>					
関係市町の役割分担	実施主体となる市町が中心となって実施し、関係市町は住民への周知等を行う。					
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	2,244	2,244	2,244	2,244	2,244	11,220
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、実施主体となる市町が負担する。					

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	備中町並みネットワーク事業				関係市町名	SDGs
事業概要	備中地域の町並み保存・活性化を目的とした官民のネットワークを構築し、備中町並みゼミや備中 no 町家 de クラスの開催などを行う。				新見市、高梁市 早島町、倉敷市 矢掛町、井原市 浅口市	 
成果	伝統的建造物や自然景観などの歴史文化遺産群の保存・活用を広域で官民が連携することで、圏域内の町並み保存エリアの全体的な活性化が期待できる。					
関係市町の役割分担						
町並み保存団体が主体となって行う活動に対して、行政として必要な支援を行う。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	60	60	60	60	60	300
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
事業費の一部を関係市町が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

d 効率的・効果的な土地利用

連携協約の内容			
規模や地域特性を活かした都市空間の再形成等に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（KPI）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
空家相談会への参加組数【R7～R11の5か年累計】	45組 (R5年度)	—	225組

事業名	地理情報システムデータ更新連携事業				関係市町名	SDGs
事業概要	地理情報システムデータの更新等の基になる航空写真の撮影等を共同で実施するとともに、必要に応じて成果を基に地形図データ等の作成を行う。				新見市、高梁市 総社市、倉敷市 矢掛町、井原市 浅口市、里庄町 笠岡市	
成果	市域を越えて撮影し、都市計画図GISの更新等に活用することで、事務の合理化・事務費削減効果が見込まれる。規模を活かした圏域全体の土地利用のあり方に関する連携が期待できる。					
関係市町の役割分担		倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて関係市町と協議により決定する。				
事業費（千円）	R7	R8	R9	R10	R11	計
	85,316	16,250	16,250	85,316	16,250	219,382
国県補助事業等の名称・補助率等		該当なし				
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方		面積等に応じて、関係市町で負担する。				

事業名	相続人不存在等不動産の利活用推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	相続人不存在となった不動産（土地・建物）情報を岡山県不動産サポートセンター（以下「サポートセンター」という）の会員に提供し、会員が利活用可能とみる情報等を参考に、市が家庭裁判所に相続財産清算人や不在者財産管理人の選任申立を行う。清算人等による不動産売却をサポートセンター会員が仲介することで不動産売買取引を円滑に進め、固定資産税収の確保と地域活性化に寄与する。				新見市、高梁市 総社市、早島町 倉敷市、矢掛町 井原市、浅口市 里庄町	
成果	不動産取引専門家の視点を用いることで、利活用が見込まれる物件を迅速かつ的確に選別することが可能となり、早期の売却につながられる。圏域で取り組むことで、物件情報が充実し、増え続ける空き家・空地の問題解決と税収確保が図られる。					
関係市町の役割分担		倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて関係市町と協議により決定する。				
事業費（千円）	R7	R8	R9	R10	R11	計
	12,477	12,477	12,477	12,477	12,477	62,385
国県補助事業等の名称・補助率等		該当なし				
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方		原則として、実施主体となる市町が負担する。関係市町が使用する不動産情報のシステム使用料については、倉敷市が負担する。				

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	高梁川流域空き家対策事業					関係市町名	SDGs
事業概要	<p>専門家による空き家相談窓口の設置やセミナー等を実施することにより、除却や利活用など適正管理を推進する。また、各市町の空き家バンク制度への登録促進のため、効果的な取組の情報共有やノウハウの蓄積を行う。</p>					全市町	 
成果							
<p>相談窓口の設置やセミナー、相談会等の実施により、除却や利活用を推進し、危険空き家を減少させることができる。また、圏域全体で空き家対策の事例を共有することで、適正管理等の指導を効果的に実施することができる。</p>							
<p>関係市町の役割分担</p> <p>倉敷市が中心となって実施し、関係市町との連携を図る。</p>							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	2,937	2,937	2,937	2,937	2,937	14,685	
<p>国県補助事業等の名称・補助率等</p> <p>該当なし</p>							
<p>関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方</p> <p>原則は倉敷市負担。各市町で実施する相談会等の会場関連費用や人員は各市町負担。</p>							

事業名	用地事務連携事業					関係市町名	SDGs
事業概要	<p>圏域内の公共事業に伴う用地事務の課題を共有し、課題解決に向けた情報交換や研修会を実施することで、適正かつ公平な用地事務を行うとともに、業務の効率化と人材育成を進め、相互に連携できる体制を構築する。</p>					全市町	 
成果							
<p>研修を共同開催することによる経費削減のほか、圏域内各自治体の用地補償担当者間で課題共有や意見交換の場を創ることで、業務効率化と人材育成が可能となる。</p>							
<p>関係市町の役割分担</p> <p>倉敷市が中心となって実施するが、共通課題研修は圏域市町でテーマを協議して実施する。</p>							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	127	127	127	127	127	635	
<p>国県補助事業等の名称・補助率等</p> <p>該当なし</p>							
<p>関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方</p> <p>原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。</p>							

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

e 官民連携等による地域振興

連携協約の内容			
にぎわいの創出や地場産業の振興、企業誘致、観光資源の開発等、地域振興に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（KPI）		※現状値は、毎年改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
流域圏域で協働事業を連携して実施した団体数 【R7～R11の5か年累計】	9団体 (R5年度)	—	35団体

事業名	高梁川流域地域づくり連携推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	倉敷市を含む2以上の流域市町の団体が連携し、圏域市町に共通する地域課題の解決に取り組む事業を支援するために、団体間の情報共有を図るとともに補助金を交付する。				全市町	
成果	圏域市町間の人材の活用や新たなネットワークの構築、そしてノウハウや情報の共有が可能となる。					
関係市町の役割分担	倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。					
事業費 (千円)	R7 2,250	R8 2,250	R9 2,250	R10 2,250	R11 2,250	計 11,250
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	倉敷市が負担する。					

事業名	高梁川流域協働のまちづくり推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	倉敷市等が、各市町の共通課題の効率的な解決や広域でのネットワーク構築を目的として、圏域内の地域運営組織等の交流会や研修会などを実施・支援する。 【圏域間連携：岡山連携中枢都市圏】				全市町	
成果	各市町の共通課題の効率的な解決や広域でのネットワーク構築が可能となる。					
関係市町の役割分担	倉敷市など実施主体が中心となって実施し、他の市町は住民等への周知などを行う。					
事業費 (千円)	R7 1,774	R8 1,774	R9 1,774	R10 1,774	R11 1,774	計 8,870
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、実施主体となる市町が負担する。流域市町合同で開催する推進会議、専門家による地域組織支援事業等については、倉敷市が負担する。					

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	井原線沿線活性化事業				関係市町名	SDGs
事業概要	井原線沿線市町が連携し、高梁川流域圏域と備後圏域とを結ぶ井原鉄道の利便性の向上や利用促進を行うことで、井原線を核とした地域振興に取り組む。 【圏域間連携：備後圏域】				総社市、倉敷市 矢掛町、井原市 笠岡市	 
成果	両圏域の沿線市町が連携して井原線沿線の活性化に取り組むことで、両圏域の地域住民にとって重要な公共交通の維持・利便性向上を図るとともに、両圏域の産業・経済の発展と観光振興を図る。					
関係市町の役割分担						
井原線振興対策協議会等において、井原市をはじめとした沿線市町で連携して実施する。						
事業費 (千円)	R7 2,646	R8 2,646	R9 2,646	R10 2,646	R11 2,646	計 13,230
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
井原線振興対策協議会等に参加する市町が負担金を拠出する。						

事業名	日本遺産を活用した地域振興事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域全体の日本遺産の魅力発信や、圏域内の日本遺産ストーリーを構成する文化財等を紹介する取組などを行う。 【圏域間連携：岡山連携中枢都市圏】				高梁市、総社市 倉敷市、笠岡市	   
成果	圏域内の地域資源を内外に広く発信することにより、圏域内移動を含むマイクロツーリズムの推進と、圏域の地域振興、交流促進を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7 3,000	R8 3,000	R9 3,000	R10 3,000	R11 3,000	計 15,000
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	SDGs 普及・連携推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	<p>持続可能なまちづくりを実現するため、SDGs の理解促進や SDGs を活用した官民連携の促進、地域の課題解決等を行う個人・団体への支援などに取り組む。</p> <p>【圏域間連携：岡山連携中枢都市圏】</p>				全市町	
成果	<p>圏域の官民一体となったSDGs の推進により、相乗効果を高めつつ、地域の将来を担う人材育成や、SDGs に資する取組への投資促進等につなげることができる。</p>					
関係市町の役割分担						
倉敷市など実施主体が中心となって実施し、他の市町は住民等への周知などを行う。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	6,787	6,787	6,787	6,787	6,787	33,935
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

f 自然災害等に強いまちづくりと環境保全の推進

連携協約の内容			
災害対策の推進や環境保全推進への取組を行う。			
重要業績評価指標 (K P I)		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標 (圏域の数値)	基準値	現状値	目標値 (R11)
防災講演会の参加者数 【R7~R11の5か年累計】	256人 (R5年度)	—	1,500人
倉敷市環境学習センターの利用校数 ※倉敷市以外の圏域内小・中・高校、出前講座含む	1校 (R6年度)	—	5校

事業名	防災力強化事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域住民を対象とした防災講演会、自主防災会・防災士向け研修会等を開催する他、圏域での連携事業（研修会、防災備蓄の相互支援等）の実施について、関係市町と協議・検討する。					全市町	
成果	圏域内の一体的・効率的な防災力の強化とともに、圏域住民の防災意識の向上が期待できる。						
関係市町の役割分担							
防災講演会は倉敷市が中心となって実施し、関係市町は住民への周知等を行う。その他の事業は各市町との協議により決定する。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	1,470	1,470	1,470	1,470	1,470	7,350	
国県補助事業等の名称・補助率等							
岡山県防災まちづくり総合支援事業費補助金（県 1/2 以内）							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
原則として、倉敷市が負担し、内容に応じて各市町と協議により決定する。							

事業名	備中地区消防相互支援事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域 6 消防本部が持てる能力及び資機材を融通し合う又は協力することにより、圏域全体の消防力を高める。					全市町	
成果	圏域 6 消防本部が合同で訓練や教養を実施することで、大規模災害等において、圏域消防本部の連携強化が図れ、圏域住民に安心感があり住みやすいと感じる地域づくりが期待できる。						
関係市町の役割分担							
関係市町と協議により決定する。							
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	150	150	150	150	150	750	
国県補助事業等の名称・補助率等							
該当なし							
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方							
必要に応じて各市町と協議により決定する。							

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	生物多様性エコツアーの相互実施と生き物調査事業			関係市町名	SDGs	
事業概要	圏域内の農村・漁村や里山などの地域資源のほか、生物多様性の保全に積極的に取り組む地元企業を取り入れた体験型のエコツアー及び生き物調査を実施する。			全市町		
成果	圏域市町の連携によるエコツアー及び圏域全体での生き物調査の実施により、地域で活動する人材の育成及び連携を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となってエコツアーを実施するとともに生き物調査のデータを取りまとめる。各市町はエコツアー協力先の情報収集及び住民への周知を行う。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	940	940	940	940	940	4,700
国県補助事業等の名称・補助率等						
倉敷市環境保全基金						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	倉敷市環境学習センターでの環境学習事業			関係市町名	SDGs	
事業概要	倉敷市以外の圏域 6市3町の児童・生徒が校外学習等で環境学習を実施する場として「倉敷市環境学習センター」を提供する。			全市町		
成果	圏域の児童・生徒の環境意識の高まりにより、圏域の環境保全を推進する。					
関係市町の役割分担						
関係市町の児童・生徒が利用を希望する際に、倉敷市は受入対応する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	450	450	450	450	450	2,250
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
事業費の発生が見込まれる時は、費用負担について検討する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	高梁川流域 瀬戸内海ブルー・オーシャン事業				関係市町名	SDGs
事業概要	瀬戸内海沿岸や島々に漂着するごみの多くは、水路や瀬戸内海に流入する河川を経て流出したものとされている。こうした海ごみを発生源から抑制することを目的に、圏域の河川敷や高梁川へ流れ込む水路等でごみのサンプルを収集し、組成分析調査をする。また、調査結果等をまとめた報告書・パネル等の製作や住民等が取り組みやすい活動プログラムを発信し、圏域内で啓発活動を実施する。				全市町	  
成果	組成分析調査の結果を基礎資料としてまとめ、海ごみゼロに向けた各種事業で活用することで、流域全体の海ごみ発生抑制や自然環境保全に対する意識高揚を図る。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、関係市町は調査や啓発活動の協力等で連携する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	3,949	268	268	268	268	6,546
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
原則として、倉敷市が負担する。						

事業名	高梁川流域カーボンニュートラル研究事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域でのカーボンニュートラルを実現するため、具体的な施策等についての調査・研究や、脱炭素に資する事業や普及啓発に向けた取組等を行う。 【圏域間連携：岡山連携中枢都市圏】				全市町	  
成果	圏域でのカーボンニュートラル実現に向けた取組の中で、経済循環も実現させることにより、圏域の持続可能な発展が見込まれる。					
関係市町の役割分担						
倉敷市が中心となって実施し、関係市町は調査・研究や啓発活動の協力等で連携する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	1,022	1,022	1,022	1,022	1,022	5,110
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
該当なし						
原則として、倉敷市が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	プラスチック資源循環促進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	令和4年度にプラスチック資源循環推進法が施行され、国をあげて海洋プラスチック、気候変動及び諸外国の廃棄物輸入規制強化への対応等、地球規模での環境対策に取り組んでいる。高梁川流域の関係市町が一体となって、プラスチックごみの分別収集、再商品化を地域の民間事業者等と連携しながら取り組むことで、流域全体のプラスチック資源循環の一層の促進を図る。				全市町	
成果	倉敷市が中心となり、リサイクル事業者の選定を行い、関係市町と共同で大臣認定の取得を行うこと、及び一体となって啓発を行うことで、高梁川流域圏内における資源循環の促進、廃棄物処理事務等の効率化（申請事務の効率化、処理コストの削減）及び脱炭素社会の推進が見込まれる。					
関係市町の役割分担	倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて関係市町と協議により決定する。啓発については共通で使用できるようパンフレットの内容を協議し、各団体に活用する。					
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	0	0	4,000	0	0	4,000
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、倉敷市が負担する。					

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

a 広域的な交通アクセスの向上

連携協約の内容			
圏域住民の移動手段確保のための取組を行うとともに、利便性向上や救急医療体制の機能向上のため、道路等の交通インフラ整備・維持に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（K P I）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
井笠バス利用者数（人/日）	1,622人/日 （R5年度）	—	基準値より増加

事業名	幹線道路の整備促進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	広域的なネットワークとして必要かつ重要な幹線道路について、関係機関との連携により、整備を促進する。				全市町	
成果	広域的な交通アクセスの確立により、圏域内住民相互の利便性向上及び、救急医療体制等の機能向上につながる。また、地域間の連携強化が図られ、圏域全体の経済活動の発展につながる。					
関係市町の役割分担						
国・県に対し要望活動を行う。						
事業費（千円）	R7	R8	R9	R10	R11	計
	515	515	515	515	515	2,575
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
関係市町と協議し決定する。						

事業名	広域バス路線等維持確保連携事業				関係市町名	SDGs
事業概要	各市町を広域に走る路線バス等について、経営安定の支援方策の研究・提言等を行い、長期的・安定的な路線維持に努めながら、地域住民の公共交通手段の確保を図るとともに、路線バス等の利用促進に取り組む。				倉敷市、矢掛町 井原市、浅口市 笠岡市	 
成果	各市町が連携して、各市町をつなぐ路線バスやコミュニティバスを支援することで、地域住民にとって、日常生活を支える上で必要不可欠な公共交通機関の路線を維持し、地域住民の公共交通手段を確保する。					
関係市町の役割分担						
笠岡市など実施主体が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により実施する。						
事業費（千円）	R7	R8	R9	R10	R11	計
	155,005	155,000	155,000	155,000	155,000	775,005
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
路線維持に係る補助金は、各市町間の運行キロ程按分に依りて、各市町で負担する。その他、内容に応じて各市町と協議により決定する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

b デジタルインフラ整備

連携協約の内容			
ICTを活用した利便性の向上やテレワーク推進のため、ICTインフラの整備に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（KPI）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
デジタル人材育成にかかる研修受講者数 【R7～R11の5か年累計】	35人/回 (R6.11)	—	525人

事業名	高梁川流域自治体DX推進事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域自治体のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進のため、各自治体のDXに係る現状把握と課題整理、デジタル人材の育成などに取り組み、圏域住民の利便性向上と圏域自治体の業務効率化を図る。				全市町	 
成果						 
関係市町の役割分担	倉敷市が中心となって実施し、必要に応じて各市町と協議により決定する。					
事業費 (千円)	R7 10,041	R8 1,040	R9 1,040	R10 1,040	R11 1,040	計 14,201
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、倉敷市が負担する。					

c 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

連携協約の内容
食の安全安心の確保や地域経済循環のため、圏域の生産者や消費者等の連携による地産地消の推進に向けた取組を行う。 ※今後、取組が具体化したものについて掲載する。

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

d 圏域への移住定住推進

連携協約の内容			
三大都市圏等からの人口流入を図るため、I J Uターン及び定住の促進に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標 (K P I)	※現状値は、毎年の改訂時に更新します		
指標 (圏域の数値)	基準値	現状値	目標値 (R11)
お試し住宅利用による移住者数 【R7～R11の5か年累計】	25人 (R1～R5年度平均値)	—	150人
婚活支援事業で出会いの場に参加した人数	269人 (R5年度)	—	320人

事業名	移住交流推進事業					関係市町名	SDGs
事業概要	東京・大阪など都市部で開催される移住相談会への出展や交流イベント等を共同で実施する。また、お試し住宅の運営やWEB等による情報発信のほか、関係市町が地域の特色を活かした移住促進への取り組みを実施する。					全市町	 
成果	圏域として実施することで、各市町の魅力を活かした多面的なアプローチが可能となる。また、移住検討者はより自分のイメージに合う移住先を選ぶことができるため、移住後の定住率の向上が期待できる。						
関係市町の役割分担	移住相談会等の出展は、取りまとめは倉敷市が行い、出展に関わる直接的な事務は各市町で行う。その他、実施主体となる市町が中心となって実施し、必要に応じて関係する市町は情報提供等の協力をする。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	47,753	47,753	47,753	47,753	47,753	238,765	
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	基本的に圏域の取組として設置するブース代や会場使用料は倉敷市が負担し、職員等の旅費は参加する市町が負担する。それ以外は、実施主体となる市町が負担する。						

事業名	高梁川流域婚活支援事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域内の在住・在勤者等を対象に、1対1の出会いをサポートする結婚相談所や交流イベント、セミナー等の婚活支援を行う。					全市町	
成果	広域に情報を発信することで、結婚に対する理解を深めるほか、結婚希望者同士のマッチング率の向上が期待できる。また、圏域住民同士の成婚に向けた支援を実施することで、成婚後の圏域内定住と人口減少抑制につなげる。						
関係市町の役割分担	各市町が婚活イベント等を開催する際には、関係市町は住民への周知等を行う。その他、必要に応じて関係市町と協議し決定する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	21,546	21,546	21,546	21,546	21,546	107,730	
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方	原則として、実施主体となる市町が負担する。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

e 広報活動やシステム構築等での連携推進

連携協約の内容			
広報活動の連携等、圏域の結びつきやネットワーク強化を目的とした取組を行う。			
重要業績評価指標 (KPI)		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標 (圏域の数値)	基準値	現状値	目標値 (R11)
広報紙面交流で掲載した記事数 【R7～R11の5か年累計】	18回 (R5年度)	—	90回

事業名	広報紙面交流事業			関係市町名	SDGs	
事業概要	圏域市町の各広報紙において、互いに他市町の施策やイベントの記事を掲載する。			全市町		
成果	各市町の施策・イベントを圏域全体に広報でき、圏域全体の結びつきや一体感を醸成できる。					
関係市町の役割分担						
関係市町により、掲載案件の提案と掲載時期の調整を行う。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	0	0	0	0	0	0
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
費用負担は発生しない。						

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

a 職員研修等によるマネジメント能力の向上

連携協約の内容			
圏域マネジメント能力強化のため、圏域市町の職員の人材育成や人事交流、ファシリティマネジメントの推進、外部からの行政及び民間人材の確保に向けた取組を行う。			
重要業績評価指標（K P I）		※現状値は、毎年の改訂時に更新します	
指標（圏域の数値）	基準値	現状値	目標値（R11）
職員合同研修参加者数 【R7～R11の5か年累計】	211人 (R5年度)	-	900人

事業名	職員合同研修実施事業					関係市町名	SDGs
事業概要	圏域市町の職員の人材育成のため、実務等の職員合同研修を実施する。					全市町	 
成果	圏域市町が合同で職員研修を実施することで学びの機会が増え、職員間の情報共有や意見交換が可能となり、人材育成につながる。						
関係市町の役割分担		倉敷市が中心となって実施するが、共通課題研修は圏域市町でテーマを協議して実施する。					
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	8,070	
国県補助事業等の名称・補助率等		公益財団法人岡山県市町村振興協会研修・研究支援事業					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方		原則として、倉敷市が負担する。					

事業名	職員採用活動連携事業					関係市町名	SDGs
事業概要	職員採用にあたり、申込者数の低下や専門職種の確保困難など、共通の課題を抱える圏域市町が連携し、採用プロモーション活動、採用試験の共通化、受験申込者の情報共有等を行う。					全市町	
成果	職員採用活動で連携を図ることで、申込者数の低下や専門職種の確保困難などの共通課題の現状を改善することが期待できる。						
関係市町の役割分担		倉敷市が中心となって実施し、関係市町は必要に応じて連携・参加をする。					
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計	
	248	953	953	953	953	4,060	
国県補助事業等の名称・補助率等		該当なし					
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方		原則として、倉敷市が負担する。必要に応じて各市町と協議により決定する。					

4. 連携協約に基づき推進する具体的取組等

事業名	圏域内職員の人事交流事業				関係市町名	SDGs
事業概要	圏域市町間の人事交流について検討、実施する。				全市町	
成果						
圏域各市町の組織活性化につながる。						
関係市町の役割分担						
必要に応じて各市町と協議により決定する。						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	計
	0	0	0	0	0	0
国県補助事業等の名称・補助率等						
該当なし						
関係市町の費用負担割合に係る基本的な考え方						
必要に応じて各市町と協議により決定する。						

高梁川流域連携中枢都市圏事業とSDGsの各ゴール・ターゲットとの関連一覧

1) 圏域全体の経済成長		SDGsの関連する主なゴール・ターゲット(※)																	ターゲット
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
ア 圏域の経済成長に向けた体制整備																			
1	高梁川流域経済成長戦略推進事業								○									○	8.1/8.9/17.17
イ 起業促進等によるイノベーションの実現																			
1	創業支援広域連携事業								○	○									8.3/9.2
2	事業者間連携・事業承継支援事業								○	○									8.3/9.5
3	繊維産業「産地連携」推進事業								○	○		○							8.3/9.2/12.8
4	高梁川流域ふるさと協力隊推進事業								○	○								○	8.3/17.17
5	「ドローン物流・空飛ぶクルマ」実現推進事業				○				○	○									4.4/8.3/9.5
6	データで紡ぐ高梁川流域連携事業								○	○									8.3/9.2
ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大																			
1	町家・古民家で紡ぐ地域の魅力創出事業								○			○	○						8.9/11.4/12.8
2	高梁川流域地域資源活用推進事業								○										8.3
3	高梁川流域アルチザン(職人)支援事業								○										8.3
4	ほっけーうめえ農林水産品事業		○						○										2.3/8.3
5	鳥獣害防止対策流域連携事業		○						○										2.3/8.3
エ 戦略的な広域観光の推進																			
1	高梁川流域観光誘客事業								○										8.9
2	高梁川流域地域間観光連携事業								○									○	8.9/17.17
3	高梁川流域誘客環境整備事業								○										8.9
オ 圏域での就職の促進・労働力の確保																			
1	高梁川流域就職面接会等開催事業	○							○										1.2/8.5/8.6
2	未来人材育成事業				○				○									○	4.4/8.3/8.5/17.17
3	男女共同参画推進事業					○			○										5.5/8.5
小計		1	2	0	2	1	0	0	18	5	0	1	2	0	0	0	0	4	
2) 高次の都市機能の集積・強化		SDGsの関連する主なゴール・ターゲット(※)																	ターゲット
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
ア 圏域における救急医療体制の向上																			
1	救急医療体制等整備事業			○														○	3.8/11.5
イ 高度な中心拠点の整備と公共交通網の構築																			
1	倉敷駅付近連続立体交差関連事業			○						○		○							3.6/3.9/9.1/11.2/11.6
2	都市計画基本調査事業											○							11.2/11.3
3	地域拠点間等を結ぶ移動支援事業											○							11.2
ウ 圏域の将来を担う人材育成																			
1	高梁川流域課題解決人材創出事業				○													○	4.7/12.8
小計		0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	4	1	0	0	0	0	0	

3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	SDGsの関連する主なゴール・ターゲット(※)																	ターゲット	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
ア 生活機能の強化に係る政策分野																			
a 医療・介護における広域連携推進																			
1 医療介護広域連携推進事業																		○	3.8/17.17
2 地域医療普及啓発事業																		○	3.8
3 介護保険指導監査事務連携事業																		○	3.8/4.4
b 圏域全体の福祉サービスの向上																			
1 障がい児保護者支援事業																		○	4.5/10.2
2 障がい者フォーラム開催事業																		○	3.8/10.2
3 子育ての資源・魅力・交流事業																		○	11.7
4 保育士・保育所支援センター運営事業																		○	4.2/4.4/8.1
5 健康づくり促進事業																		○	3.8
6 高梁川流域学び直し支援事業																		○	4.5
7 高梁川流域配偶者暴力相談支援事業																		○	5.2/16.1
8 外国人相談窓口運営事業																		○	10.2/10.7/17.16
9 流域内移動支援事業																		○	3.8/11.2
c 教育・文化・スポーツの充実・振興																			
1 高梁川流域連盟事業																		○	4.7/6.6/12.8/14.1/15.4
2 高梁川流域パスポート事業																		○	4.1
3 公立図書館相互返却事業																		○	4.7
4 学校教育連携促進事業																		○	4.7
5 大学連携推進事業																		○	4.7
6 出前自然史博物館事業																		○	4.7/14.1/15.5
7 流域ミュージアム活用連携事業																		○	4.7
8 学校給食アレルギー対応啓発事業																		○	2.1
9 高梁川流域健康スポーツ推進事業																		○	3.8
10 備中町並みネットワーク事業																		○	11.4/17.17
d 効率的・効果的な土地利用																			
1 地理情報システムデータ更新連携事業																		○	11.a
2 相続人不存在等不動産の利活用推進事業																		○	10.4
3 高梁川流域空き家対策事業																		○	11.3/17.17
4 用地事務連携事業																		○	11.3/17.17
e 官民連携等による地域振興																			
1 高梁川流域地域づくり連携推進事業																		○	17.17
2 高梁川流域協働のまちづくり推進事業																		○	17.17
3 井原線沿線活性化事業																		○	11.2/17.17
4 日本遺産を活用した地域振興事業																		○	4.7/8.9/11.a/17.17
5 SDGs普及・連携推進事業																		○	4.7/8.3/17.17
f 自然災害等に強いまちづくりと環境保全の推進																			
1 防災力強化事業																		○	11.5/11.b/13.1/13.3
2 備中地区消防相互支援事業																		○	11.5/13.1
3 生物多様性エコツアーの相互実施と生き物調査事業																		○	4.7/6.6/12.8/14.1/15.4
4 倉敷市環境学習センターでの環境学習事業																		○	4.7/7.2/12.8/13.3
5 高梁川流域瀬戸内海ブルーオーシャン事業																		○	6.6/12.4/12.8/14.1/14.2
6 高梁川流域カーボンニュートラル研究事業																		○	7.2/9.4/13.3
7 プラスチック資源循環促進事業																		○	12.4/14.1/14.2/15.4/17.17
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野																			
a 広域的な交通アクセスの向上																			
1 幹線道路の整備促進事業																		○	9.1
2 広域バス路線等維持確保連携事業																		○	11.2/17.17
b デジタルインフラ整備																			
1 高梁川流域自治体DX推進事業																		○	4.5/9.1/16.6/17.17
d 圏域への移住定住推進																			
1 移住交流推進事業																		○	8.8/11.3
2 高梁川流域婚活支援事業																		○	11.3
e 広報活動やシステム構築等での連携推進																			
1 広報紙面交流事業																		○	17.17
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野																			
a 職員研修等によるマネジメント能力の向上																			
1 職員合同研修実施事業																		○	4.4/17.17
2 職員採用活動連携事業																		○	17.17
3 圏域内職員の人事交流事業																		○	17.17
小計	0	1	7	17	1	3	2	4	3	4	13	5	4	5	4	2	17		
合計	1	3	9	20	2	3	2	22	9	4	18	8	4	5	4	2	21		

※詳細は、倉敷市ホームページ(URL:https://www.city.kurashiki.okayama.jp/sdgs/)を御参照ください



Well-being 指標 24のカテゴリ名称に紐づく評価指標

主観（ウェルビーイング）評価指標 ～ 全50問

地域における幸福度・生活満足度（4）

■ 現在、あなたどの程度幸せですか？
 ■ 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？

■ 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしどの程度満足していますか。
 ■ 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しく気持ちいいと思う

生活環境（16）	地域の人間関係（2）	自分らしい生き方（6）
医療・福祉（2） ■ 医療機関が充実している（利便性） ■ 介護・福祉施設のサービスが受けやすい 子育て（2） ■ 子育て支援・補助が手厚い ■ 子どもたちがいきいきと暮らせる 都市景観（1） ■ 自慢できる都市景観がある 自然景観（1） ■ 自慢できる自然景観がある 自然の恵み（2） ■ 身近に自然を感じることができる（自然） ■ 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる（自然） 環境共生（1） ■ リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである 自然災害（1） ■ 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。 事故・犯罪（2） ■ 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安が良い ■ 歩道や信号が整備されていて安心である	地域とのつながり（5） ■ 私は同じ町内に住む人々を信頼している（社会関係資本） ■ 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである（社会関係資本） ■ 困ったときに相談できる人が身近にいる（つながり・感謝）（社会関係資本） ■ 町内の人が困っていたら手助けする（向社会的行動） ■ このまちに愛着を持っている（一体感） 多様性と寛容性（5） ■ 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性） ■ 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容） ■ 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているのが気になる（一体感）（過干渉・不寛容） ■ 女性が活躍しやすい ■ 若者が活躍しやすい	自己効力感（1） ■ 自分のことを好ましく感じる（一体感） 健康状態（2） ■ 身体的に健康な状態である（健康）（地域の幸福） ■ 精神的に健康な状態である（健康）（地域の幸福） 文化・芸術（2） ■ 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい（ダイナミズム・誇り） ■ 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい（多世代共創） 教育機会の豊かさ（1） ■ 学びたいことを学べる機会がある 雇用・所得（2） ■ やりがい仕事を見つつけやすい ■ 適切な収入を得るための機会がある 事業創造（1） ■ 新たなことに挑戦・成長するための機会がある（ダイナミズム・誇り）（モチベーション）
買物・飲食（2） ■ 日常の買い物に全く不便がない（利便性） ■ 飲食を楽しむ場所が充実している 住宅環境（3） ■ 自宅には、心地よい居場所がある（居住空間） ■ 【逆】自宅の周辺では、騒音に悩まされている（秩序） ■ 過度な費用で住居を確保できる 移動・交通（1） ■ 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる 遊び・娯楽（1） ■ 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	初等・中等教育（2） ■ 教育環境（小中高校）が整っている ■ 通学しやすい場所に学校がある 地域行政（2） ■ 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本） ■ 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性） デジタル生活（2） ■ 行政サービスのデジタル化が進んでいる ■ 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい 公共空間（2） ■ 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性） ■ まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	

市区町村版 暮らしやすさ客観指標のカタログ

指数を構成するKPIは次ページを参照
 *各都道府県・市区町村HP等から取得
 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

生活環境（16）	地域とのつながり	自己効力感	自分らしい生き方（6）
医療・福祉 ■ 医療施設徒歩圏人口カバー率 ■ 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 人口あたり国保医療費 (-) ■ 人口あたり後期高齢者医療費 (-) ■ 特定健康診断受診率 ■ 福祉施設徒歩圏人口カバー率 ■ 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 人口あたり児童福祉施設数 ■ 人口あたり障害者福祉施設数 ■ 人口あたり認知症サポートチーム・サボーター数 買物・飲食 ■ 商業施設徒歩圏人口カバー率 ■ 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-) ■ 可住地面積あたりの飲食店数 ■ 人口あたり飲食店数 住宅環境 ■ 住宅あたり延べ面積 ■ 平均価格（住宅地） (-) ■ 専用住宅1m ² あたり家賃 (-) ■ 一戸建の持ち家の割合 移動・交通 ■ 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率 ■ 駅およびバス停留所徒歩圏人口密度 (-) ■ 人口あたり小型車走行キロ (-) ■ 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合 ■ 職場までの平均通勤時間 (-)	遊び・娯楽 ■ 人口あたり娯楽（映画館、劇場、スポーツ施設等）の事業所数 子育て ■ 保育所まで1km未満の住宅割合 ■ 可住地面積あたり幼稚園数 ■ 施設あたり幼稚園児数 (-) ■ 人口あたり待機児童数 (-) ■ 歳出総額における教育費の構成比 ■ 合計特殊出生率 初等・中等教育 ■ 可住地面積あたり小学校数 ■ 可住地面積あたり中学校数 ■ 可住地面積あたり高等学校数 ■ 施設あたり小学生数 (-) ■ 施設あたり中学生数 (-) ■ 施設あたり高校生数 (-) 地域行政 ■ 人口あたり体育施設利用者数 ■ 人口あたり図書館常出者数 ■ 人口あたり博物館入館者数 ■ 地域財政指数 デジタル生活 ■ 自治体DX指数 ■ デジタル政策指数 ■ デジタル生活指数	公共空間 ■ 公園緑地徒歩圏人口カバー率 ■ 人口あたり公園の面積 ■ 歩道設置率 ■ ウォーカブル指数 都市景観 ■ 都市景観指数 自然景観 ■ 自然景観指数 自然の恵み ■ 食料生産ポテンシャル ■ 水供給ポテンシャル ■ 木材供給ポテンシャル ■ 炭素吸収量 ■ 蒸発散量 ■ 地下水涵養量 ■ 土壌流出防止量 ■ 窒素除去量 ■ リン酸除去量 ■ NO ₂ 吸収量 ■ SO ₂ 吸収量 ■ 洪水調整量 ■ 表層前線からの安全率 ■ 緑地へのアクセシビリティ ■ 水域へのアクセシビリティ ■ オートキャンプ場への立地	環境共生 ■ NOx平均値 (-) ■ PM _{2.5} 年平均値 (-) ■ ゴミのリサイクル率 ■ 人口あたり年間CO ₂ 排出量 (-) ■ 人口あたり再生エネルギー ■ 環境政策指数 自然災害 ■ 外水氾濫危険度 ■ 高潮危険度 ■ 土砂災害危険度 ■ 地震動危険度 ■ 津波危険度 ■ ハード対策 ■ 避難・救助 ■ 要配慮者支援 ■ 防災教育 ■ 防災まちづくり ■ 情報・デジタル防災 事故・犯罪 ■ 人口あたり交通事故件数* (-) ■ 人口あたり刑法犯認知件数* (-) ■ 空家率 (-)
地域とのつながり ■ 人口あたり自殺者数 (-) ■ 拡大家族世帯割合 ■ 既婚者の割合 ■ 高齢単身世帯割合 (-) ■ 居住期間が20年以上の人口の割合 ■ 祭り開催数 ■ 自治会・町内会加入率* ■ 人口あたり政治団体等の数 ■ 人口あたり宗教の事業所数 ■ 人口あたりNPOの数 ■ 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数 ■ 関係人口割合活動指数 多様性と寛容性 ■ 議会における女性議員の割合 ■ 自治体の管理職職員における女性の割合 ■ 自治体職員における障害者の割合 ■ 人口あたり外国人人口 ■ 多様性政策指数	自己効力感 ■ 首長選挙投票率 ■ 市区町村議会選挙の投票率 健康状態 ■ 健康寿命（平均自立期間）（男性） ■ 健康寿命（平均自立期間）（女性） 文化・芸術 ■ 芸術家・著述家等の割合 ■ 国宝・重要文化財（建造物）の数 ■ 日本遺産の数 教育機会の豊かさ ■ 大卒・院卒者の割合 ■ 可住地面積あたり大学・短期大学の数 ■ 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数 ■ 人口あたり生涯学習講座数 ■ 人口あたり生涯学習講座受講者数 ■ 人口あたり青少年教育施設利用者数 ■ 人口あたり女性教育施設利用者数	雇用・所得 ■ 完全失業率 (-) ■ 若年層完全失業率 (-) ■ 正規雇用者比率 ■ 高齢者有業率 ■ 高卒者進路未定者率 (-) ■ 市区町村内で従業している者の割合 ■ 創業比率 ■ 納税者あたり課税対象所得 事業創造 ■ クリエイティブ産業事業所の構成比 ■ 新規設立法人の割合 ■ 従業者数あたりワーキングスペースの数 ■ 大学発ベンチャー企業数	

指数を構成するKPIはP14～15を参照
 *各都道府県・市区町村HP等から取得
 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

(出典) 地域幸福度（Well-Being）指標活用ガイドブック ver.2024-01（デジタル庁）

第3期 高梁川流域圏成長戦略ビジョン

発行 倉敷市
〒710-8565 岡山県倉敷市西中新田 640 番地

編集 倉敷市 企画財政局企画財政部企画経営室
TEL：086-426-3055 FAX：086-426-5131
E-mail：plnpol@city.kurashiki.okayama.jp
ホームページ URL：https://www.city.kurashiki.okayama.jp/

発行日 策定 令和7年（2025年）3月